

**平成22年度後期授業改善アンケート
調査結果報告書**

平成23年3月

名城大学 FD委員会

目次

授業改善アンケート調査結果について	1
サマリー	2
〔調査実施資料〕	
調査概要と対象者属性	3
学生用アンケート用紙	4
教員用アンケート用紙	6
〔授業科目の改善ポイント〕	
1 授業科目の集計と項目別改善ポイント	10
2 改善ポイントの見方の例	11
3 授業満足度の変化	12
4 調査結果のまとめ	14
5 学部別改善ポイント	16
〔学部別分析結果〕	
6 授業満足度から見た授業改善項目	18
7 学生と教員の評価のちがいと授業満足度との関係	30
8 学生と教員の授業満足度の関係	32
9 学力程度別の授業満足度	33
10 教員と学生の対象レベルの一致	34
11 出席率	35
12 出席学生数と出席学生数別満足度	36
13 自学自習時間と授業満足度の関係	37
14 授業に関する良い点(学生の自由回答)	40
15 授業に関する改善点(学生の自由回答)	42
16 アンケート結果を受けて改善していきたい点(教員の自由回答)	44
〔設問別集計結果〕	
17 教員の自己評価の時系列比較	45
18 学生評価の時系列比較	46
19 基礎データ教員用設問	47
20 基礎データ学生用設問	63

授業改善アンケート調査結果について

平成 22 年度 授業改善アンケート調査結果について

平素は本学 FD 活動の推進にご協力をいただき感謝申し上げます。

本学では、平成 12 年度から授業アンケートを実施し、教員の授業スキル向上を図ってまいりました。平成 22 年度授業改善アンケート調査も無事終了し、この度、調査結果を本報告書として取り纏めました。ぜひ、ご覧いただき授業改善にお役立てください。

本年度は、アンケート調査を授業改善や授業工夫に繋げ教育の質を向上させることを目的とすることから名称を「授業満足度アンケート」から「授業改善アンケート」に変更しました。学生と教員の双方向で授業評価の比較が可能となるように質問項目を設定しました。学生アンケートと教員アンケートを同時に行い、相互の視点から授業改善の手がかりを探りました。各科目の授業アンケート結果は、改善ポイントを示す形でまとめ、教員のもとへ返却されました。同時に学生の声を聞く機会として、授業で良いと思った点および改善したほうが良いと思った点について学生が自由記述した内容を教員へ送付しました。これら学生の自由記述に対して各教員から学生へのコメントを提出していただき、学生と教員の双方向の視点による授業改善アンケートの構築を目指しました。

アンケート実施に際しては、各教員から回答者である学生の授業に対する意識の精度を高めるようアンケートの趣旨や注意事項を説明していただくなど、細部に配慮して行いました。各先生へのアンケート結果のフィードバックについては、これまでと同様に、集計と項目別改善ポイントをわかりやすく示すとともに、学生の自由記述をまとめ、授業に対する学生の期待について知る資料として送付しました。

本年度の全体結果の概要ですが、学生の授業満足度は昨年度に比べ 2.6 ポイント減少しましたが、全体の半数の学生が授業に満足していることが示されました。これらの成果は、先生方が熱意をもって日々取り組んでいる授業改善の工夫や努力が反映された結果だと思えます。

本報告書は、これまで数的データに基づく分析結果を中心に構成してきましたが、本年度は「授業における良い点」と「改善点」に対する自由回答を集約し、回答を分類して特徴的な記載と件数を掲載しています。これは平成 21・22 年度学生満足度チーム活動方針に基づき、授業や教育に対する学生の声に耳を傾けるためです。教員と学生の双方で意見交換を行うことで客観的に授業を見直し、組織的に教育の質を高めしていくための情報として活用いただければと考えております。

アンケート報告書は、授業改善のためのアイデアやヒントが得られる情報源と考えています。授業をつくる教員、授業に出席する学生、授業を支援する職員など皆で情報を共有し、授業改善に役立てていきたいと考えています。

先生方の授業改善にお役に立つよう学生満足度チームは微力ながら努力してまいります。何卒、先生方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

FD 委員会 学生満足度チーム 座長 飯田耕太郎

サマリー

平成 22 年度アンケート調査の概要

目的：教員・学生相互の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させる。

○学生の授業満足度の変化 (Page. 12-13)

学生の授業満足度は 50.0%となり昨年度に比べ 2.6 ポイント減少したが、全体の半数の学生が授業に満足していることが示された。

○調査結果のまとめ 教員編・学生編 (Page. 14-15)

教員と学生の双方向で授業に対する意識を比べることができる。学生に比べ教員の肯定的回答が全体的に高い。「学問へ興味・関心を引く」では、肯定的回答が教員 90.2%に比べ学生 43.6%であった。また「興味がわくように工夫する」では、教員 89.0%に比べ学生 46.5%であった。

○学生の授業満足度から見た授業改善項目 (Page. 18-19)

授業満足度への全体影響度と不満度から改善要求度を算出した。「理解度を確認しながら進める」が 46.5 ポイントで高く、「興味がわくように工夫する」が 44.9 ポイント、「学問へ興味・関心を引き起こす」が 40.2 ポイントとなった。いずれも学生の自己評価で学力程度が「下」の学生ほど改善要求度が高くなる。

○学力程度別の授業満足度 (Page. 33)

学生の学力の自己評価と授業満足度の関連を調べた。学生の自己評価で学力レベルが「上」の学生ほど満足度が高く、7 割以上が授業に満足している。一方、学力レベルが「下」の学生は満足度が 4 割と低い。

○出席学生数と授業満足度 (Page. 36)

授業別の回答者を出席学生と捉え、出席学生数別に授業満足度を確認した。クラスの出席者が 40 人未満になると満足度が急に高くなる。40 人以上の授業では出席者数の増加による授業満足度の変化は小さい。

○自学自習時間と授業満足度の関係 (Page. 37-39)

自学自習時間と授業満足度の関係を調査した。自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高くなる傾向が全ての学部で見られた。1 週間の勉強時間で「していない」割合が 46.8%と半数程度となり、3 年続けて 40%台と高い結果であった。

○自由記述の内容について (Page. 40-44)

学生の自由記述の内容を分類した結果、授業でよい点は 17,459 件、改善点は 11,474 件であった。授業で良い点では、「説明が分かり易い」27.5%、「板書 (PPT) が分かり易い」18.6%、「授業が面白い」15.4%となった。授業の改善点では、「板書 (PPT) が分かりにくい」35.1%、「説明が分かりにくい」21.1%、「資料が分かりにくい」9.1%の順であった。学生は「説明が分かり易い」こと、「板書 (PPT) が分かり易い」ことが特に重要な点と捉えている。

教員がアンケート結果を受けた後、改善していきたい点について自由記述を分類した結果、「学問へ興味・関心を引き起こしたい」43.4%、「分かり易く説明したい・理解度を確認しながら進めたい」が 42.7%となった。学生の要望が高い「分かり易い板書 (PPT)」の改善については、14.3%と高くない。

調査概要と対象者属性

目的

教員・学生相互の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とします。

調査方法

教員調査、学生調査ともマークシートによる自記式アンケート

実施期間

2010.11.8 ～ 2010.11.20

調査主体

FD委員会 学生満足度チーム

対象授業

本アンケートは平成22年度後期に学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。

- ・ 体育科目
- ・ リレー方式で開講されている科目
- ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目
- ・ 履修登録者数が10名未満の科目

回答者属性

○学生 36,434人

○教員 581人 (686設定授業中 630授業で実施 実施率91.8%) ※

※実施授業数と教員回答者数が合致しないのは、アンケートを記入していない教員が存在するため

開講学部別回答者数

	実施授業数	学生		教員	
		常勤授業受講	非常勤授業受講	常勤	非常勤
法学部	102	2,790	2,207	26	61
経営学部	38	2,125	663	26	9
経済学部	21	1,662	222	15	3
理工学部	258	8,153	5,287	132	118
農学部	37	2,618	680	28	8
薬学部	37	3,336	171	33	1
都市情報学部	34	1,582	473	21	9
人間学部	22	1,522	293	18	3
教職課程・学芸員課程	18	212	505	5	12
全学共通教育部門	63	244	1,689	7	46
計	630	24,244	12,190	311	270

学生用アンケート用紙

平成 22 年度後期授業改善アンケート(学生用)

名城大学 FD 委員会

学生満足度チーム

このアンケート調査は、学生の皆さんの視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。なお、ご回答いただきました内容は授業改善のみに使用し、成績評価等には一切影響しませんので率直に回答してください。

- はじめに：マークカードに科目名・実施日を記入してください。氏名・学籍番号は記入およびマークする必要はありません。
- 回答方法：もっとも当てはまる記号を一つ選び、鉛筆でマークしてください。質問 18・質問 19 は別紙の自由記述用紙に記入してください。

1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。
a. 上 b. どちらかといえば上 c. 中 d. どちらかといえば下 e. 下
3. この授業に対する 1 週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。
a. 週 3 時間以上 b. 週 1 時間・3 時間未満 c. 週 30 分・1 時間未満 d. 週 30 分未満 e. していない
4. 自分はこの授業が理解できている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
5. この授業では新しいことを学んでいる。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
6. この授業は将来に役立つと思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
7. この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
8. この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
9. この授業は私語が少ない。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

裏面へ進んで下さい

学生用アンケート用紙

10. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
11. この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
12. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
13. この授業では成績評価基準が明確に示されている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
14. この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
15. この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
16. この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
17. この授業は満足のいくものである。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
18. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。
(別紙に記入してください)
19. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。
(別紙に記入してください)

教員用アンケート用紙

平成 22 年度後期授業改善アンケート(教員用)

名城大学 FD 委員会
学生満足度チーム

FD 委員会では教員・学生相互の視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。

回答内容につきましては FD 活動以外の目的では使用致しませんので、是非ご協力いただきますようお願いいたします。

- はじめに：マークカードにご担当の科目名・実施日・ご氏名を記入してください。
- 回答方法：もっとも当てはまる記号を一つ選び鉛筆でマークしてください。質問 17・質問 18 は別紙の自由記述用紙に記入してください。

1. この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にある。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
2. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。
a.上位層 b.どちらかといえば上位層 c.中位層 d.どちらかといえば下位層 e.下位層
3. 学生はこの授業が理解できている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
4. この授業では学生は新しいことを学んでいる。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
5. この授業は学生の将来に役立つ。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
6. この授業では学生の学問への興味・関心を引くようしている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
7. この授業では学生自身が自分で調べ、考えるようになっている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
8. この授業では私語に対してきちんと対応している。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない

裏面へ進んで下さい

教員用アンケート用紙

9. この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
10. この授業は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
11. この授業では大切なポイントをきちんと示している。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
12. この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価をしている。
a.とてもあてはまる b.ややあてはまる c.どちらともいえない d.あまりあてはまらない
e.全くあてはまらない
13. この授業では板書や資料等の文字は読みやすくしている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
14. この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
15. この授業では学生の理解度を確認しながら進めている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
16. 自分はこの授業に満足している。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
17. 授業改善アンケートについてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。
(別紙に記入してください)
18. 組織的なFDのあり方についてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。
(別紙に記入してください)

学生用アンケート用紙 別紙（自由記述用紙）

別紙（自由記述用紙）

18. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

19. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

教員用アンケート用紙 別紙（自由記述用紙）

別紙（自由記述用紙）

17. 授業改善アンケートについてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。

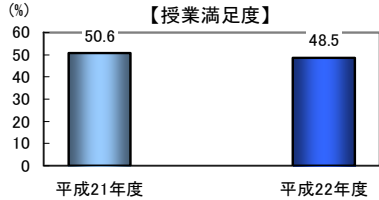
18. 組織的なFDのあり方についてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。

1 授業科目の集計と項目別改善ポイント

<各教員へのフィードバック様式見本>

【名城大学FD】平成22年度後期授業改善アンケート
集計と項目別改善ポイント

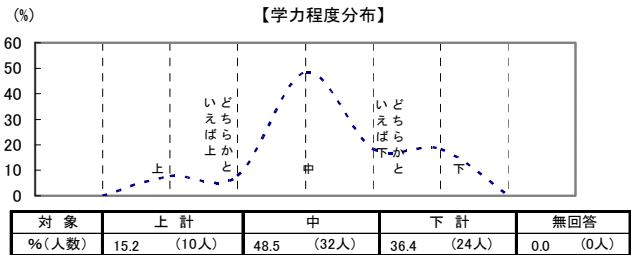
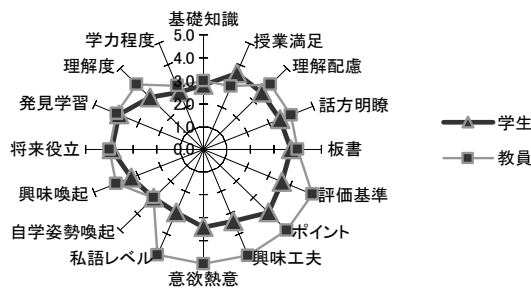
〇〇学部	科目名: 〇△	時間割: 水 2限
履修登録者数: 80人	回答者数: 66人	教員名: 〇〇



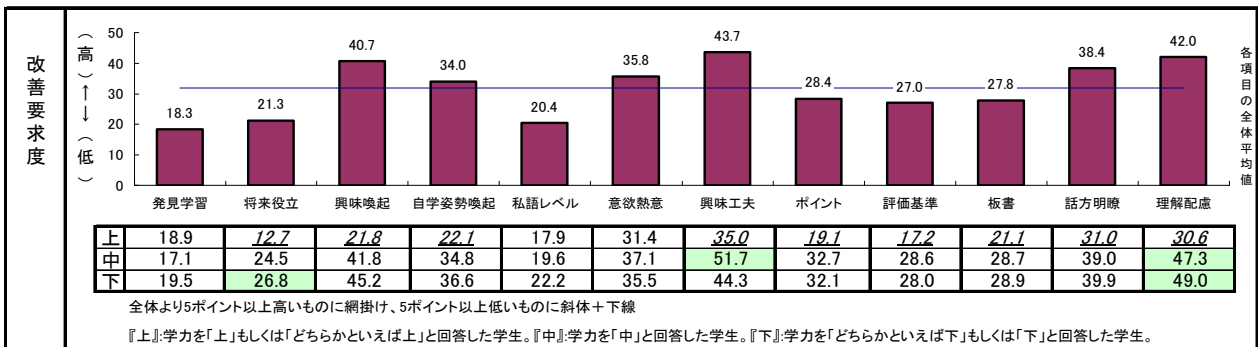
	週3時間以上	週1時間-3時間	週30分-1時間	週30分未満	勉強していない	無回答
平成21年度	2.2	11.7	35.5	32.0	18.6	0.0
平成22年度	4.0	8.6	38.9	29.8	17.2	1.5

		学生	教員	全体影響度	不満度
基礎知識	この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある	2.8	3	-	-
学力程度	この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか	2.7	3	-	-
理解度	自分はこの授業が理解できている	3.2	4	-	-
発見学習	この授業では新しいことを学んでいる	3.9	4	0.30	0.31
将来役立	この授業は将来に役立つと思う	3.9	4	0.35	0.31
興味喚起	この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた	3.3	4	0.44	0.47
自学姿勢喚起	この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた	3.0	3	0.32	0.54
私語レベル	この授業は私語が少ない	3.0	5	0.19	0.53
意欲熱意	この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる	3.4	5	0.41	0.44
興味工夫	この授業は学生に興味やわくように工夫して進められている	3.4	5	0.51	0.44
ポイント	この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている	3.9	5	0.47	0.31
評価基準	この授業では成績評価基準が明確に示されている(※)	3.6	5	0.34	0.41
板書	この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい	3.7	4	0.38	0.38
話方明瞭	この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい	3.5	4	0.45	0.43
理解配慮	この授業では学生の理解度を確認しながら進められている	3.5	4	0.50	0.43
授業満足	この授業は満足のものである	3.6	3	-	-

(※) 評価基準の教員設問は「この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価をしている」



全体影響度 = 「授業満足」との関係の強さを数値化したもの。影響度が大きい場合、その質問項目の評価が高い(低い)ほど「授業満足」の評価が高く(低く)なる。
 不満度 = 質問項目に対する不満の程度を数値化したもの。1(最も不満が大きい)から0(全く不満がない)までの値を取る。値が大きいほど不満が大きい。
 改善要求度 = 質問項目に対する改善要求の大きさを数値化したもの。100(最も改善要求が高い)から0(全く改善の必要がない、非常に優れている)までの値を取る。値が大きいほど改善の要求が高い。



	上	中	下
発見学習	18.9	17.1	19.5
将来役立	12.7	24.5	26.8
興味喚起	21.8	41.8	45.2
自学姿勢喚起	22.1	34.8	36.6
私語レベル	17.9	19.6	22.2
意欲熱意	31.4	37.1	35.5
興味工夫	35.0	51.7	44.3
ポイント	19.1	32.7	32.1
評価基準	17.2	28.6	28.0
板書	21.1	28.7	28.9
話方明瞭	31.0	39.0	39.9
理解配慮	30.6	47.3	49.0

全体より5ポイント以上高いものに網掛け、5ポイント以上低いものに斜体+下線

『上』: 学力を「上」もしくは「どちらかといえば上」と回答した学生。『中』: 学力を「中」と回答した学生。『下』: 学力を「どちらかといえば下」もしくは「下」と回答した学生。

改善ポイント	「興味喚起」「自学姿勢喚起」「意欲熱意」「興味工夫」「話方明瞭」「理解配慮」において改善が望まれています。
アンケート結果へのコメント	問題点についてはより一層の工夫や努力をし、来年度の講義に生かせるようにしていきたいと思ひます。

2 改善ポイントの見方の例

「平成 22 年度 後期科目 集計と項目別改善ポイント」見方の例

- **授業満足度**：学生アンケート設問項目「この授業は満足 of いくものである」において、「強く思う」に 5 点～「全く思わない」に 1 点を与えて計算した、加重平均得点です。
- **この科目の自学自習時間**：学生アンケート「この科目の自学自習時間」の集計結果です。授業時間を除いた学習時間です。
- **基礎知識～授業満足 (16 項目)**：学生用アンケート、教員用アンケートそれぞれに対応する設問の回答（学生欄は加重平均得点、教員欄は素点のまま）を示しています。下限が 1 点、上限が 5 点で表示されます。
- **全体影響度**：学生の満足感への影響の強さを数値で表したものです。値は大きいほど影響が強く、最大で 1.0、最小で 0.0 の値をとりますが、1.0 に近い値をとることはほとんどなく、経験的には 0.4 程度の値でかなりの影響があると言えます。この「影響度」は、全学の結果を用いて算出しているため全体影響度と記載しています。
- **不満度**：各評価項目に対する学生の不満感の大きさを数値で表したものです。値が大きいほど不満感が強く、最大で 1、最小で 0 の値をとります。
- **レーダーチャート**：学生と教員の感じ方のギャップを見ることができます。評価の偏りが少なければ円に近い形で表現されますので、どの部分で評価が偏っているのか理解できます。また学生と教員のグラフが重なれば、教員が学生の状況をよく把握して授業を展開しているといえます。
- **学力程度分布**：学生アンケート「この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか」の回答状況を図としたものです。どこの学力レベルに焦点をあてたら授業が進めやすいのかがわかります。
- **改善要求度**：「授業満足度」を高めるためには、①「影響度」の大きな評価項目の、②不満度を減らす、ことができればよいことがわかります。そこで、「改善要求度」を以下のように定義しました。

$$\text{「改善要求度」} = \frac{\text{「影響度」} \times \text{「不満度」}}{\text{「影響度」の最大値}} \times 100$$

- **改善ポイント**：全科目における改善要求度の平均値と比較し、高い項目について改善が望まれています。

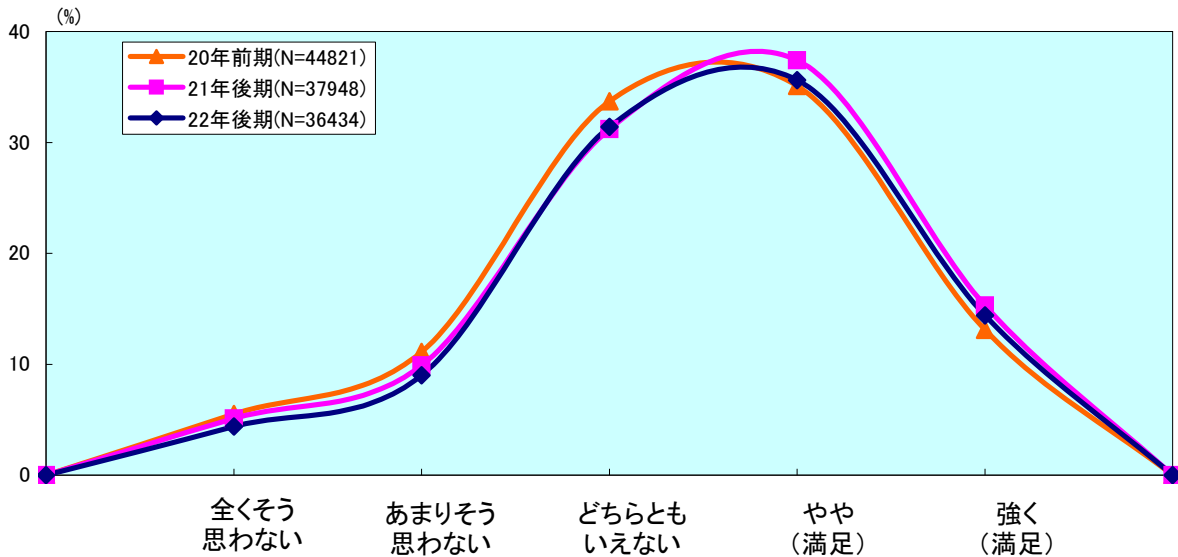
3 授業満足度の変化（1）

[学生]

学生の授業満足度を時系列でみると、全体では「強く満足」+「やや満足」の割合が前年よりやや低下した。学部・学科別でも全般的に横ばいまたは低下傾向で、特に経済学部産業社会学科、農学部生物資源学科では10ポイント前後の低下。

Q17. この授業は満足いくものである。

<授業満足度> 【全学部】



<学科別授業満足度の時系列比較>

学部別	22年後期	21年後期	20年前期	学科別	22年後期	21年後期	20年前期
全体(N=36434)	50.0	52.6	48.2	全体(N=36434)	50.0	52.6	48.2
法学部(n=4997)	52.7	57.2	54.7	法学科(n=4746)	51.7	56.3	54.6
				応用実務法学科(n=251)	70.5	72.7	56.5
経営学部(n=2788)	44.0	48.6	44.3	経営学科(n=2431)	43.4	47.3	43.5
				国際経営学科(n=357)	48.2	51.4	49.2
経済学部(n=1884)	50.7	49.0	43.3	経済学科(n=1414)	49.9	45.8	42.0
				産業社会学科(n=470)	53.4	63.2	47.4
理工学部(n=13440)	46.2	48.3	44.5	数学科(n=1550)	43.5	47.8	43.9
				情報工学科(n=1040)	44.4	45.9	42.5
				電気電子工学科(n=1288)	48.3	51.3	51.0
				材料機能工学科(n=1049)	41.6	40.2	41.0
				機械システム工学科(n=1152)	50.2	55.7	43.1
				交通科学科(n=1089)	48.7	45.8	41.4
				建設システム工学科(n=1019)	44.1	46.4	45.0
				環境創造学科(n=789)	48.0	50.8	49.4
				建築学科(n=1067)	62.3	62.5	57.2
				工学系(n=3397)	41.6	40.0	38.1
農学部(n=3298)	52.0	55.6	53.0	生物資源学科(n=1365)	52.7	63.9	49.5
				応用生物化学科(n=1122)	55.7	53.2	53.6
				生物環境科学科(n=811)	46.9	49.8	56.5
薬学部(n=3507)	51.6	55.9	51.2	薬学科(n=3507)	51.6	55.9	51.2
都市情報学部(n=2055)	49.6	51.9	44.5	都市情報学科(n=2055)	49.6	51.9	44.5
人間学部(n=1815)	57.0	56.2	58.9	人間学科(n=1815)	57.0	56.2	58.9
教職課程・学芸員課程(n=717)	60.8	62.4	55.7				
全学共通教育部門(n=1933)	61.2	62.7	49.8				

※前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

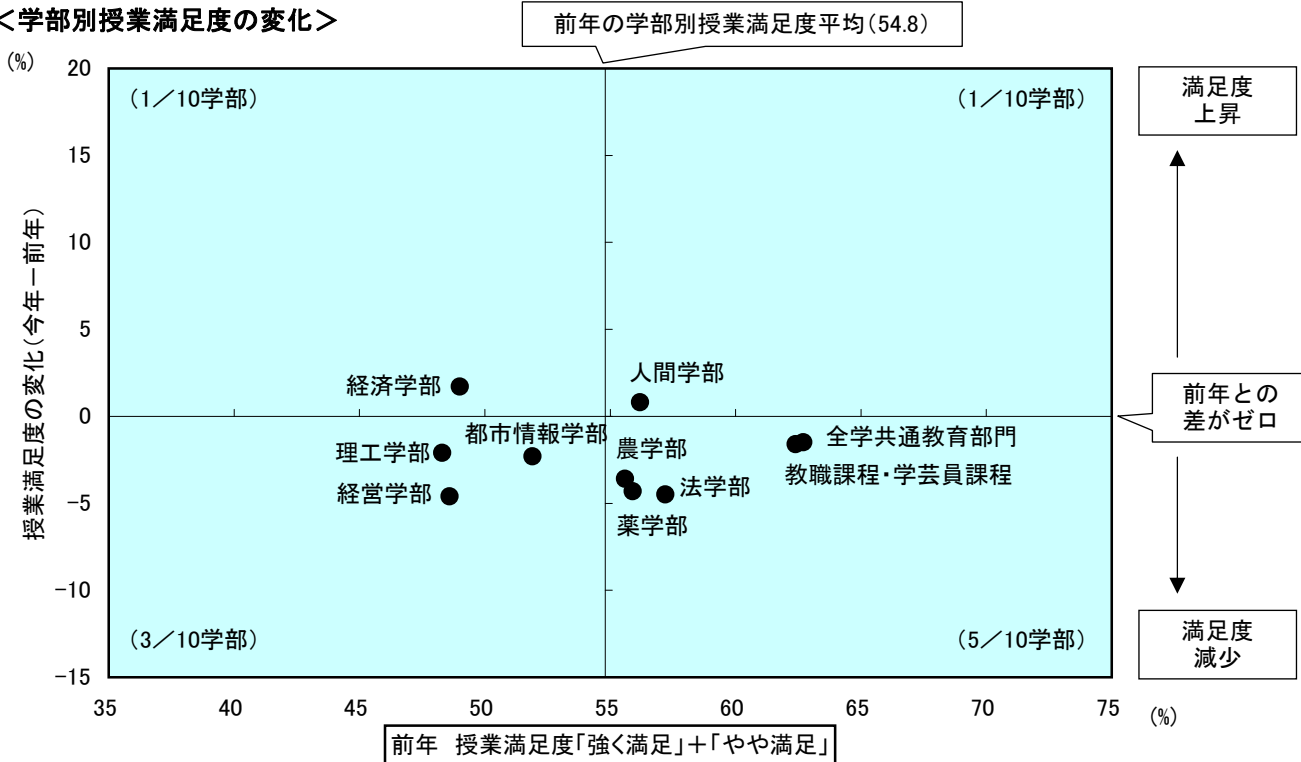
※「強く満足」+「やや満足」のスコア(%)

3 授業満足度の変化（2）

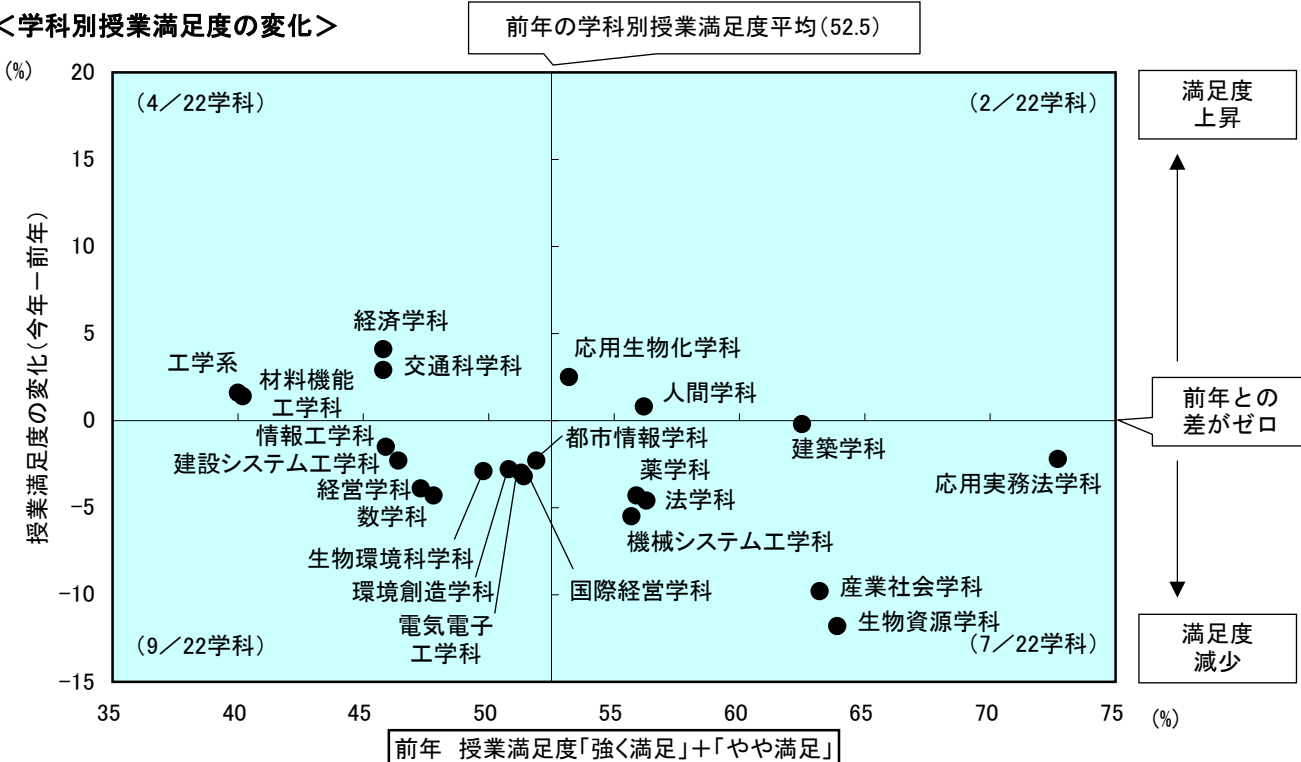
[学生]

学部別、学科別に授業満足度変化の度合いを前年と比較したところ、前年の全学平均よりも低かった学部のうち、満足度が上昇したのは経済学部のみであった。学科別では経済学科、交通科学科、材料機能工学科、工学系の4学科の満足度が上昇した。

＜学部別授業満足度の変化＞



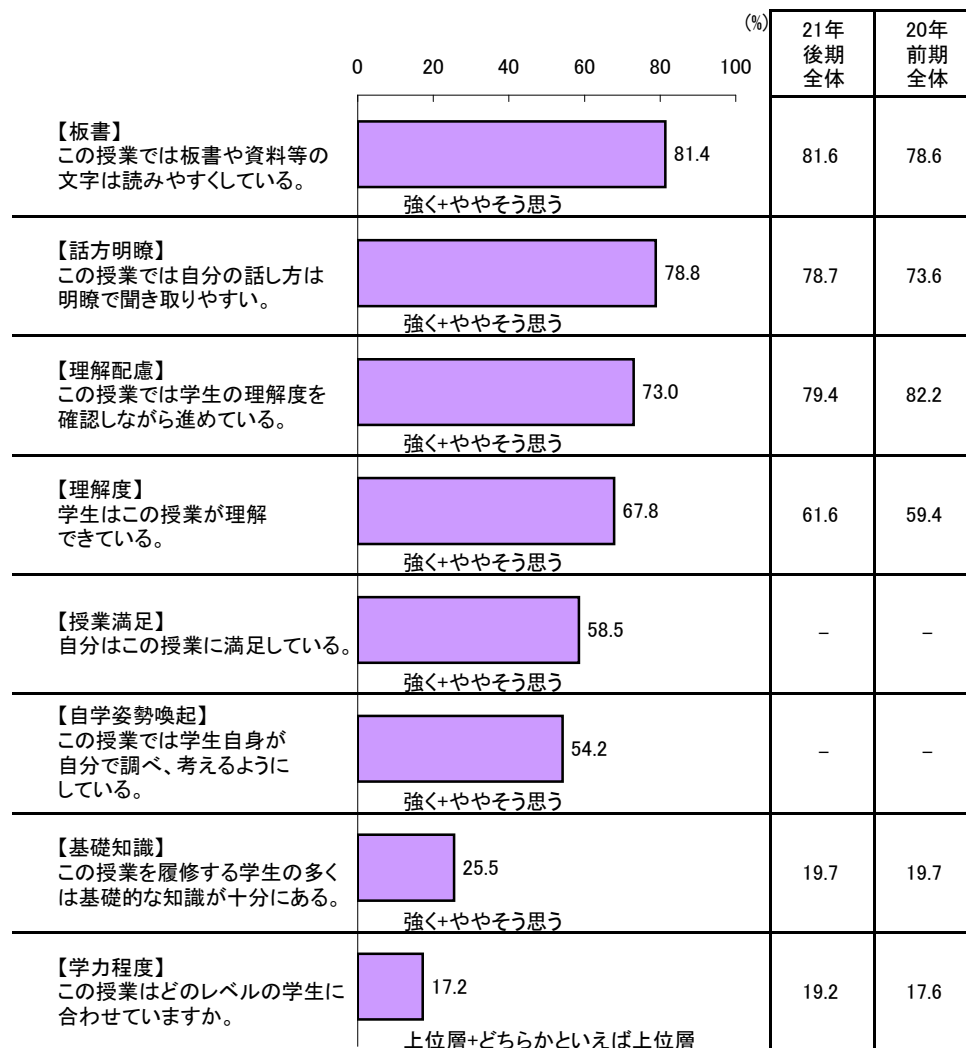
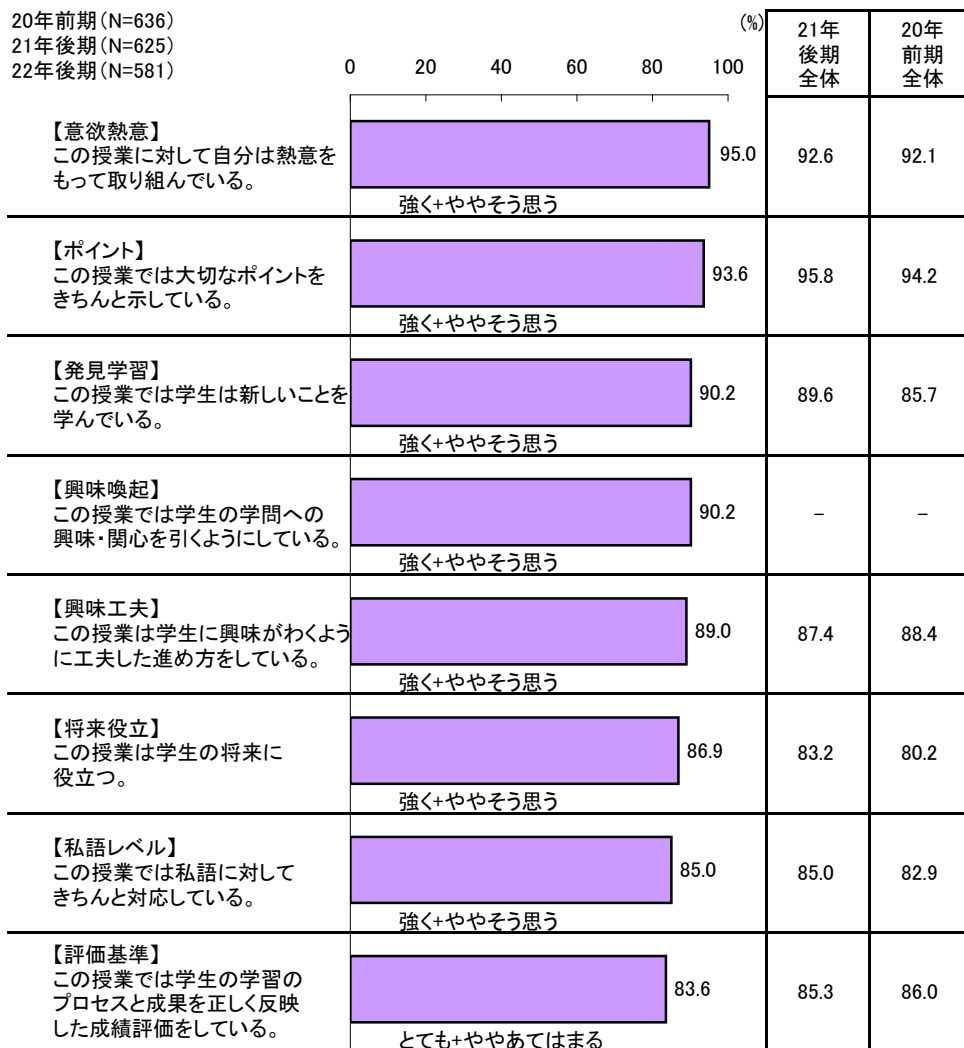
＜学科別授業満足度の変化＞



4 調査結果のまとめ 教員編

教員の自己評価は「意欲熱意」「ポイント」「発見学習」「興味喚起」で特に高く、肯定評価(「強く思う」+「ややそう思う」)の割合が9割を超える。一方、学生の「基礎知識」に対して十分とする割合は2割台にとどまる。授業満足度は6割弱であった。前年と比較すると、「基礎知識」は6ポイント上昇し、「理解配慮」は6ポイント低下した。

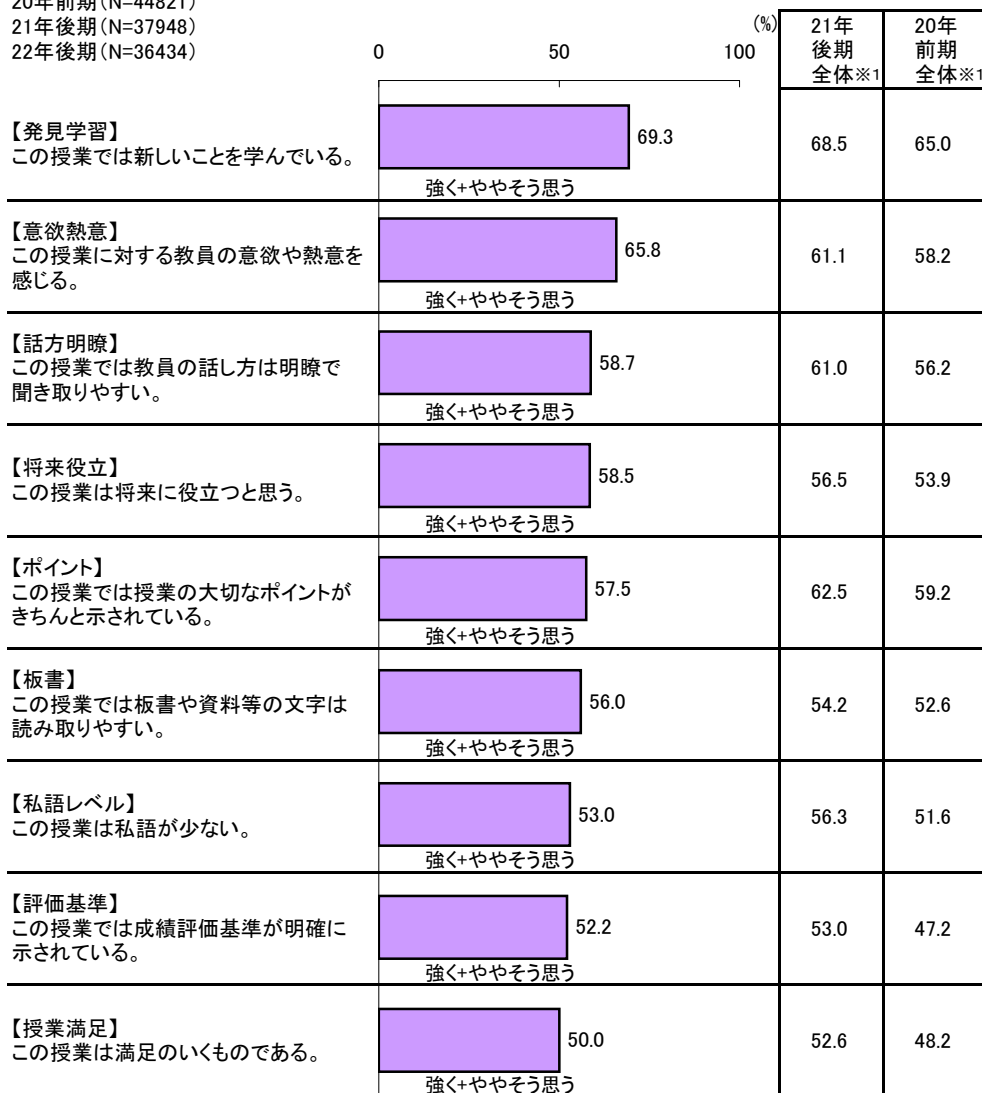
※横棒グラフおよび数表は各設問上位2選択肢の合計割合(%)



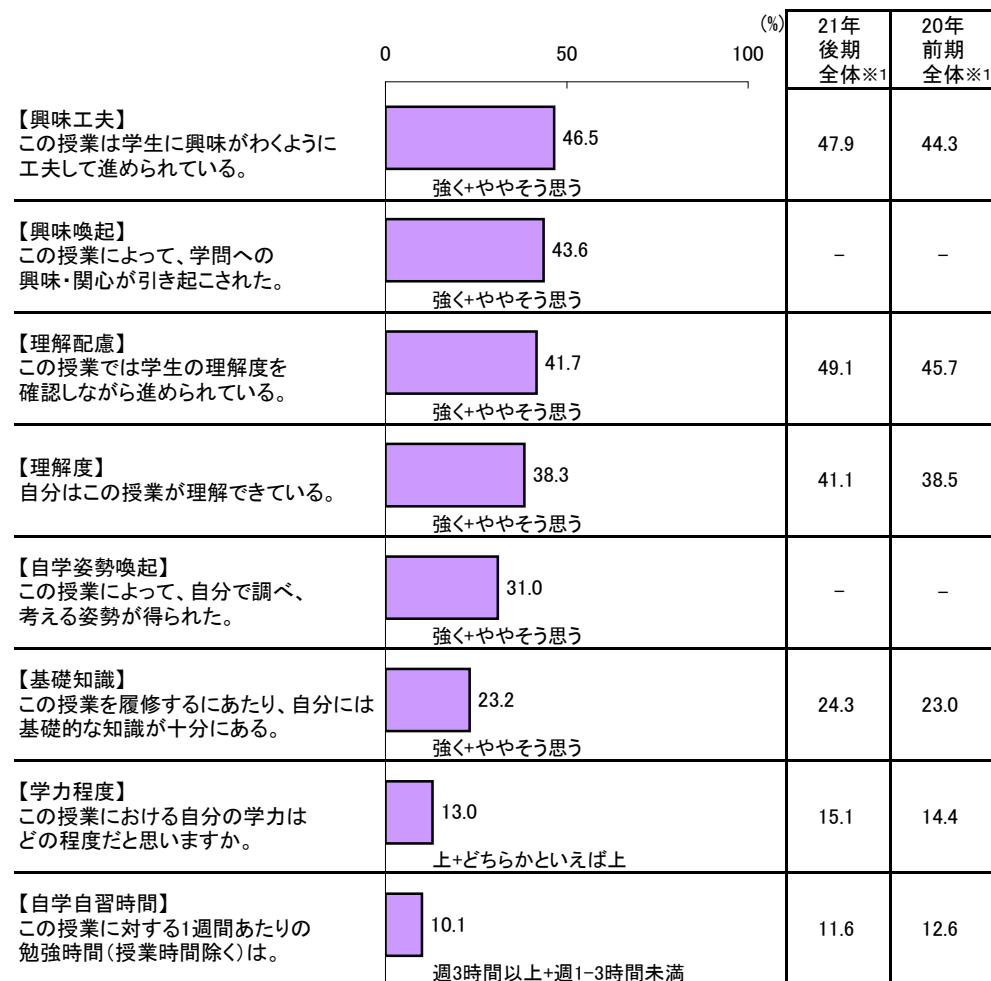
4 調査結果のまとめ 学生編

授業に対する学生の評価は、「発見学習」「意欲熱意」で特に高く、肯定評価(「強く思う」+「ややそう思う」)の割合が7割弱にのぼる。一方、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1-3時間未満」の割合は1割、「学力程度」が上またはどちらかといえば上とする割合は1割強にとどまる。授業満足度は5割であった。前年と比較すると、「理解配慮」が7ポイント低下した。

20年前期(N=44821)
21年後期(N=37948)
22年後期(N=36434)



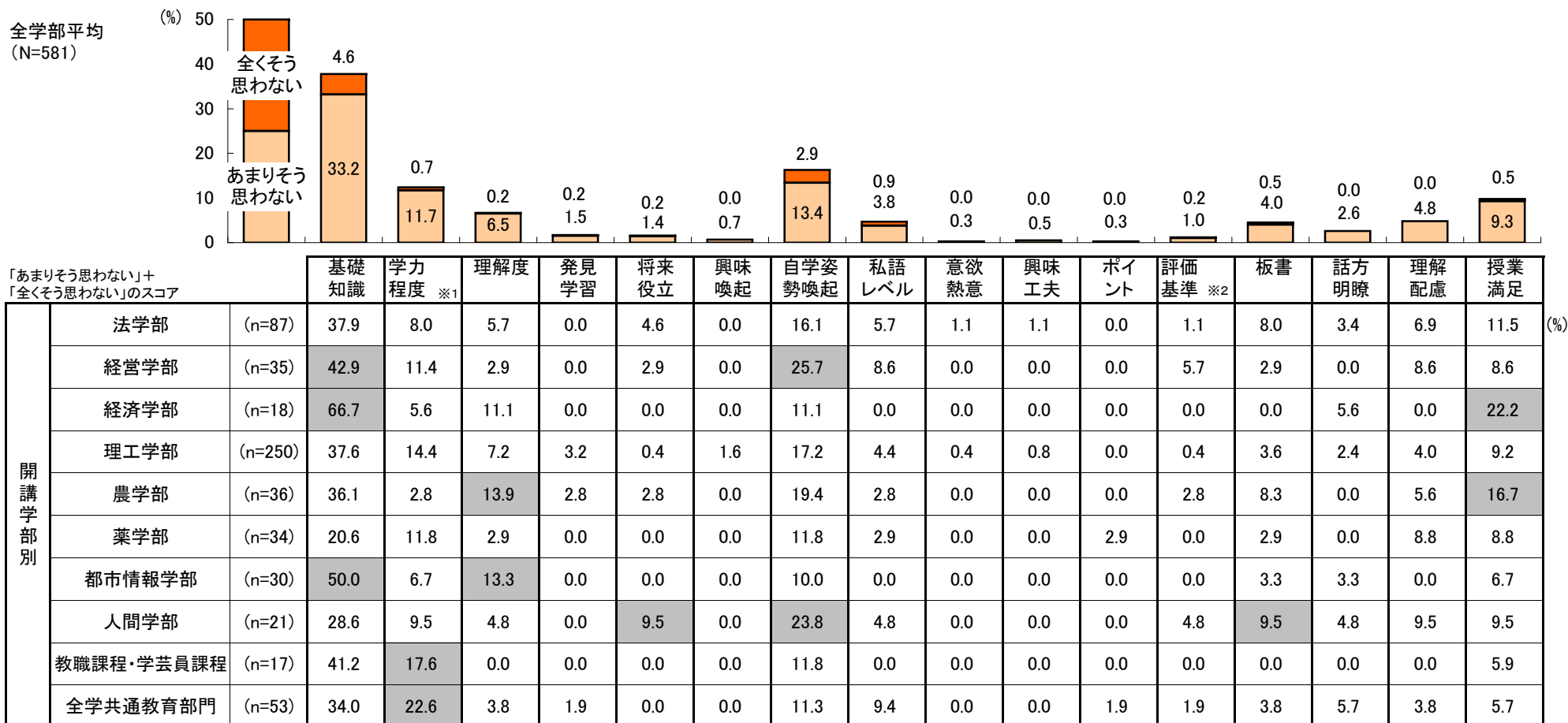
※横棒グラフおよび数表は各設問上位2選択肢の合計割合(%)



※1 20・21年の「私語レベル」の質問は、私語が多くて受けづらいつまらなっているため、「あまり」+「全くそう思わない」のスコア

5 学部別改善ポイント 教員編

教員の自己評価の結果のうち各質問の「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、学生の「基礎知識」が十分ではないと感じている教員の割合が最も高く、特に経済学部、都市情報学部で高い。



網掛けは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

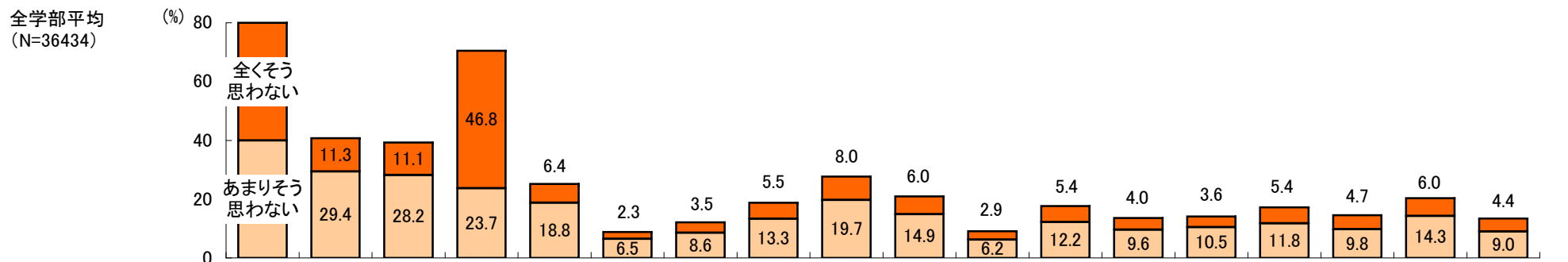
※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下位層」+「下位層」

※2 「評価基準」のスコアは「あまりあてはまらない」+「全くあてはまらない」

5 学部別改善ポイント 学生編

教員の自己評価と同様に学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。

「自学自習時間」「基礎知識」「学力程度」が上位にあげられ、特に自学自習をしていない学生がほぼ半数にのぼる結果となった。



「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア

学部	基礎知識	学力程度 ※1	自学自習時間 ※2	理解度	発見学習	将来役立	興味喚起	自学姿勢喚起	私語レベル	意欲熱意	興味工夫	ポイント	評価基準	板書	話方明瞭	理解配慮	授業満足
法学部 (n=4997)	45.1	41.4	70.3	23.1	9.2	12.6	18.3	28.6	18.6	7.4	15.3	12.7	14.7	17.8	14.3	20.2	12.2
経営学部 (n=2788)	44.2	38.8	75.4	24.3	11.7	11.9	20.2	31.1	26.4	11.7	21.4	19.4	17.9	18.3	19.3	26.6	16.6
経済学部 (n=1884)	46.7	42.8	77.2	26.7	8.4	15.9	20.1	27.2	18.6	7.6	19.4	13.4	11.1	16.8	14.4	20.8	14.4
理工学部 (n=13440)	38.5	37.7	63.6	27.7	9.2	14.8	21.7	27.5	21.7	11.3	20.8	14.3	13.3	19.7	16.9	22.3	15.8
農学部 (n=3298)	39.7	43.5	79.4	25.3	7.3	9.9	15.9	27.4	15.8	7.8	16.6	16.0	15.9	15.5	13.6	19.8	13.4
薬学部 (n=3507)	41.1	45.0	72.9	30.6	7.4	6.2	15.7	27.7	19.6	6.9	13.3	10.7	16.4	15.8	11.5	17.0	9.6
都市情報学部 (n=2055)	38.2	36.4	70.0	22.0	9.3	11.8	18.8	27.0	22.2	8.5	16.7	11.8	13.8	13.9	10.7	17.9	10.9
人間学部 (n=1815)	40.2	34.8	84.3	17.2	6.3	8.8	13.4	29.9	27.1	7.2	14.4	11.3	10.6	14.3	10.6	17.6	9.8
教職課程・学芸員課程 (n=717)	37.2	26.4	75.5	16.3	7.0	8.1	13.5	21.6	18.1	9.2	13.1	12.6	19.1	12.8	11.4	16.2	11.0
全学共通教育部門 (n=1933)	39.0	36.4	71.2	17.3	8.4	9.2	13.5	24.1	19.7	5.3	9.2	7.9	9.8	9.9	7.2	11.9	8.0

網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下」+「下」

※2 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

学生への設問の中で教員自身が改善できると考えられる12項目について、授業満足度への全体影響度と不満度から改善要求度を算出した。結果、「学生の理解度を確認しながら進めてほしい」「学生に興味がわくように工夫して進めてほしい」との改善要求度が高いことがわかった。

全体影響度

「全体影響度」とは、学生の**満足感への影響の強さ**を数値で表したものです。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「授業満足」の評価との関係の強さを数値で表したものであるということになります。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。この「全体影響度」は、全学の結果を用いて算出しています。

不満度

「不満度」とは、評価項目に対する**学生の不満感の大きさ**を数値で表したものです。ある評価項目に対して、学生が「そうは思いません」という気持ちの程度を数値化して表したものであるとして理解してください。値が大きいほど不満感が強く、最大で1、最小で0の値をとります。

改善要求度

「授業満足」に対する評価を上げるためには、①「全体影響度」の大きな評価項目の、②不満度を減らす、ことができればよいことがわかります。すなわち、授業のやり方に対する学生からの改善要求の度合いは、「全体影響度」および「不満度」と比例関係にあることがわかります。そこで、「改善要求度」を以下のように定義しました。

$$\text{「改善要求度」} = \frac{\text{「影響度」} \times \text{「不満度」}}{\text{「影響度」の最大値}} \times 100$$

「改善要求度」は、大学全体で算出した「全体影響度」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

	全体影響度	不満度	改善要求度
5.この授業では新しいことを学んでいる	0.30	0.33	19.17
6.この授業は将来に役立つと思う	0.35	0.39	26.67
7.この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた	0.44	0.47	40.22
8.この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた	0.32	0.54	33.94
9.この授業は私語が少ない	0.19	0.41	15.68
10.この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる	0.41	0.34	27.58
11.この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている	0.51	0.45	44.88
12.この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている	0.47	0.39	36.36
13.この授業では成績評価基準が明確に示されている	0.34	0.41	27.02
14.この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい	0.38	0.40	29.51
15.この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい	0.45	0.38	33.75
16.この授業では学生の理解度を確認しながら進められている	0.50	0.47	46.45
全体影響度の最大値	0.51		

6 授業満足度から見た授業改善項目（全学）

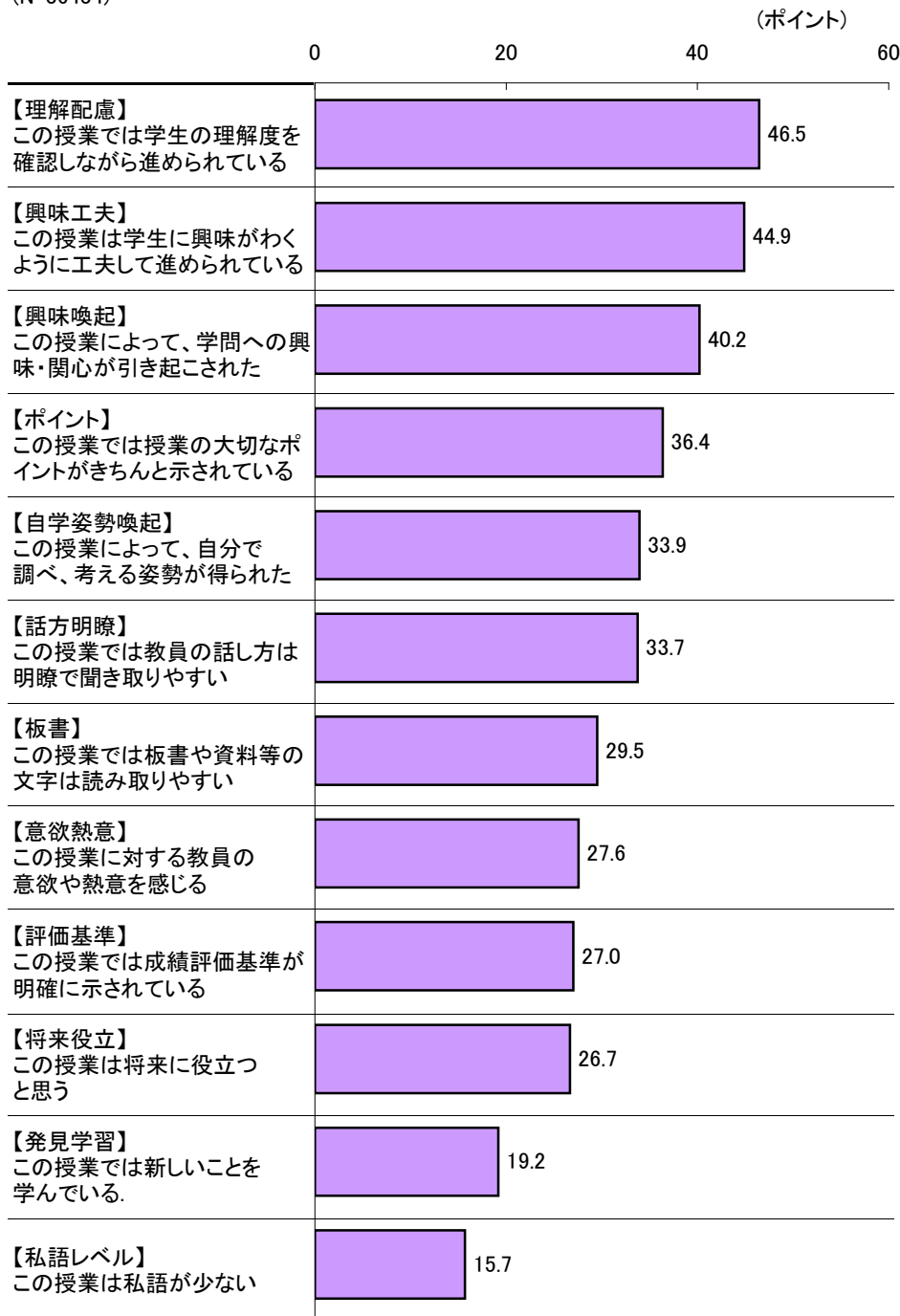
[学生]

学生による改善要求度は「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」で高く、上位項目を中心に学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほど改善要求度が高い。一方、「私語レベル」「発見学習」への改善要求度は低い。

<改善要求度の高い項目>

【全学部平均】

(N=36434)



学力程度		
学力上	学力中	学力下
(n=4743)	(n=17310)	(n=14312)
34.9	44.6	52.5
35.4	43.3	49.9
30.0	38.2	46.1
28.3	35.3	40.3
25.0	32.8	38.3
27.1	32.5	37.4
23.4	28.6	32.6
23.1	27.2	29.5
21.3	26.7	29.3
21.4	25.8	29.5
17.8	19.2	19.5
13.7	15.9	16.1

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 授業満足度から見た授業改善項目（法学部）

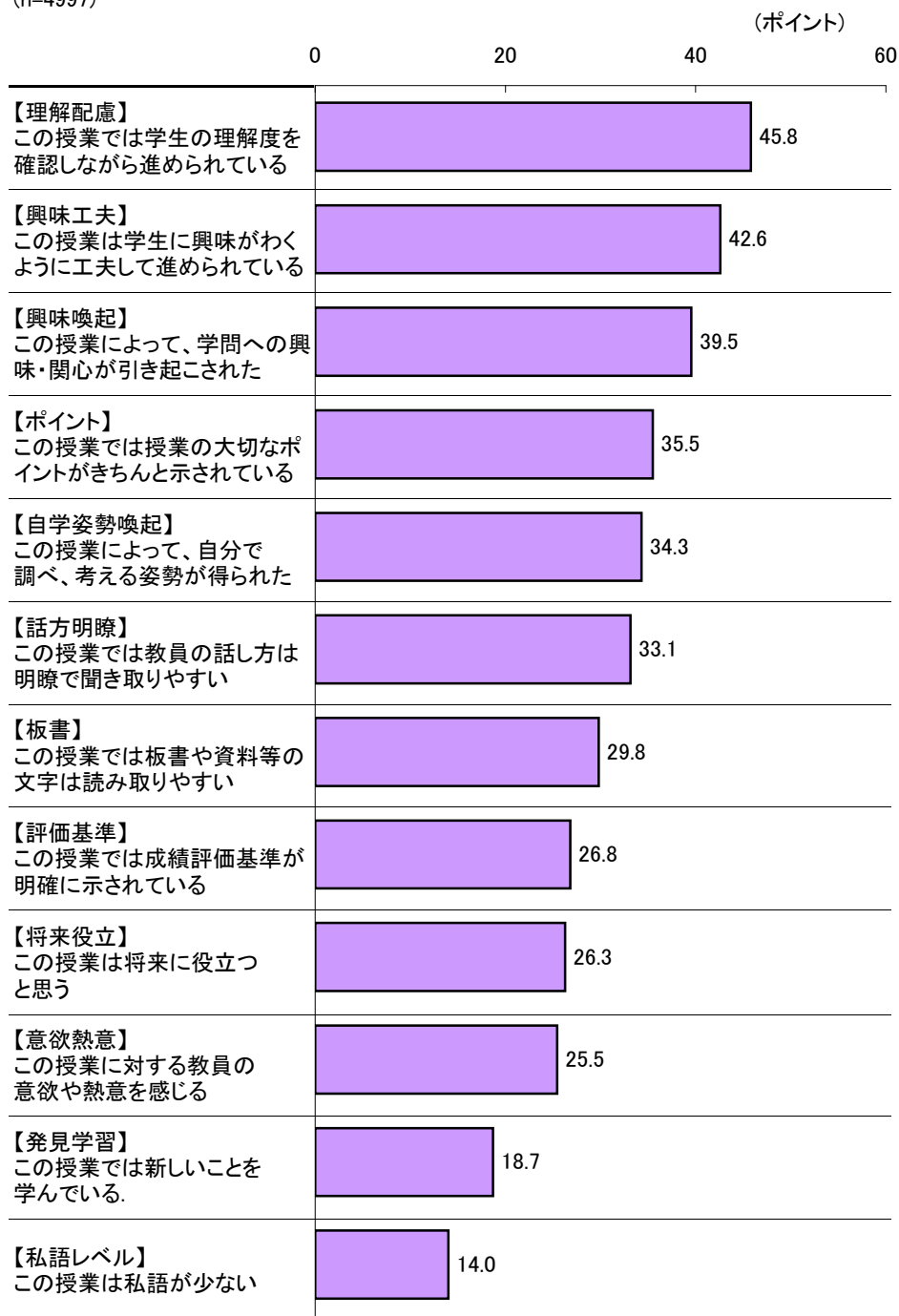
[学生]

法学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【法学部】

(n=4997)



学力程度		
学力上 (n=658)	学力中 (n=2261)	学力下 (n=2070)
33.8	43.6	52.1
34.3	40.7	47.3
29.3	37.4	45.1
27.5	33.6	40.0
25.2	33.1	38.5
26.8	31.3	37.1
24.5	28.3	33.2
21.8	25.9	29.4
21.3	25.8	28.4
22.2	24.8	27.2
17.6	18.5	19.3
12.7	14.2	14.1

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 授業満足度から見た授業改善項目（経営学部）

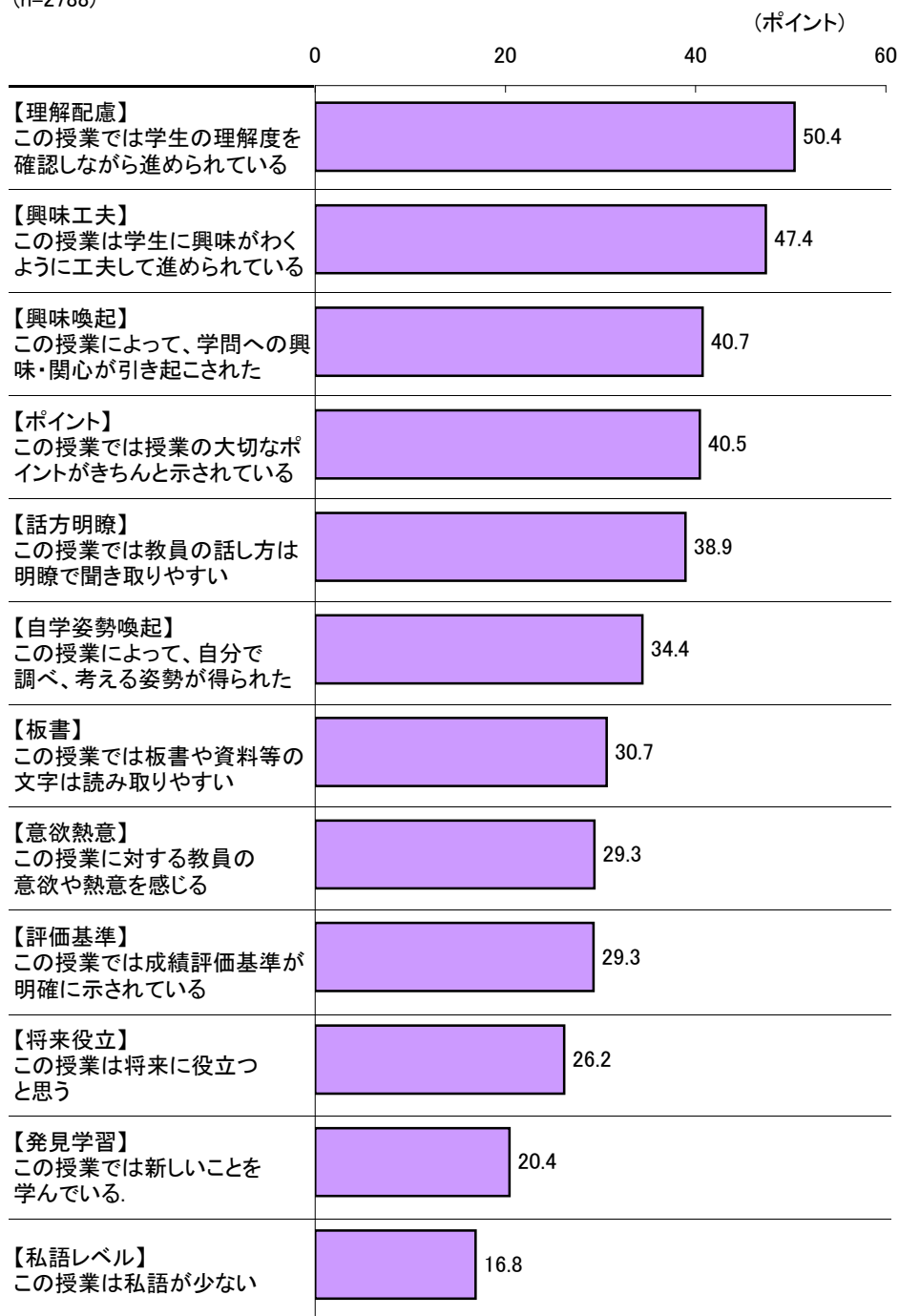
[学生]

経営学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【経営学部】

(n=2788)



学力程度		
学力上 (n=420)	学力中 (n=1284)	学力下 (n=1081)
37.3	49.5	56.5
37.4	47.1	51.6
31.0	39.6	45.8
32.4	40.3	43.8
29.9	38.4	43.1
25.5	33.8	38.5
24.2	30.2	33.8
24.6	29.9	30.5
21.8	29.2	32.3
21.7	25.7	28.5
19.1	20.7	20.6
14.6	17.0	17.5

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 授業満足度から見た授業改善項目（経済学部）

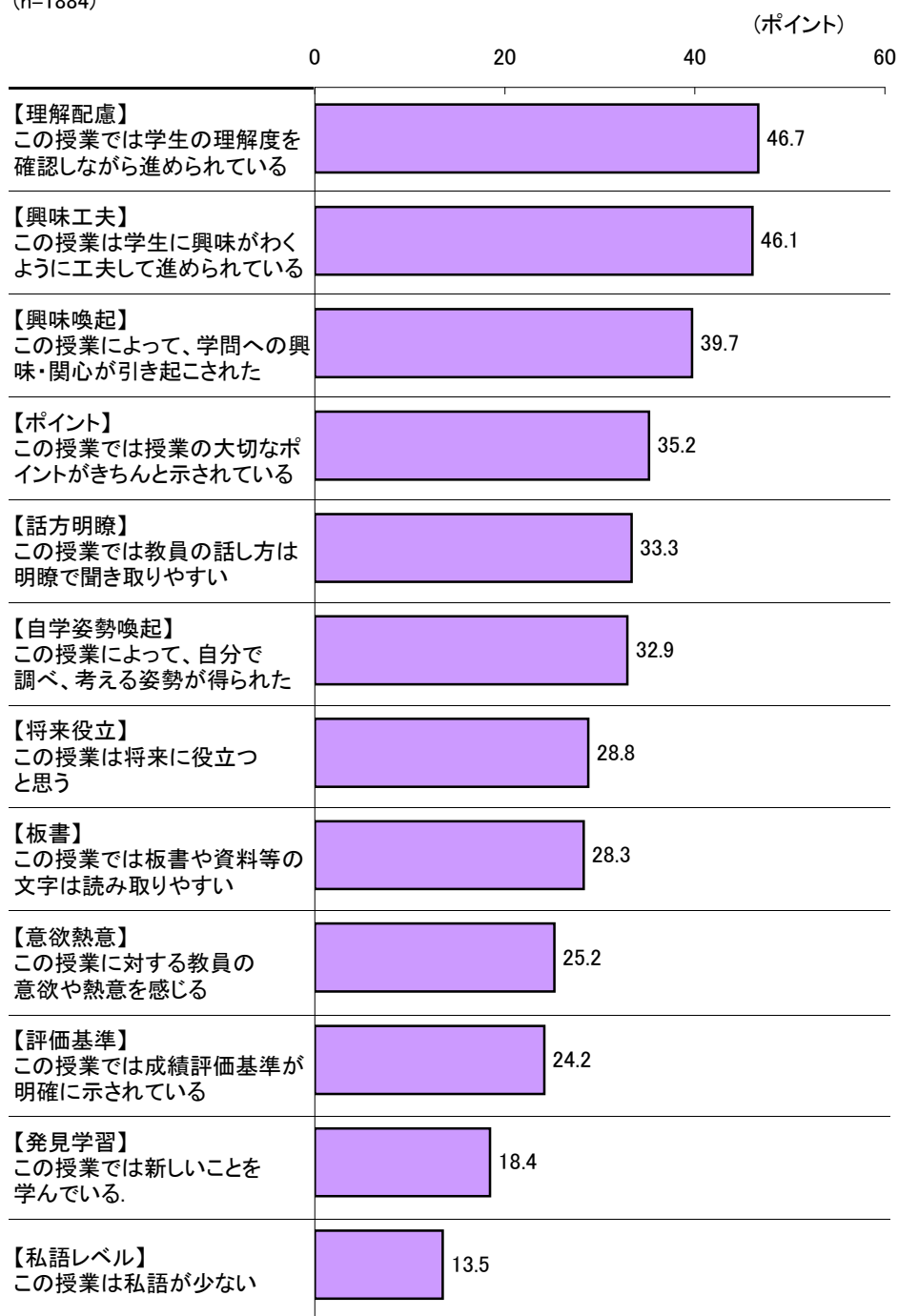
[学生]

経済学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【経済学部】

(n=1884)



学力程度		
学力上 (n=232)	学力中 (n=838)	学力下 (n=807)
34.2	44.7	52.2
35.0	44.9	50.4
28.5	37.5	45.1
27.6	34.1	38.4
27.9	33.0	35.2
24.0	31.5	36.9
21.7	27.8	31.8
21.6	28.8	29.7
20.7	25.1	26.5
20.0	23.3	26.3
17.0	18.7	18.6
11.7	14.0	13.4

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 授業満足度から見た授業改善項目（理工学部）

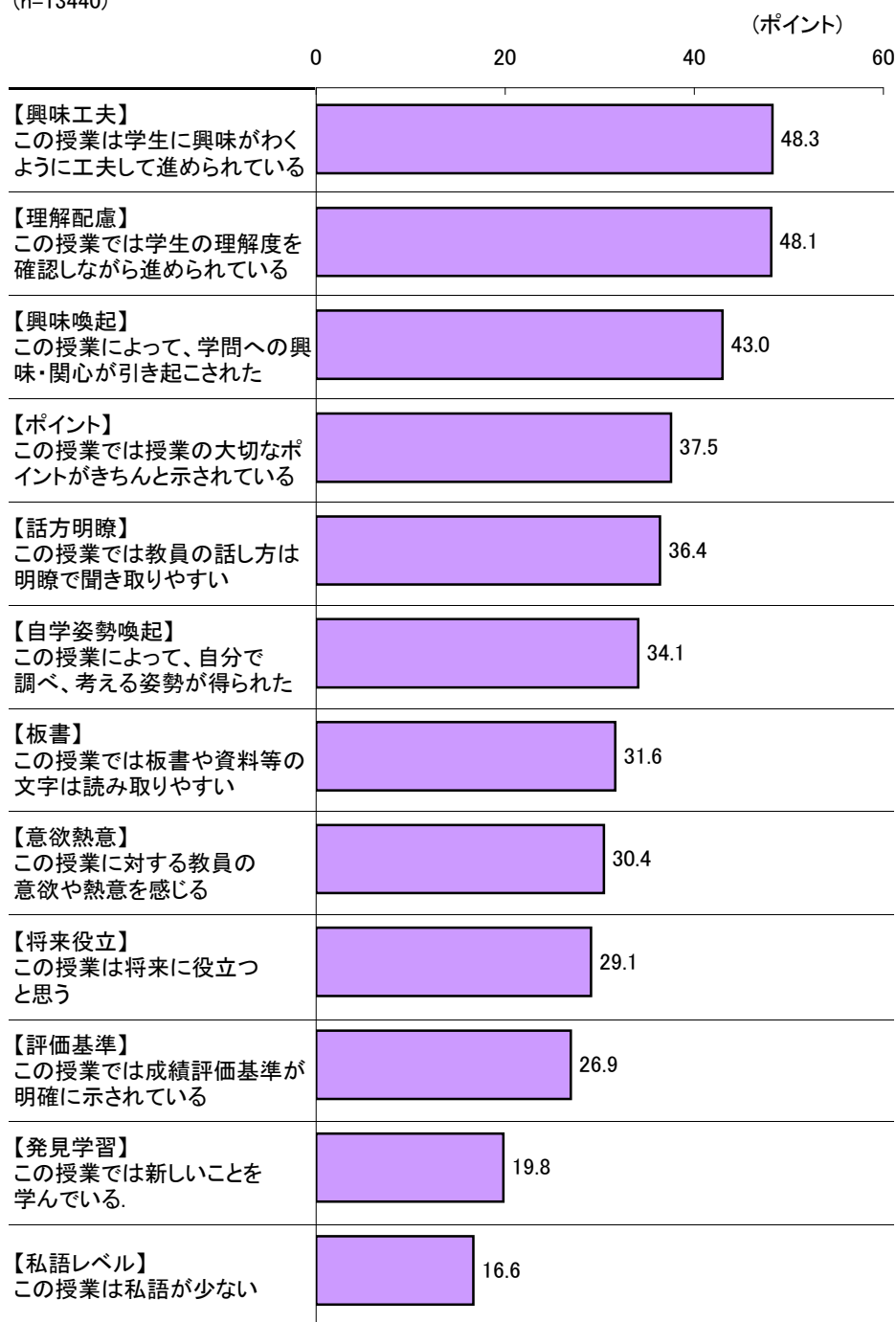
[学生]

理工学部では「興味工夫」「理解配慮」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【理工学部】

(n=13440)



学力程度		
学力上 (n=1912)	学力中 (n=6434)	学力下 (n=5069)
37.7	46.5	54.5
35.4	46.6	54.9
31.9	41.0	49.6
28.8	36.5	42.2
28.5	35.3	40.6
25.4	32.9	38.8
24.2	30.9	35.3
24.9	30.2	32.8
22.9	28.2	32.5
21.1	26.7	29.4
18.2	19.8	20.4
14.3	16.9	17.2

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 授業満足度から見た授業改善項目（農学部）

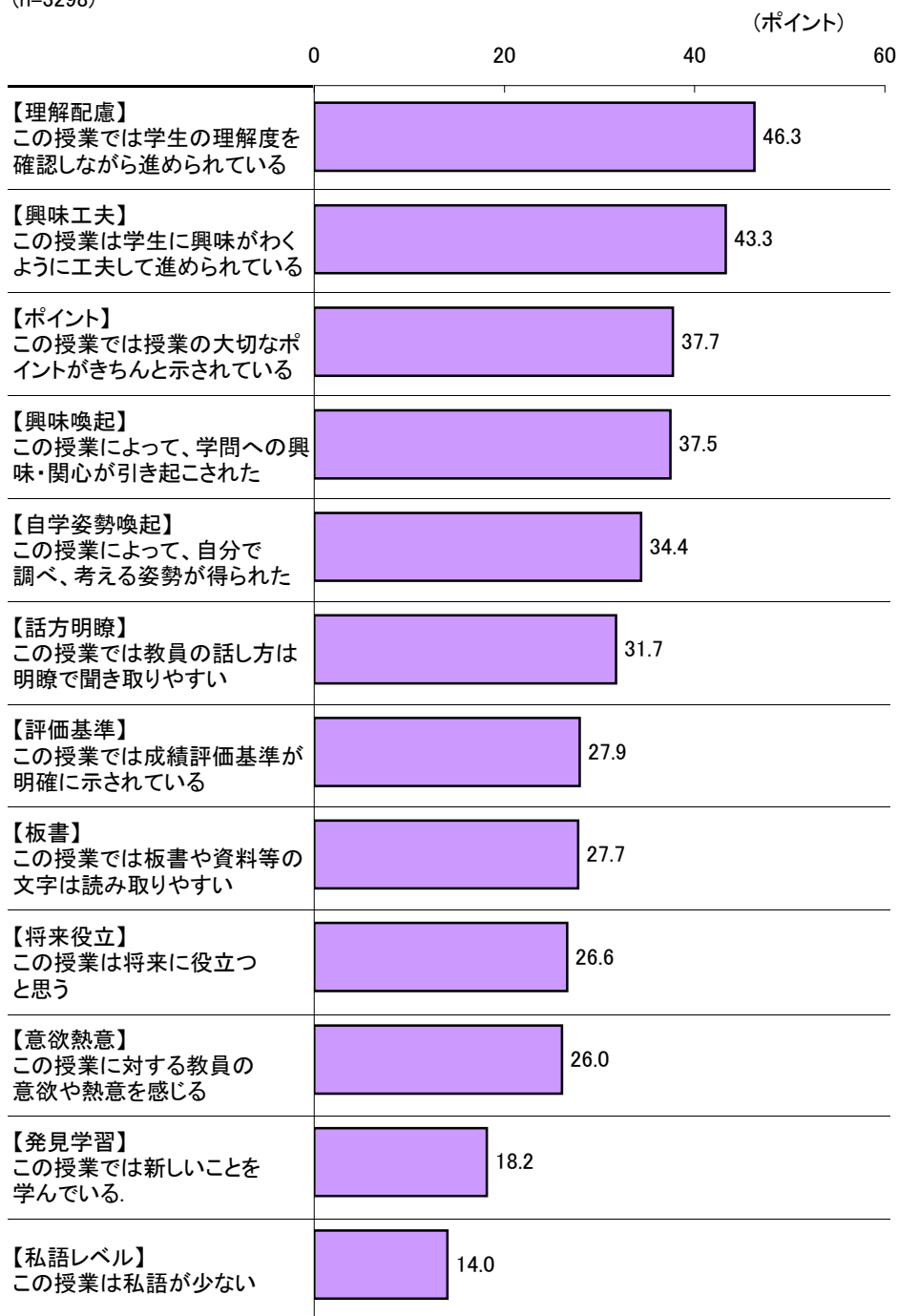
[学生]

農学部では「理解配慮」「興味工夫」「ポイント」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【農学部】

(n=3298)



学力程度		
学力上 (n=253)	学力中 (n=1604)	学力下 (n=1434)
36.0	43.6	51.2
32.8	40.5	48.2
27.6	35.8	41.7
28.6	33.7	43.3
26.4	32.9	37.4
24.8	29.5	35.6
21.6	27.3	29.7
22.5	26.0	30.6
21.1	24.9	29.5
21.0	24.5	28.6
19.0	18.4	17.7
14.2	13.3	14.7

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 授業満足度から見た授業改善項目（薬学部）

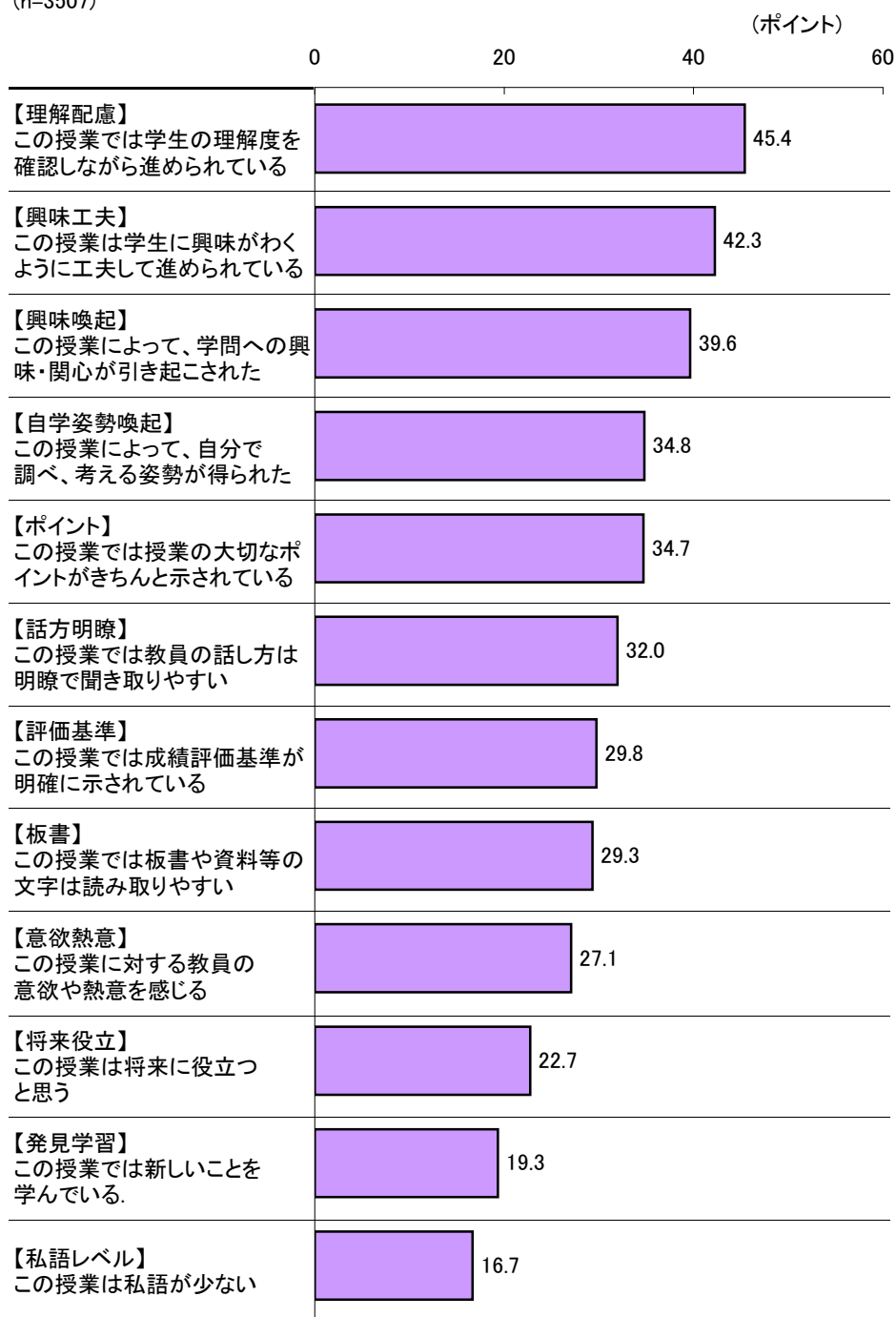
[学生]

薬学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【薬学部】

(n=3507)



学力程度		
学力上 (n=273)	学力中 (n=1651)	学力下 (n=1578)
35.7	42.7	49.8
33.9	40.7	45.4
31.1	36.8	44.1
24.8	33.1	38.3
29.1	34.1	36.4
27.0	30.6	34.2
25.1	29.4	30.9
23.6	28.2	31.6
23.6	26.6	28.1
21.1	21.8	24.0
18.3	19.9	19.0
14.9	17.2	16.4

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

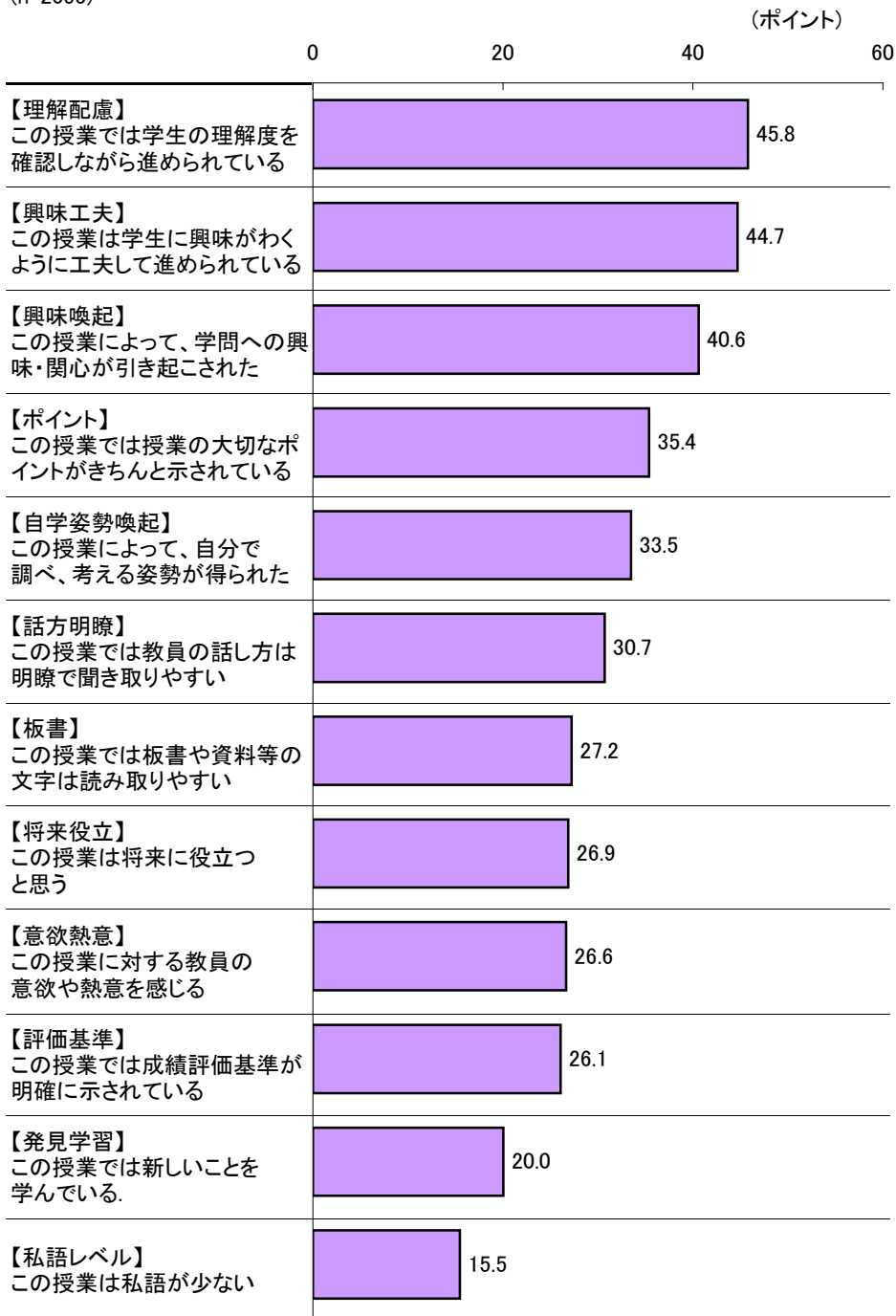
6 授業満足度から見た授業改善項目（都市情報学部） [学生]

都市情報学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【都市情報学部】

(n=2055)



学力程度		
学力上 (n=373)	学力中 (n=927)	学力下 (n=749)
35.0	44.7	52.6
34.3	44.4	50.2
28.8	39.8	47.5
26.9	35.2	39.8
23.7	32.7	39.4
25.9	30.2	33.6
22.5	26.8	30.1
20.7	26.2	30.8
21.7	26.8	28.8
20.9	25.8	29.0
17.6	20.0	21.4
12.3	15.7	16.7

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 授業満足度から見た授業改善項目（人間学部）

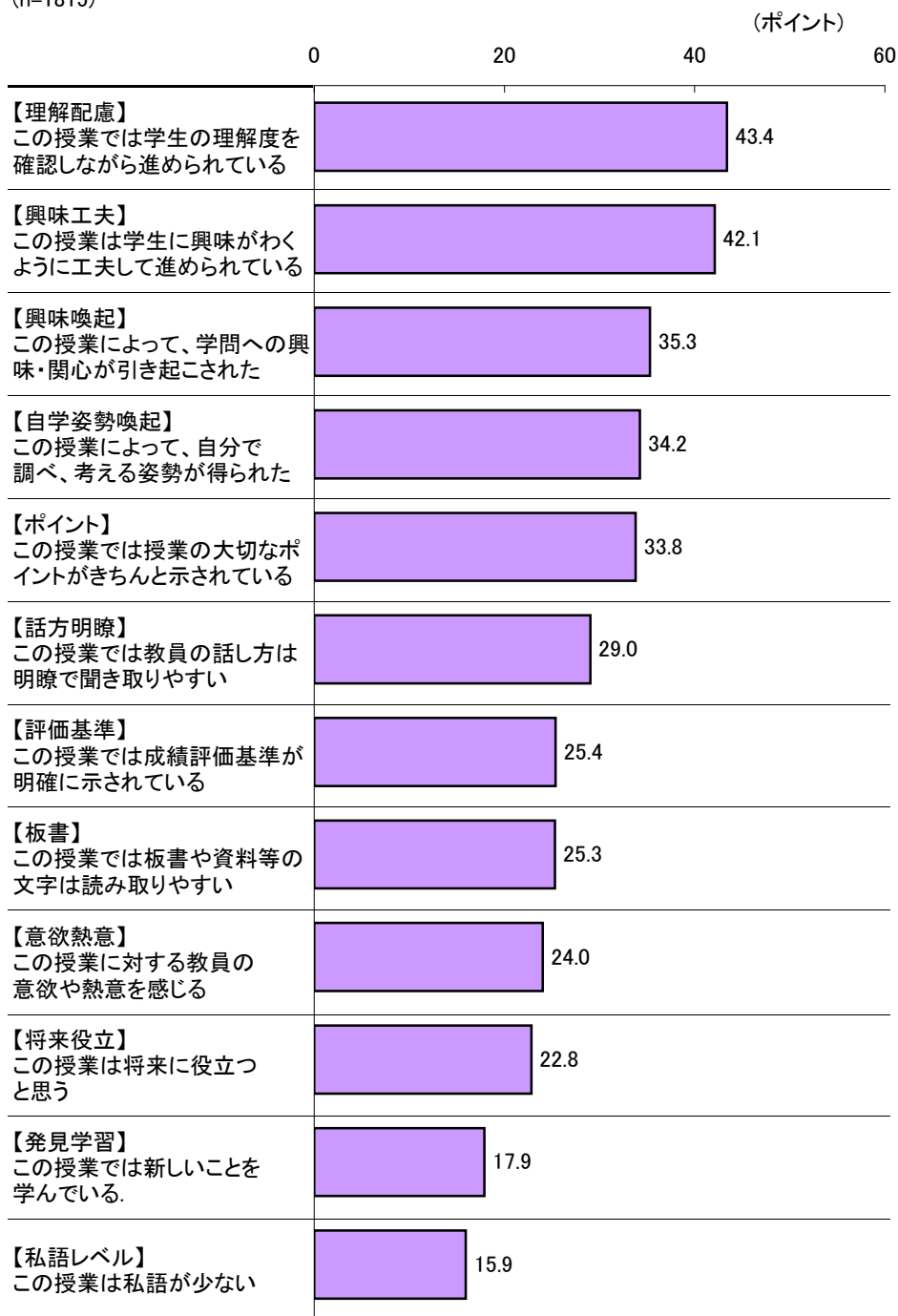
[学生]

人間学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【人間学部】

(n=1815)



学力程度		
学力上 (n=215)	学力中 (n=965)	学力下 (n=632)
34.8	41.3	49.4
36.3	40.5	46.6
27.6	33.1	41.4
27.6	33.1	38.2
28.0	32.5	37.7
24.4	27.2	33.3
21.5	24.9	27.4
21.3	24.0	28.6
21.5	23.4	25.9
17.2	21.8	26.3
15.2	17.7	19.1
13.2	15.2	18.0

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

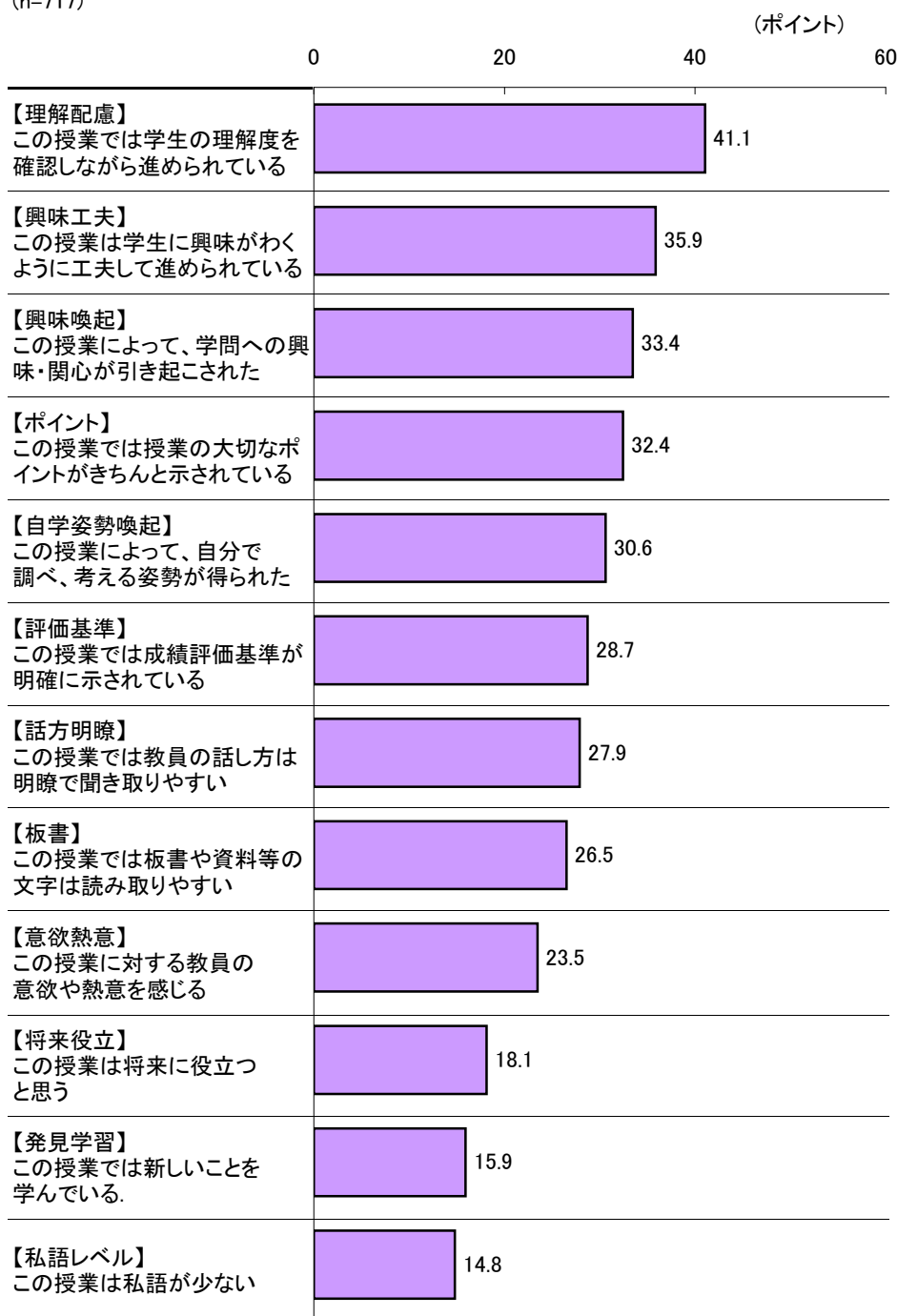
6 授業満足度から見た授業改善項目（教職課程・学芸員課程） [学生]

教職課程・学芸員課程では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【教職課程・学芸員課程】

(n=717)



学力程度		
学力上	学力中	学力下
(n=79)	(n=448)	(n=189)
38.2	39.0	47.0
31.7	34.0	42.0
28.8	32.0	38.7
28.0	31.0	37.7
24.3	30.1	34.4
26.4	28.2	30.8
26.5	26.6	31.3
25.7	25.2	30.1
20.5	22.5	27.1
16.1	16.8	22.1
19.0	15.2	16.3
14.0	15.0	14.6

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

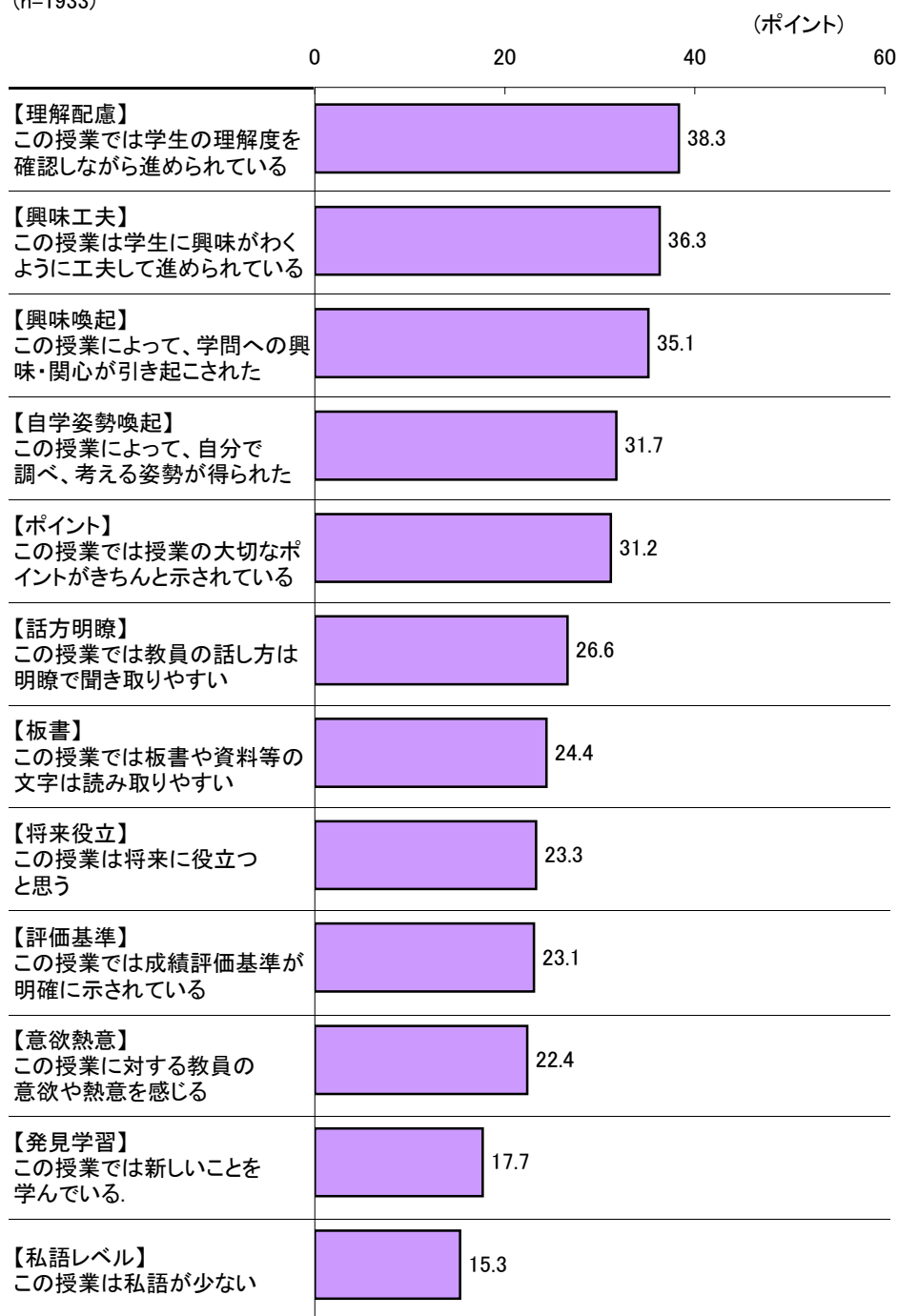
6 授業満足度から見た授業改善項目（全学共通教育部門） [学生]

全学共通教育部門では改善要求度のレベルが全般的に低い。項目別には「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。

<改善要求度の高い項目>

【全学共通教育部門】

(n=1933)



学力程度		
学力上 (n=328)	学力中 (n=898)	学力下 (n=703)
28.7	37.8	43.4
27.2	36.9	39.8
23.7	35.1	40.4
22.1	31.8	36.1
23.4	31.6	34.1
21.2	27.0	28.6
18.2	24.7	26.8
17.4	23.5	25.8
17.7	23.4	25.2
19.6	22.9	22.9
15.0	18.3	18.1
12.3	15.9	15.8

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 学生と教員の評価のちがいと授業満足度との関係（1）

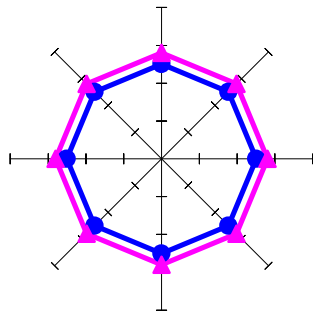
[授業]

授業ごとに学生と教員の評価のちがいによって満足度にどの程度関連するかを調べた。学生スコアの総得点が高く、教員とのギャップが少ないほど、満足度が高くなることがわかった。満足度が最も高いパターンAの授業は、全体の4割弱を占める。

学生と教員で比較できる15項目について、評価のちがいが満足度にどの程度影響しているのかを確認した。集計対象は教員調査に無回答のない550授業。

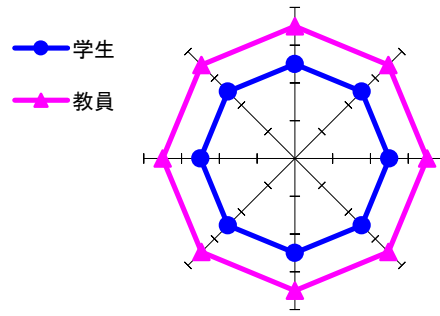
下記のチャートは4分類をわかりやすく表記するためのイメージ図です。

学生のスコアの大小は各授業の平均値を基準とした。学生・教員の差の大小についても両者の差の絶対値の平均値を基準とした。



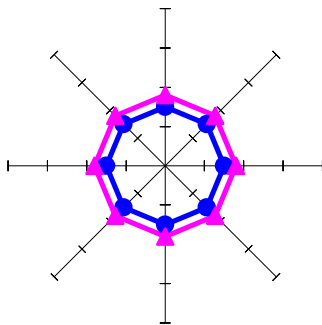
パターンA

学生スコアが大きく、学生・教員の差が小さい
202授業/550授業



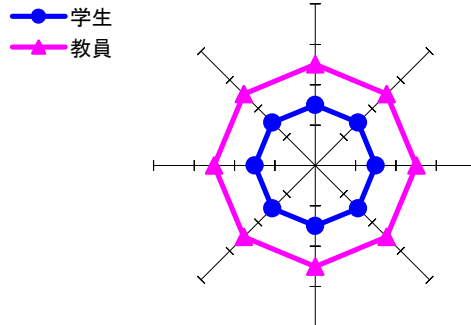
パターンB

学生スコアが大きく、学生・教員の差が大きい
81授業/550授業



パターンC

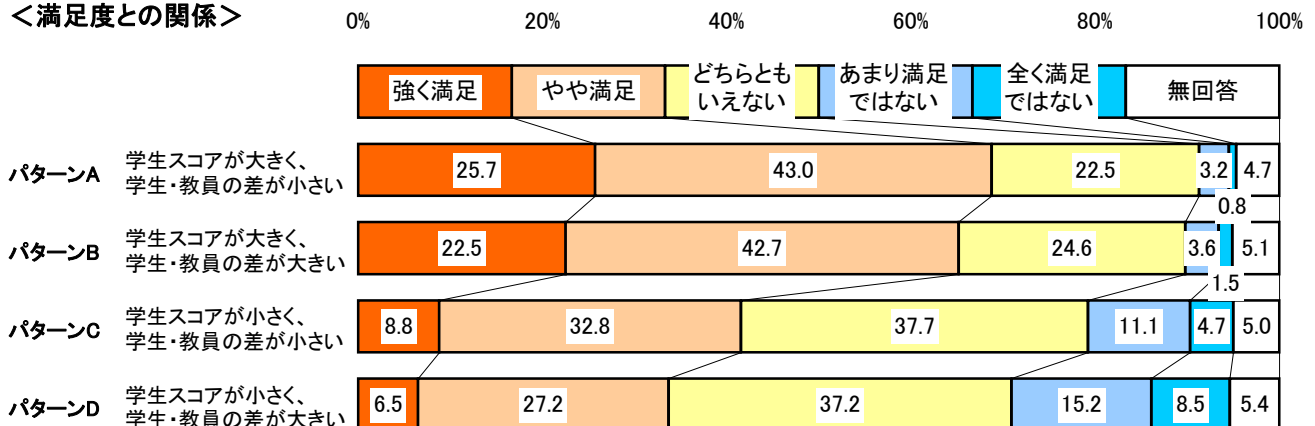
学生スコアが小さく、学生・教員の差が小さい
94授業/550授業



パターンD

学生スコアが小さく、学生・教員の差が大きい
173授業/550授業

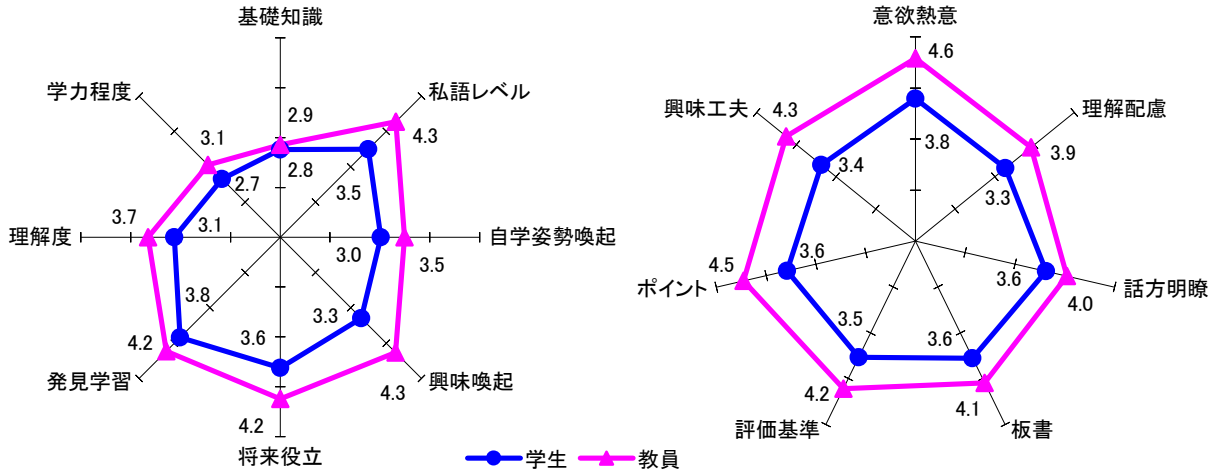
<満足度との関係>



7 学生と教員の評価のちがいと授業満足度との関係(2)[教員][学生]

全ての項目において教員の評価の方が学生よりも高い。基礎知識、学力程度については教員と学生の双方とも評価が低い。前頁のように学生と教員の評価差は少ない方が満足度は高くなる傾向がある。差が少なかったのは経済学部、人間学部、教職課程・学芸員課程である。

【全学部平均】



【開講学部別】

		学生スコア合計	教員スコア合計	教員の自己評価と学生評価の差 (教員スコア) - (学生スコア)	(点)	
全体	(n=36434)	50.5	59.6	9.1		
開講学部別	法学部	(n=4997)	51.0	59.1	8.1	
	経営学部	(n=2788)	49.4	58.8	9.4	
	経済学部	(n=1884)	51.0	57.9	6.9	
	理工学部	(n=13440)	49.5	59.6	10.1	
	農学部	(n=3298)	51.0	59.0	8.0	
	薬学部	(n=3507)	50.5	61.4	11.0	
	都市情報学部	(n=2055)	51.2	60.3	9.1	
	人間学部	(n=1815)	52.4	59.3	6.9	
	教職課程・学芸員課程	(n=1933)	53.6	60.6	7.0	
	全学共通教育部門	(n=717)	53.4	61.0	7.6	

学生スコア合計は、全体より大きいもの
教員の自己評価と学生評価の差は、全体より小さいもの
に網掛け

8 学生と教員の授業満足度の関係

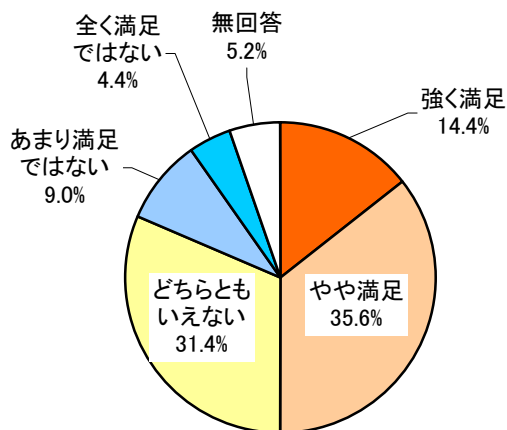
[教員] [学生] [授業]

授業満足について教員にも学生同様に伺ったところ、教員の満足度の方がやや高かった。教員の授業満足度別に授業別の学生満足度をみると、教員が満足している授業は学生の満足度がやや高くなる傾向がみられた。

< 学生・教員の授業満足度 >

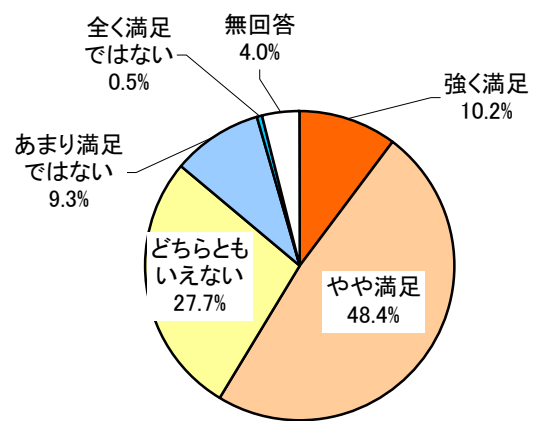
「学生設問 Q17. この授業は満足のものである。」
 「教員設問 Q16. 自分はこの授業に満足している。」
 について、一致度合いを確認した。

【学生】 (N=36434)



[満足計 50.0%]

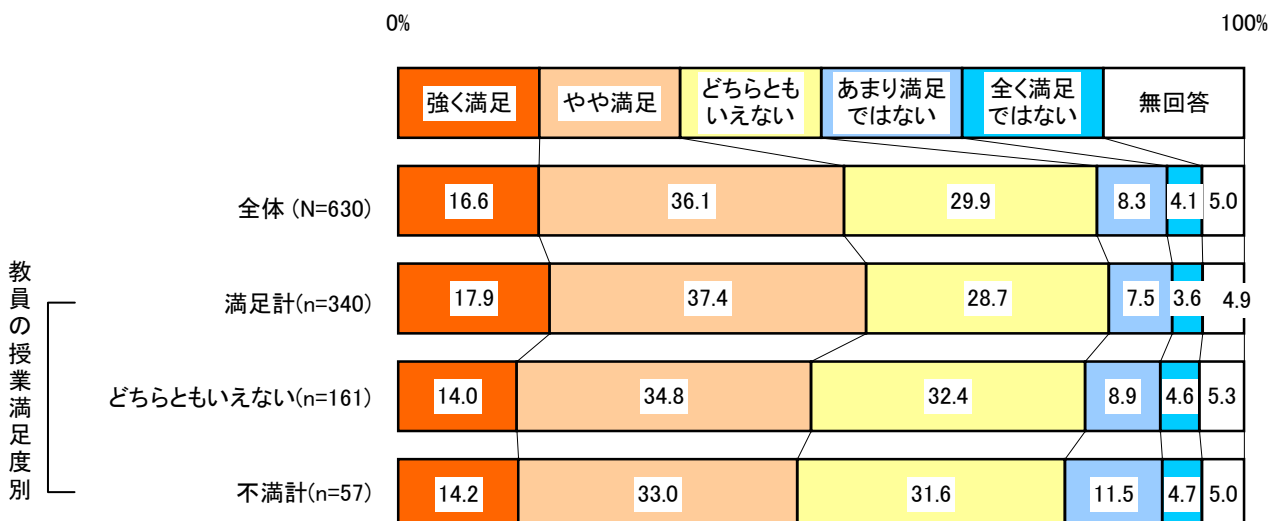
【教員】 (N=581)



[満足計 58.5%]

< 教員の授業満足度別にみた学生の授業満足 >

授業ベース



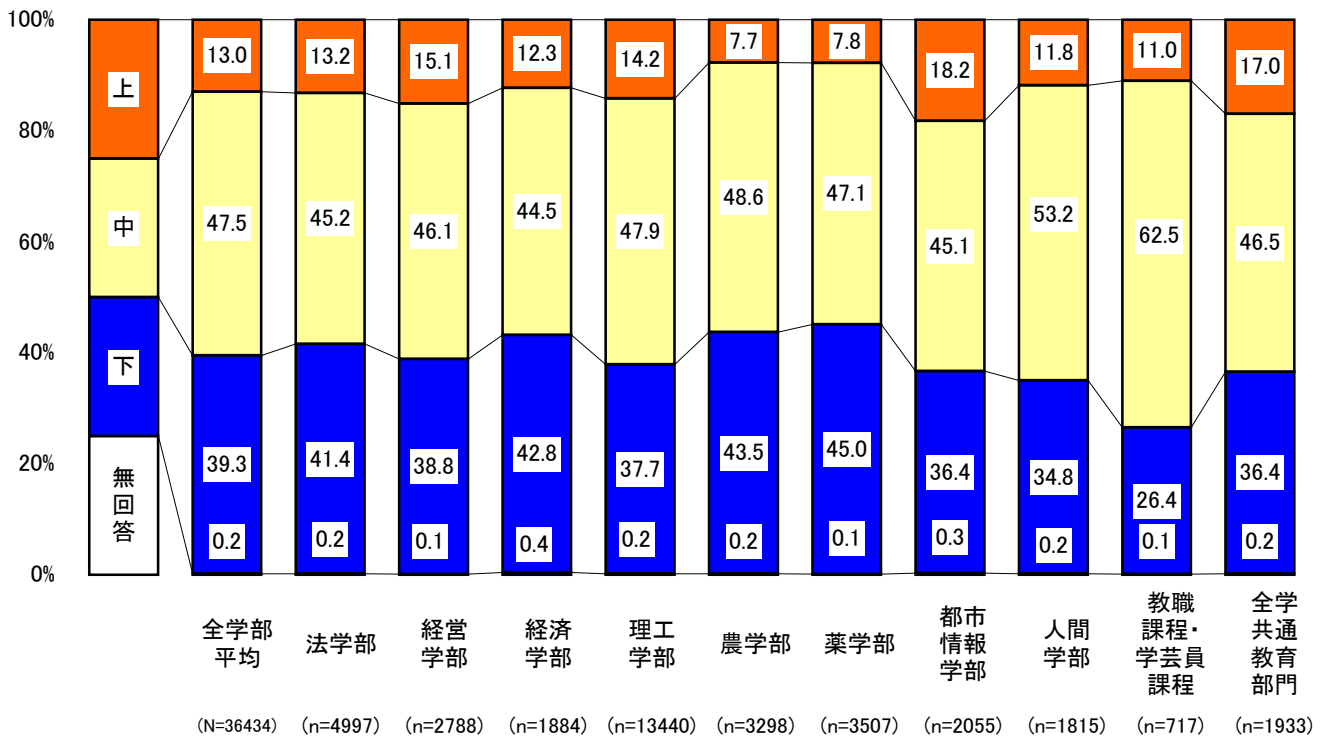
9 学力程度別の授業満足度

[学生]

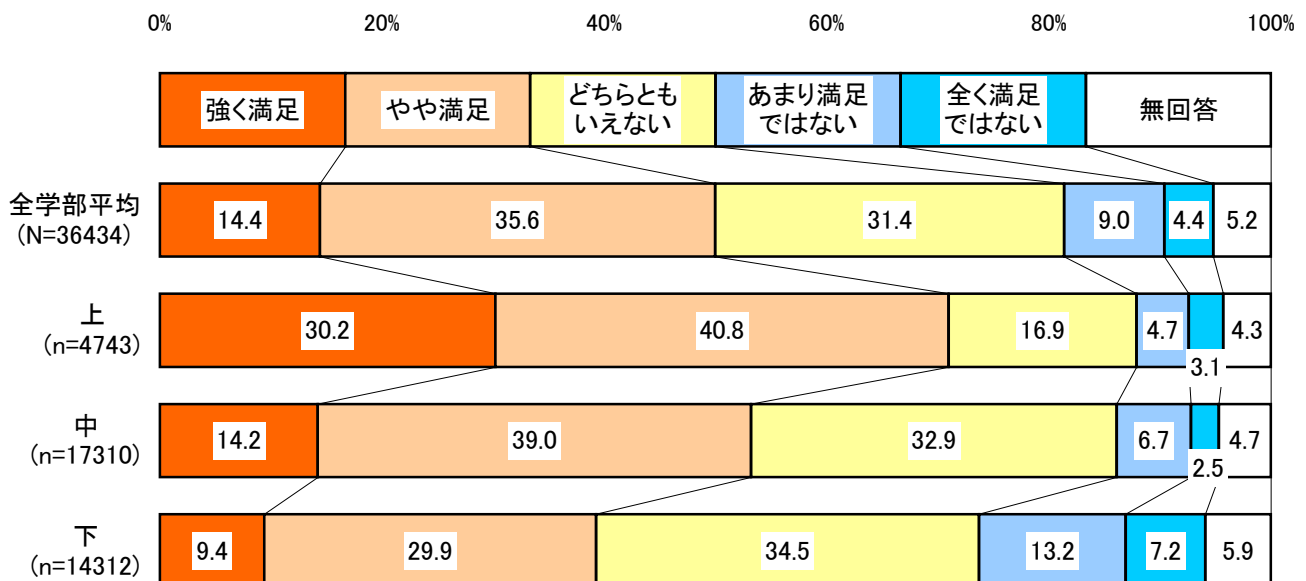
学生の学力の自己評価が授業満足度と関連があるのか調べた。学生の自己評価で学力レベルが「上」の学生ほど満足度は高く、7割以上が授業に満足している。一方、成績が下位の学生は満足度が4割で、授業に不満(「全く」+「あまり満足ではない」)が2割を超える。

学生の学力を聞いた、「学生設問 Q2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。」についての回答をもとに学力を上、中、下に分類した。
各学力レベル別に授業満足度がどの程度変化があるのか確認する。

<学力レベルの分布>



<学力レベル別満足度>

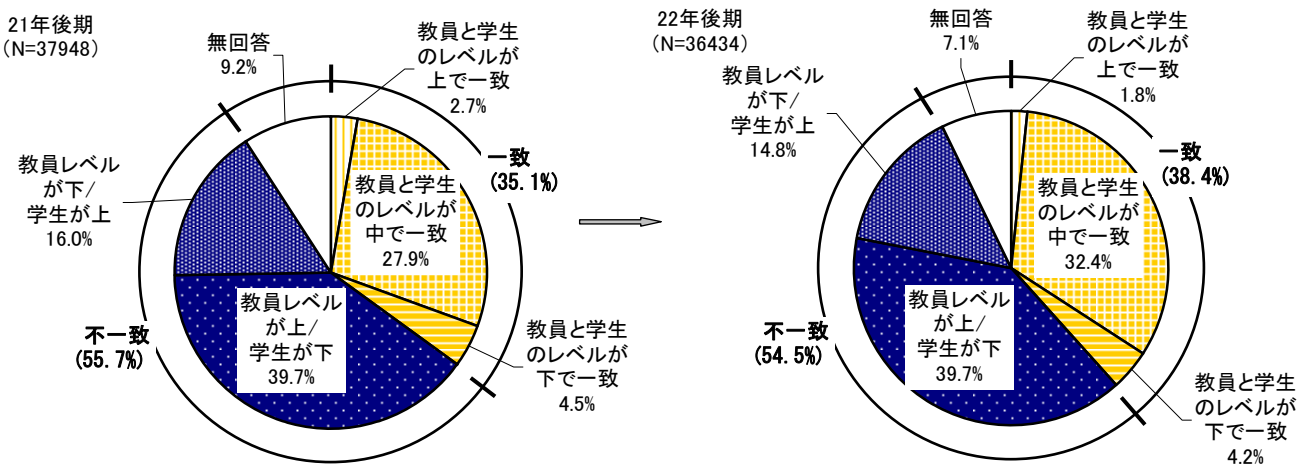


10 教員と学生の対象レベルの一致

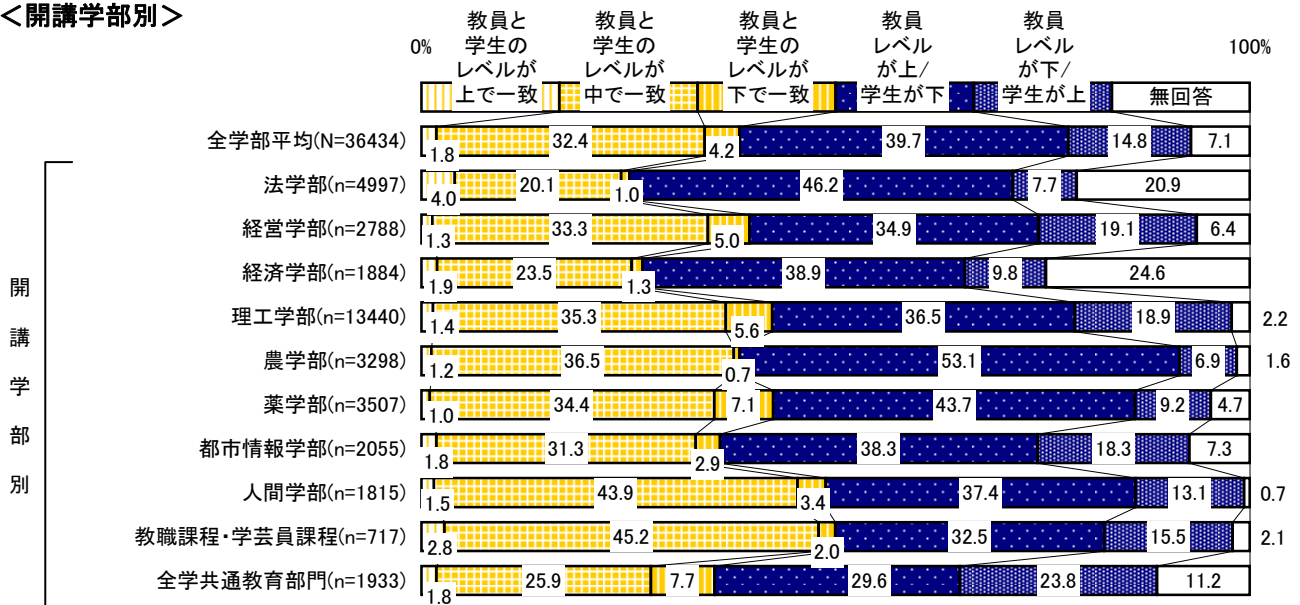
[教員] [学生]

各授業において教員が想定する学生の学力レベルと学生の学力レベル(自己評価)との関連を調べた。教員が想定する学力レベルと学生の自己評価のレベルの一致度は前年からやや上昇し4割弱だが、不一致が半数を超え、教員の想定より学生が低い場合が4割にのぼる。レベルの一致と満足度の関係を見ると、「両者のレベルが上で一致」した場合の満足度が最も高い。

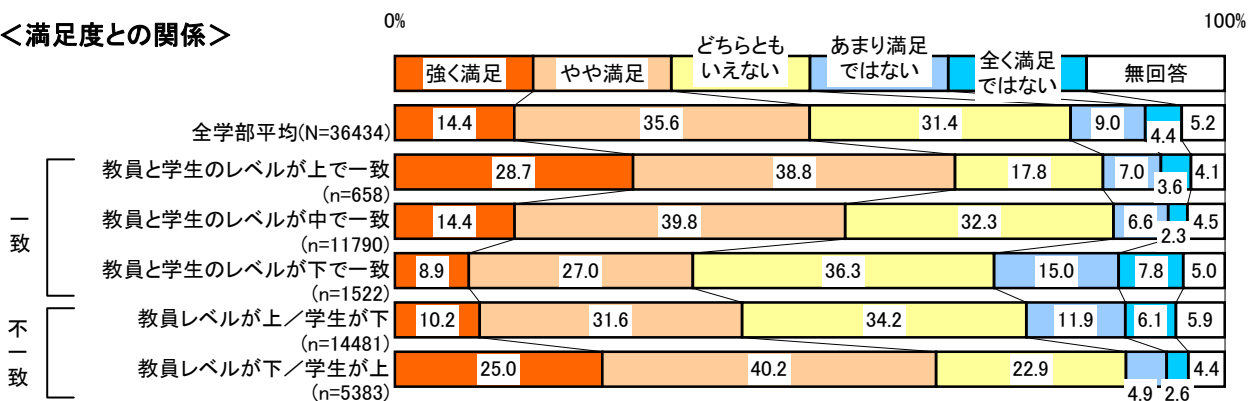
「教員設問 Q2. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。」
 「学生設問 Q2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。」
 について、一致度合いを確認した。



<開講学部別>



<満足度との関係>



11 出席率

[授業]

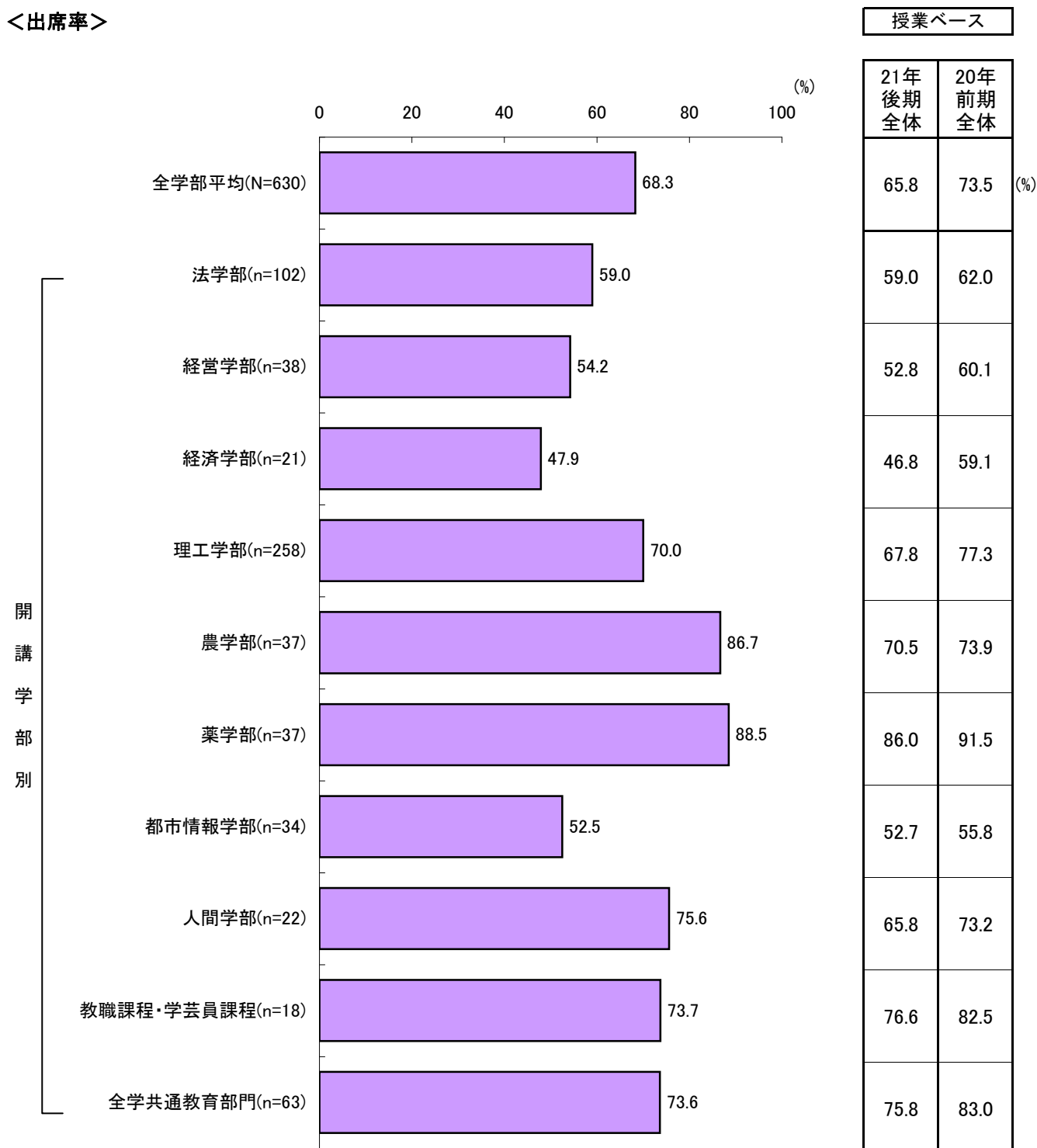
各授業における受講者数(登録学生数)とアンケート回答者数から出席率を算出した。
出席率が高いのは薬学部、農学部で、9割弱になる。

各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに出席率を計算した。
ここで表す出席率とは

$$\text{出席率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

とした。

<出席率>



12 出席学生数と出席学生数別満足度

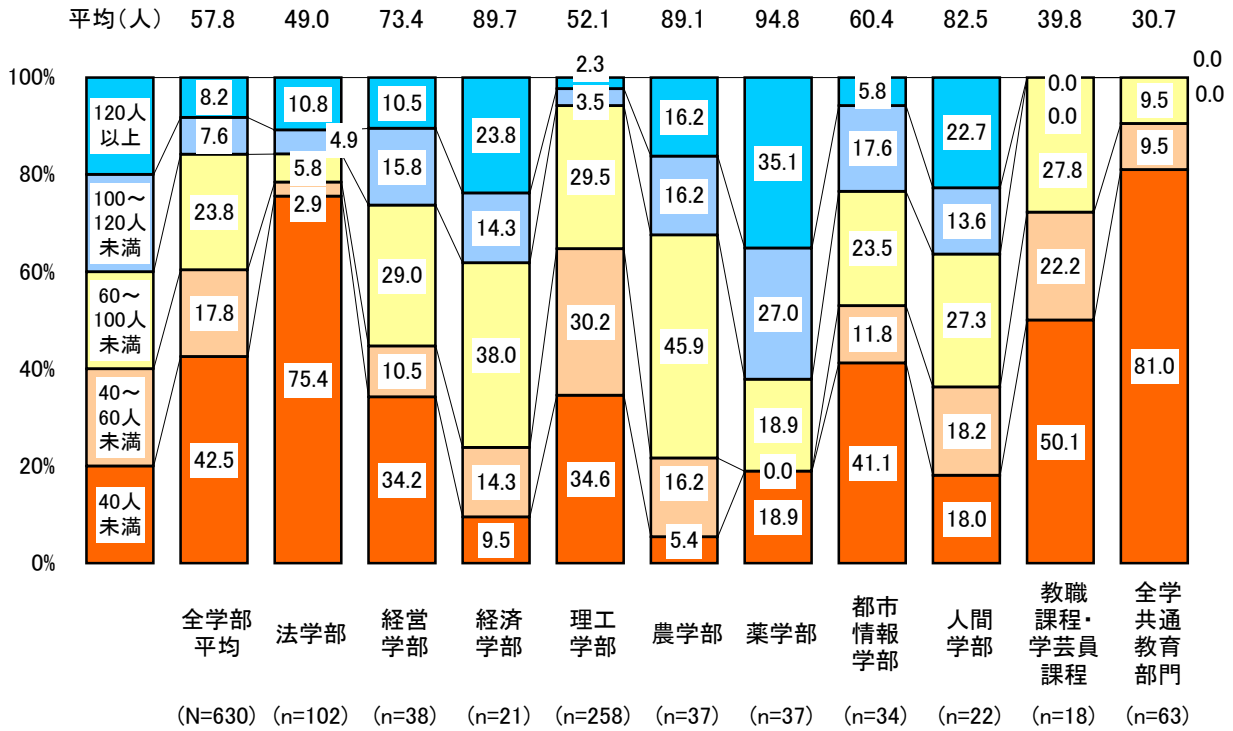
[授業]

各授業別の回答者数を出席学生数と捉え、出席学生数別に授業満足度を確認した。1クラスあたりの出席者が40人未満になると満足度が急に高くなることがわかった。それ以上の出席者の授業では出席者の人数による満足度の変化は小さい。

Q17. この授業は満足のいくものである。

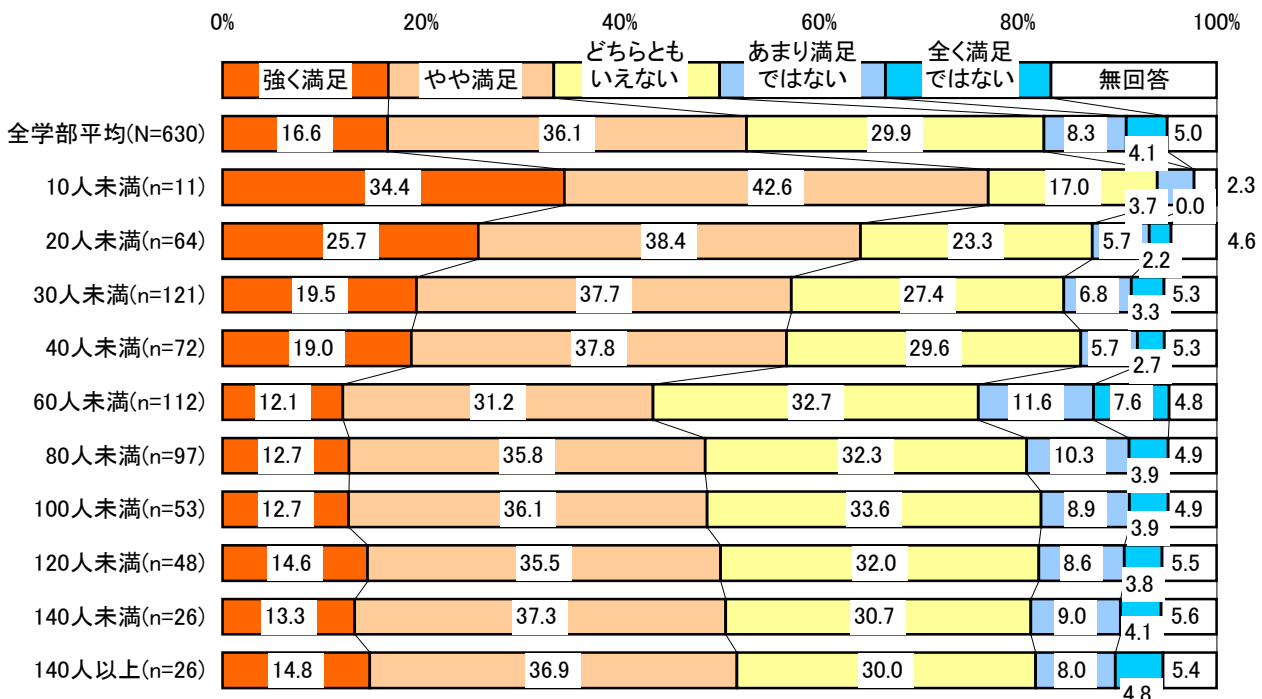
<授業あたりのアンケート回答者数>

授業ベース



<アンケート回答者数(出席学生数)別授業満足度>

授業ベース

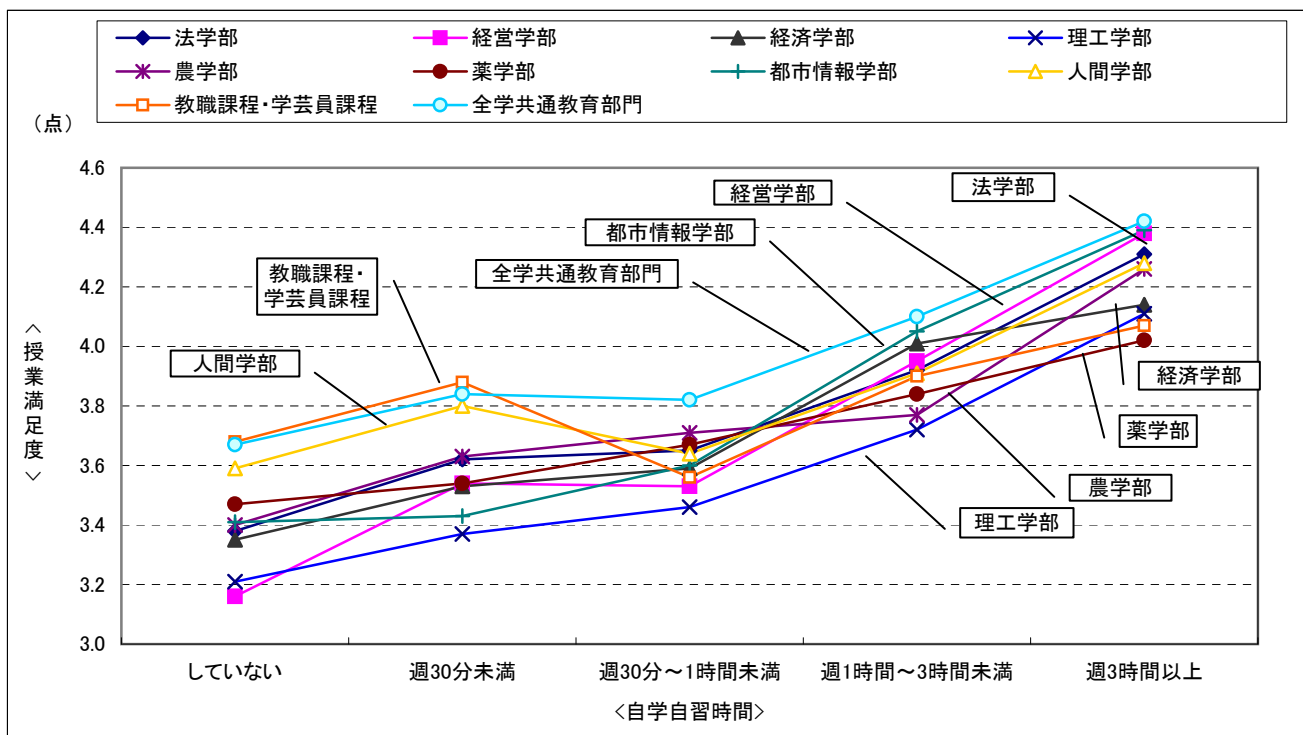
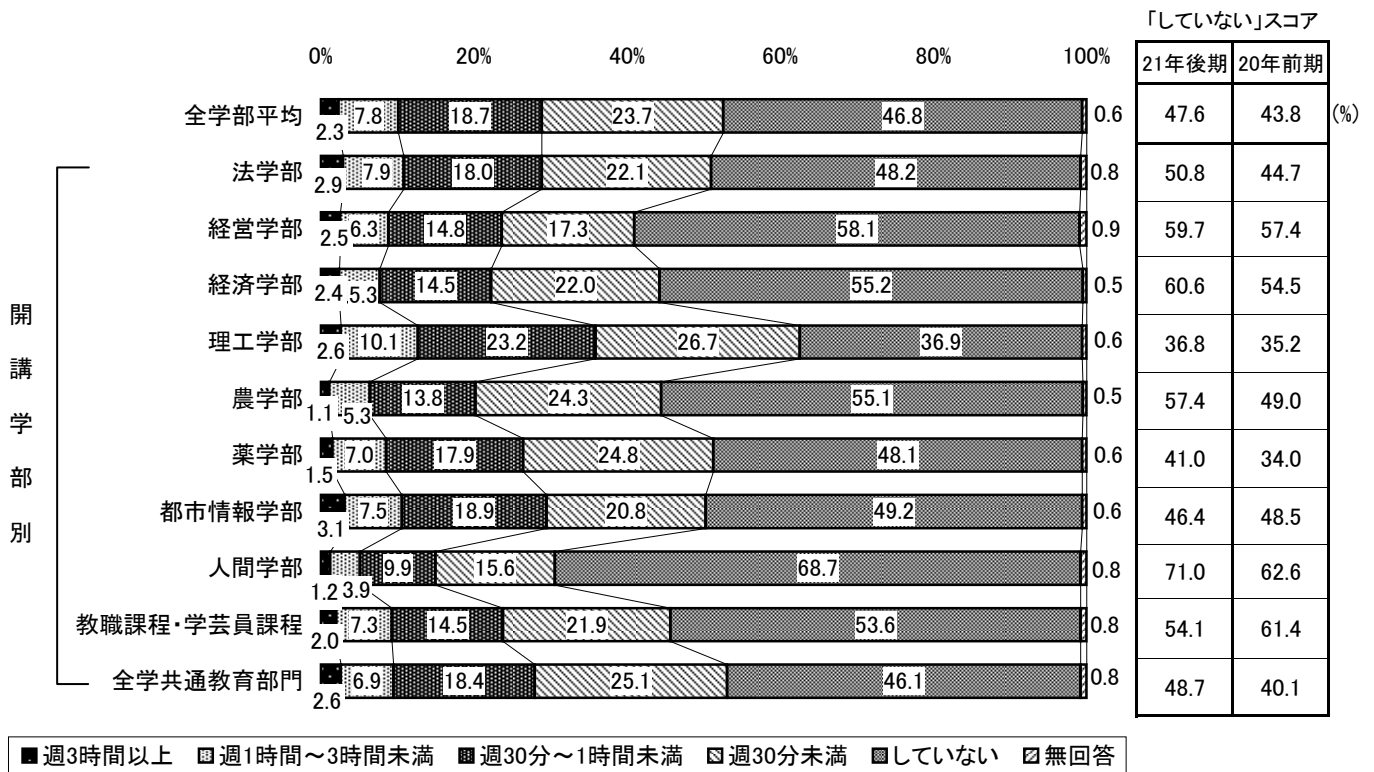


13 自学自習時間と授業満足度の関係（1）

[学生]

自学自習時間と授業満足度との関係を各学部別に確認した。
 自学自習をしていない学生が半数程度を占めるが、理工学部ではその割合が最も低い。自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高い傾向がみられる。

Q3. この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。
 Q17. この授業は満足のものである。



1.3 自学自習時間と授業満足度の関係（2）（授業プロット）[授業]

自学自習時間と授業満足度の関係を分かりやすく表すため各授業を平面上にプロットしてみた。自学自習時間も長く、授業満足度の高い右上の①象限にあることが重要。この象限にある授業数の割合は前年との比較ではわずかながら上昇している。

<授業満足度×自学自習時間>

相関係数

$r=0.16$

22年後期

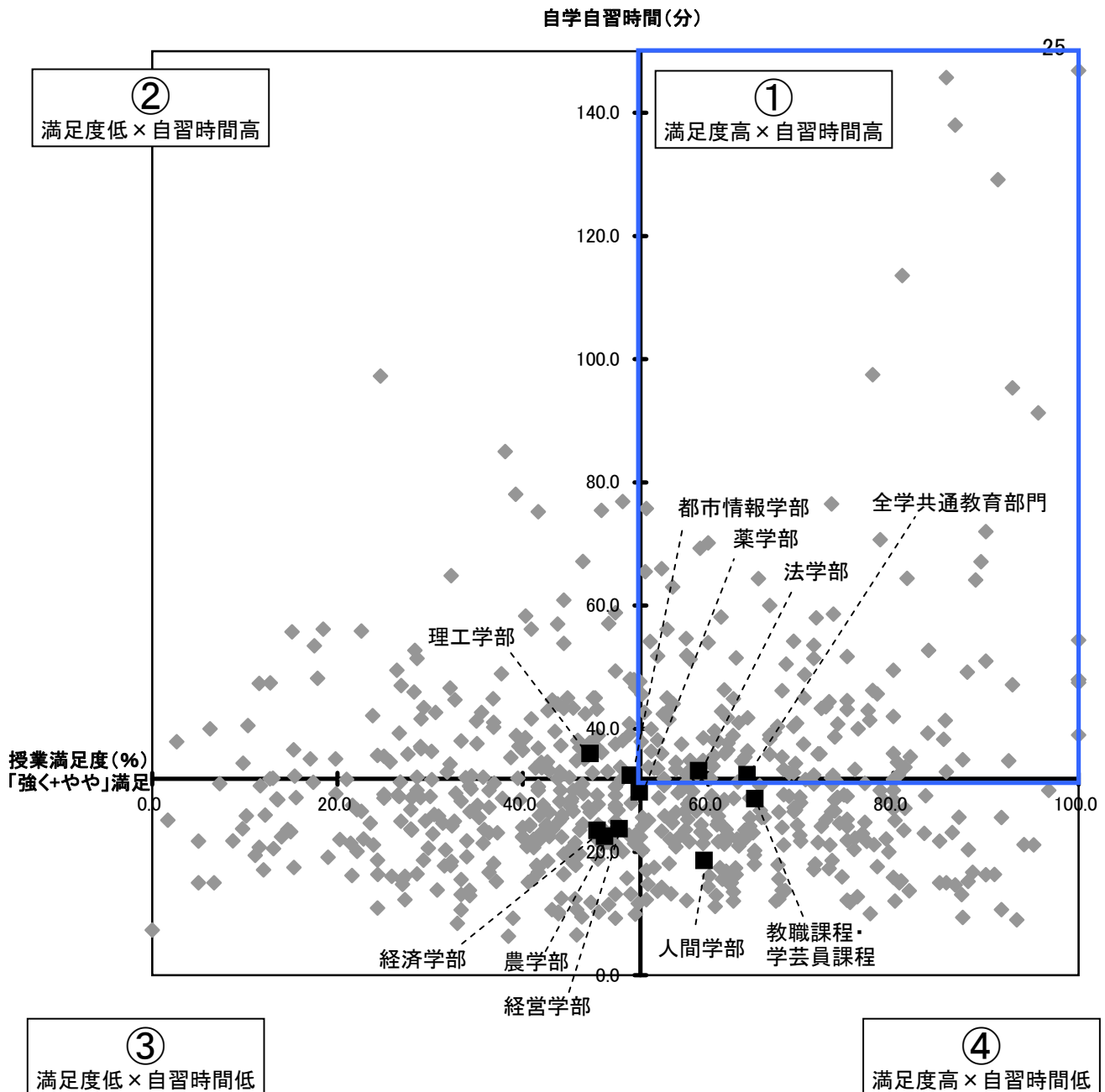
象限	授業数(630授業)	
①	140	22.2
②	117	18.6
③	197	31.3
④	176	27.9%

21年後期

象限	授業数(676授業)	
①	138	20.4
②	110	16.3
③	227	33.6
④	201	29.7%

20年前期

象限	授業数(671授業)	
①	152	22.7
②	110	16.4
③	230	34.3
④	179	26.7%



13 自学自習時間と授業満足度の関係（2）（授業プロット）[授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が最も多かった学部は全学共通教育部門。理工学部、教職課程・学芸員課程は①象限の授業が前年よりも増加した。薬学部は自学自習時間が減少し、①象限が減った。

<授業満足度×自学自習時間>

【全学部平均】

象限	22年後期 (630授業)	21年後期 (676授業)	20年前期 (671授業)
①	22.2	20.4	22.7
②	18.6	16.3	16.4
③	31.3	33.6	34.3
④	27.9	29.7	26.7

【法学部】

象限	22年後期 (102授業)	21年後期 (101授業)	20年前期 (92授業)
①	23.5	23.8	33.7
②	14.7	8.9	6.5
③	23.5	24.8	18.5
④	38.2	42.6	41.3

【薬学部】

象限	22年後期 (37授業)	21年後期 (38授業)	20年前期 (25授業)
①	13.5	31.6	36.0
②	13.5	21.1	24.0
③	35.1	26.3	28.0
④	37.8	21.1	12.0

【経営学部】

象限	22年後期 (38授業)	21年後期 (46授業)	20年前期 (38授業)
①	10.5	10.9	10.5
②	2.6	4.3	0.0
③	57.9	54.3	63.2
④	28.9	30.4	26.3

【都市情報学部】

象限	22年後期 (34授業)	21年後期 (40授業)	20年前期 (29授業)
①	17.6	22.5	6.9
②	17.6	10.0	17.2
③	32.4	37.5	44.8
④	32.4	30.0	31.0

【経済学部】

象限	22年後期 (21授業)	21年後期 (29授業)	20年前期 (30授業)
①	0.0	3.4	3.3
②	14.3	3.4	0.0
③	57.1	62.1	56.7
④	28.6	31.0	40.0

【人間学部】

象限	22年後期 (22授業)	21年後期 (27授業)	20年前期 (30授業)
①	9.1	3.7	16.7
②	4.5	0.0	0.0
③	36.4	37.0	23.3
④	50.0	59.3	60.0

【理工学部】

象限	22年後期 (258授業)	21年後期 (265授業)	20年前期 (273授業)
①	27.5	20.4	22.3
②	29.1	29.4	24.5
③	29.1	32.8	35.9
④	14.3	17.4	17.2

【教職課程・学芸員課程】

象限	22年後期 (18授業)	21年後期 (19授業)	20年前期 (24授業)
①	22.2	15.8	4.2
②	11.1	0.0	12.5
③	11.1	31.6	37.5
④	55.6	52.6	45.8

【農学部】

象限	22年後期 (37授業)	21年後期 (47授業)	20年前期 (43授業)
①	8.1	4.3	4.7
②	2.7	4.3	7.0
③	54.1	42.6	39.5
④	35.1	48.9	48.8

【全学共通教育部門】

象限	22年後期 (63授業)	21年後期 (64授業)	20年前期 (87授業)
①	33.3	42.2	41.4
②	12.7	9.4	23.0
③	15.9	17.2	24.1
④	38.1	31.3	11.5

* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

14 授業に関する良い点（学生の自由回答）

[学生]

Q18. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ ……具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 17459人

順位	分類名	件数	%
①	教員の説明が分かりやすい、テストに出るポイントがわかりやすい	4,803	27.5%
②	板書の文字が読みやすい、板書が分かりやすい、パワーポイントが見やすい、パワーポイントが分かりやすい	3,244	18.6%
③	授業が面白い	2,690	15.4%
④	資料が見やすい、資料が分かりやすい、テキスト・資料を活用している	2,046	11.7%
⑤	学生の反応を見てくれる、理解度を確認しながら進めてくれる	1,971	11.3%
6	声が聞き取りやすい、話し方がよい	1,090	6.2%
7	教員の熱意・やる気・意欲を感じる、教員の人柄・態度がよい	1,001	5.7%
8	課題が出る、テストがある	550	3.2%
9	予習・復習しやすい	198	1.1%
10	考えさせられる、考える力がつく	186	1.1%
11	自ら学びたいと思える	172	1.0%
12	成績評価基準を明確に示している	156	0.9%
13	出席を取らない、テストが持込可である	139	0.8%
14	出席を取る、厳しい	115	0.7%
15	ネイティブの先生だから良い	69	0.4%
16	印象・記憶に残る	66	0.4%
17	シラバスに示された内容を満たしている	63	0.4%
18	真面目に講義を受けている学生を評価してくれる	55	0.3%
19	課題がない、テストがない	37	0.2%
20	充実感・満足感・達成感・感動がある	36	0.2%
21	自由である	29	0.2%
22	メリハリがある	17	0.1%
23	その他	90	0.5%

◆主な意見

【教員の教え方に関する意見】

<教員の説明が分かりやすい、テストに出るポイントがわかりやすい>

- ・“寝ていては授業についていけない”授業の進め方。がんばっている人とあまりがんばっていない人で、差が出やすい授業だと思う。(農学部・応用生物化学科)
- ・1つ1つわかりやすく教えてくれるので、初めて習うことでも理解しやすい。(薬学部・薬学科)
- ・1章ごとに講義を進めてくれるので、混乱が少ない。勉強の方法も教えてくれるので、わかりやすい。(法学部・法学科)
- ・テスト前に確認として復習する時間を設けてくれるので理解度がより一層高まる。(都市情報学部・都市情報学科)

<板書の文字が読みやすい、板書が分かりやすい、パワーポイントが見やすい、パワーポイントが分かりやすい>

- ・パワーポイントを使っての授業だとどうしても全て書けずに終わってしまうことがあるが、この授業では板書を使って要点やスピードが一定でとても理解しやすい。(人間学部・人間学科)
- ・常に板書をノートに書き写すことによって、授業に終始集中して取り組むことができる点が良い。(経済学部・経済学科)
- ・先生は学生の進み具合を見てノートに書くべき事項が書かれた資料を入れかえるので、書き逃したりすることが少ない。(薬学部・薬学科)
- ・要点をスクリーンに映しているので見やすく、内容も具体的で分かりやすい。(経営学部・経営学科)

<授業が面白い>

- ・「大学の授業」という感じがした。おそらく先生によるものだと思うが、大半の生徒はおもしろいと感じているとおもいます。(理工学部・工学系)
- ・VTRや映画といった映像を使う授業の進め方を私は新鮮に感じ、楽しんで授業をうけることができます。(人間学部・人間学科)
- ・自分の経験談を混ぜながら授業を行なっているのはいいと思います。(教職課程・学芸員課程)
- ・雑談っぽいのは面白くて興味がそそられる。(経営学部・経営学科)

<資料が見やすい、資料が分かりやすい、テキスト・資料を活用している>

- ・プリントが穴埋め形式なので、聞いていないと書き込めないという事があり、ちゃんと授業を聞こうという姿勢になります。(法学部・法学科)
- ・プリントにやるべき事がまとめられていて、それだけでなく重要な点は自身で書くなど、そういった点がすごく良いと思いました。書く所もしっかりと時間をくれるので、書きもらす場合がほとんどなくて良いと思いました。(理工学部・情報工学科)
- ・パワーポイントの資料が講義資料サーバにアップされている点が非常によい。(理工学部・電気電子工学科)
- ・テキストに沿って授業を進めてくれるので、どこをやっているか把握しやすい。(薬学部・薬学科)

14 授業に関する良い点（学生の自由回答）

[学生]

Q18. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ ……具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 17459人

順位	分類名	件数	%
①	新しい知識・専門的な知識が得られる、扱っている内容が実社会で役に立つ、将来役に立つ	1,674	9.6%
②	演習問題・課題に取り組む	407	2.3%
③	他の授業との連携がある	77	0.4%
4	基礎が学べる	60	0.3%
5	その他	5	0.0%

【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 17459人

順位	分類名	件数	%
①	私語が少ない、集中できる環境である	1,336	7.7%
2	雰囲気が良い	108	0.6%
③	授業を受ける環境が良い(寒くない・暑くない・照明が明るい)、教室の設備が良い	70	0.4%
4	休憩をはさんでくれる	48	0.3%
5	少人数制である	35	0.2%
6	席が指定されていない	11	0.1%
7	その他	9	0.1%

◆主な意見

【教員の教え方に関する意見】

<学生の反応を見てくれる、理解度を確認しながら進めてくれる>

- ・いきなり、その日の範囲を始めるのではなく、先週の質問・疑問点から話し始めてくれるので、理解がより深まる。(経済学部・経済学科)
- ・レポートを提出したらわかりやすく解説をしてくれたり、間違いを指摘、直してくれた。(薬学部・薬学科)
- ・1回の授業で必ず1度は先生との会話・コミュニケーションがとれること。(全学共通教育部門)
- ・みんなが話し合うからいろいろな違う意見が聞けてタメになることが多々ある。(理工学部・数学科)

【カリキュラムの内容に関する意見】

<新しい知識・専門的な知識が得られる、扱っている内容が実社会で役に立つ、将来役に立つ>

- ・知らなかった分野を開拓してくれることと何故どうしてこうなったのかを常に考えるようになった点。(経営学部・経営学科)
- ・日常での話に例えたことが聞けるので面白い。(農学部・応用生物化学科)
- ・いつも授業の始めに私達学生に対して身近なニュースの記事を持ってきてくれて、あまり新聞を読まない私にとってはすごくありがたいことです。(法学部・法学科)
- ・実技形式で授業を進めているので、学生の興味や、やる気を十分引き立てていると思う。(理工学部・環境創造学科)

<演習問題・課題に取り組む>

- ・練習問題を、毎授業やっているので、初めて習ったことでも、自分で理解を深めることができる。(経済学部・経済学科)
- ・最後に問題を出す等、授業の理解度がなんとなくでも自分で確認できる所は良いと思います。(理工学部・工学系)

<他の授業との連携がある>

- ・今、ゼミで勉強している内容と関連しているので、授業が分かりやすい。(人間学部・人間学科)
- ・高校で学んだことが、いかせたうえで、新しいことや、詳しく学ぶことができる。(農学部・生物資源学科)

【授業を受ける環境に関する意見】

<私語が少ない、集中できる環境である>

- ・周囲が静かにすることで授業に集中できる環境をつくっている。(薬学部・薬学科)
- ・学生証の提示を求めて騒いでいる生徒を閉め出す点は厳粛で感心します。(法学部・法学科)
- ・緊張感のある授業で集中しやすいと思う。(全学共通教育部門)
- ・指定席なので、席が無い心配がない。静かに授業をうけれる。(人間学部・人間学科)

<授業を受ける環境が良い(寒くない・暑くない・照明が明るい)、教室の設備が良い>

- ・教室中央のスクリーンにも写されるので後ろでも理解できる。(理工学部・電気電子工学科)
- ・情報化社会の今にそくして、パソコンのバージョンも新しいのがいい。(全学共通教育部門)
- ・教室のイスの座り心地がいい。(農学部・生物資源学科)

15 授業に関する改善点（学生の自由回答）

[学生]

Q19. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 11474人

順位	分類名	件数	%
①	板書の文字が読みにくい、板書が分かりにくい、パワーポイントが見にくい、パワーポイントが分かりにくい	4,026	35.1%
②	教員の説明が分かりにくい、テストに出るポイントがわかりにくい	2,424	21.1%
③	資料が見にくい、資料が分かりにくい、テキスト・資料を活用していない	1,043	9.1%
④	声が聞き取りにくい、話し方が悪い	989	8.6%
⑤	学生の反応を見てくれない、理解度を確認しながら進めてくれない	945	8.2%
6	授業がつまらない	400	3.5%
7	教員の熱意・やる気・意欲が感じられない、教員の人柄・態度が良くない	327	2.8%
8	課題・テストの実施方法に問題がある	178	1.6%
9	課題が出る(課題が多い)、テストがある(テストが多い)	122	1.1%
10	出席を取る、厳しい、テストが持込不可である	121	1.1%
11	出欠の取り方に問題がある	120	1.0%
12	出席を取らない、出席に対して甘い	102	0.9%
13	成績評価基準が明確ではない	87	0.8%
14	生徒の当て方に問題がある	79	0.7%
15	テキストが高い、テキストが多い	69	0.6%
16	課題が出ない、テストがない	45	0.4%
17	休講・補講が多い、休講を早めに教えて欲しい	43	0.4%
18	真面目に講義を受けている学生を評価してくれない	37	0.3%
19	自ら学ぶ意欲がわからない	30	0.3%
20	予習・復習しづらい	28	0.2%
21	ネイティブの先生なので、日本語での説明が分かりにくい	26	0.2%
22	シラバスに示された内容を満たしていない	22	0.2%
23	メリハリがない	12	0.1%
24	その他	98	0.9%

◆主な意見

【教員の教え方に関する意見】

<板書の文字が読みにくい、板書が分かりにくい、パワーポイントが見にくい、パワーポイントが分かりにくい>

- ・けっこう板書の中に読みづらい文字があるので、そこは直してほしいと思いました。(全学共通教育部門)
- ・黒板を必ず交互に消して欲しいです。書いている途中に消されてしまうとノートの構成が難しいのでお願いします。(法学部・法学科)
- ・スライドが速くて書くので精いっぱい先生の話していることが全く耳に入らない。(人間学部・人間学科)
- ・スライドの字で見えにくい部分がある所。またスライドの文字の色を変え「ここはとても重要」と理解させた方がいいと思う。(理工学部・情報工学科)

<教員の説明が分かりにくい、テストに出るポイントがわかりにくい>

- ・1回の授業の内容が多いので、もう少し重要なポイントをわかりやすく示してほしい。(薬学部・薬学科)
- ・いきなり教科書、ノートのページがとんだり戻ったりするので、ちょっと大変だし分かりづらい。(経営学部・経営学科)
- ・もっとくわしい実例をあげて授業をするほうが良いと思っています。ただ、理論だけを勉強するのは理解しにくいです。(経営学部・経営学科)
- ・1回分のプリントがほぼ毎回少し残っているのもう少し内容を減らしたり、話を短くしたりしてきっちり終わるようにしてほしい。(都市情報学部・都市情報学科)

<資料が見にくい、資料が分かりにくい、テキスト・資料を活用していない>

- ・()が文字数に対して小さかったり、文字が小さくて見えづらいことがあるので、少し改善して欲しいです。(薬学部・薬学科)
- ・授業に使うプリントを、出来るだけ授業日前までにアップロードしてもらえると嬉しいです。(理工学部・情報工学科)
- ・Power Pointで作成した講義資料を学生に配布すれば良いと思う。(理工学部・機械システム工学科)
- ・教科書に添った授業をし、やっている内容を理解できるようにしてほしい。(法学部・法学科)

<声が聞き取りにくい、話し方が悪い>

- ・しゃべりが単調で早口なため聞き取りにくく理解し難い時がある。(経済学部・経済学科)
- ・声が後ろまではっきり聞こえないので、マイクの音量を上げた方が良くと思います。(人間学部・人間学科)
- ・先生の言葉が早口なので何を言っているのかわからないときがある。(経営学部・経営学科)
- ・重要な所での先生の声は聞き取りやすいが、その他の話しの声は小さくて聞き取りづらい。重要でなくても話は聞きたいのもう少し。(法学部・法学科)

15 授業に関する改善点（学生の自由回答）

[学生]

Q19. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ ……具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 11474人

順位	分類名	件数	%
①	演習問題・課題に取り組まない	184	1.6%
②	新しい知識・専門的な知識が得られない、扱っている内容が実社会で役立たない、将来役立たない	98	0.9%
③	基礎が学べない	34	0.3%
4	他の授業との連携がない	14	0.1%
5	その他	34	0.3%

【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 11474人

順位	分類名	件数	%
①	私語が多い、集中できない環境である	923	8.0%
②	授業を受ける環境が良くない(寒い・暑い、照明が暗い)、教室の設備が良くない	412	3.6%
3	時間割が良くない	64	0.6%
4	席が指定されている	45	0.4%
5	受講生が多すぎる	40	0.3%
5	休憩をはさんでくれない、トイレに行かせてくれない	40	0.3%
7	学生に熱意・やる気・意欲(学ぶ姿勢)がない	24	0.2%
8	雰囲気良くない	20	0.2%
9	学力に合っていない(学力別授業ではない)	17	0.1%
10	その他	25	0.2%

◆主な意見

【教員の教え方に関する意見】

＜学生の反応を見てくれない、理解度を確認しながら進めてくれない＞

- ・1回つまづくとその先もわからなくなるところ。(農学部・生物環境科学科)
- ・それぞれの問題に対しての解答を次回のプリント等に明記してほしい。(理工学部・材料機能工学科)
- ・たまに授業の進むスピードが速いときがあります。学生たちのペンの進み具合を見て授業を進めてほしいです。(法学部・法学科)
- ・学生とのコミュニケーションがあった方がいいと思います。(理工学部・工学系)

【カリキュラムの内容に関する意見】

＜演習問題・課題に取り組まない＞

- ・できれば、もう少し演習問題を増やしてもらって、理解を深めたい。(理工学部・情報工学科)
- ・もう少し例題などをふやして、基礎的なものを定着できるようにしてもらえると嬉しいです。(理工学部・工学系)

＜新しい知識・専門的な知識が得られない、扱っている内容が実社会で役立たない、将来役立たない＞

- ・現代風の学生に合わせる誠実さは非常に評価できるが学問的専門的表現を使って水準を高めてみるのも良いと思う。(法学部・法学科)
- ・実際、やる事(学ぶこと)が多すぎて、何が大切なのかよく分からない。将来、今学んでいることが、どのような役に立つのか分からない。(薬学部・薬学科)

＜基礎が学べない＞

- ・演習問題への発展が早くて、理解がおいつかないので、頭に基礎的部分が残らないから、もう少し基礎的なことを時間をとって学びたい。(理工学部・材料機能工学科)
- ・専門基礎科目を増やしてほしい！！取れる教科が少なすぎる！！(都市情報学部・都市情報学科)

【授業を受ける環境に関する意見】

＜私語が多い、集中できない環境である＞

- ・うるさすぎるので、もう少し学生に厳しくしてほしいです。もしくは、話す人はどんどん外に出していいと思います。(理工学部・数学科)
- ・途中退席をなくして欲しい。(人間学部・人間学科)

＜授業を受ける環境が良くない(寒い・暑い、照明が暗い)、教室の設備が良くない＞

- ・スライドを出しているときに、黒板に書かれた文字が暗くて見づらいです。(農学部・応用生物化学科)
- ・人数のわりに教室が狭くて、空気がすごく悪いと思います。もっと広い部屋が良いと思います。(人間学部・人間学科)

16 アンケート結果を受けて改善していきたい点（教員の自由回答）〔教員〕

アンケートに回答した学生への返答の機会として、本アンケート結果に対するコメントをいただきました。

○ ……具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

アンケート結果に対してコメントをいただいた教員数 286人

順位	分類名	件数	%
①	学問への興味・関心が引き起こされている／引き起こしたい 興味がわくように工夫した進め方をしている／工夫した進め方をしたい	124	43.4%
②	大切なポイントを示している・わかりやすい説明をしている／示したい・説明をしたい 学生の理解度を確認しながら進めている／確認しながら進めたい	122	42.7%
③	自分で調べ考える姿勢が得られている／得られるようにしたい 自学自習することを勧めている(させている)／自学自習することを勧めたい(させたい)	84	29.4%
④	学生側の問題である／学生も熱意・意欲(学ぶ姿勢)を持って取り組んでほしい	53	18.5%
5	板書や資料等の文字は読みやすい・わかりやすい／読みやすくしたい・わかりやすくしたい	41	14.3%
6	私語に対してきちんと対応している／きちんと対応したい	34	11.9%
7	新しいことを教えている／教えたい 将来に役立つことを教えている／教えたい	17	5.9%
7	明瞭で聞き取りやすい話し方をしている／話し方をしたい	17	5.9%
9	熱意をもって取り組んでいる／取り組みたい	12	4.2%
10	学生のレベルに合わせている／合わせたい	8	2.8%
11	改善していきたい(具体的な改善項目なし)	42	14.7%
12	その他の改善項目	40	14.0%
⑬	アンケートに関する意見	22	7.7%

◆主な意見

<学問への興味・関心を引き起こしたい、興味がわくように工夫した進め方をしたい>

- ・学生の興味を喚起し続ける工夫がもっと必要だと、私自身が一番感じていたことです。クラスのルーティンワークに慣れてくると、どうしても気のゆるみが生じやすくなります。なかなか余裕がつかれず、シラバスをこなすことに終始してしまったので、定期的に何か変化を加えていければよかったです。(農学部)
- ・アンケート結果をふまえ、今後も授業の改善に努めたいと思います。特に、点数の低かった項目について、改善策を考えます。この科目は必修科目なので、もともと科目内容に興味のない履修者も多くいます。そのような履修者にどうしたら関心をもってもらうことができるか、そのための工夫が必要だと思いました。(人間学部)

<大切なポイントを示したい・説明をしたい、学生の理解度を確認しながら進めたい>

- ・本授業科目においては、習得すべき知識が多いため、なるべく簡潔に内容をまとめることとし、基礎および応用に関する理解を深めることに努力する。(理工学部)
- ・授業の内容を理解いただいたコメントを多く頂き、良かったと思います。その反面、進行が早いと感じる方からもたくさんのコメントを頂きました。講義の内容が盛りだくさんなのですが、削ることなく進行を工夫して改善したいと思います。(経営学部)

<自分で調べ考える姿勢が得られるようにしたい、自学自習することを勧めたい(させたい)>

- ・授業内の学習だけでは、絶対的に学習時間が足りないの、なかなか実際の英語力のアップにはつながっていない。授業内の学習をいかに授業外での自己学習につなげ、自立学習者として学生を育てていくかが鍵だと思います。アンケートから学生は授業を楽しんで受けていることはよくわかるが、もう少し授業外での学習の動機付けを工夫する必要があるようである。(大学教育開発センター)
- ・授業時間内に実施するレポート課題について、事前にアナウンスするなど、自宅学習が成績に反映されるよう、運営に工夫をしているが、アンケートの「この科目の自宅自習時間(%)」の項目によれば、週に30分未満あるいは勉強していないと回答した学生が、全体の5割存在する結果となった。今後、こうした学生に対して、講義の理解に自宅学習が必須であり、予備知識をもって講義に臨むよう、周知を徹底したい。(理工学部)

<学生側の問題である／学生も熱意・意欲(学ぶ姿勢)を持って取り組んでほしい>

- ・授業でわからないことをそのままにしておけば、当然のことながら、翌週からの授業内容もわからないままに進みます。その週に学んでわからないところは授業後に質問してその場で解決してほしいと思います。(経済学部)
- ・計算力を身につけるためには、やはりある程度の練習は必要なので、宿題が多いと考えている人もしっかり課題をこなし、勉強してください。(理工学部)

<アンケートに関する意見>

- ・自分の授業の内容を振り返るのに大変有用だと思います。今回のアンケート調査をもとに一部教授方法を変更したいと考えております。ただ今回の調査が講義の途中であり、授業構成を14回で考えていることもあり、出来れば最終講義にアンケート調査を行って欲しいと思います。(薬学部)
- ・どんな学生が、どんな姿勢で、アンケートに答えているかは一様ではないと思えます。その点で設問に疑問がありますが、結果は参考にします(言うまでもありませんが、妥当であると思われる内容について)。(経営学部)

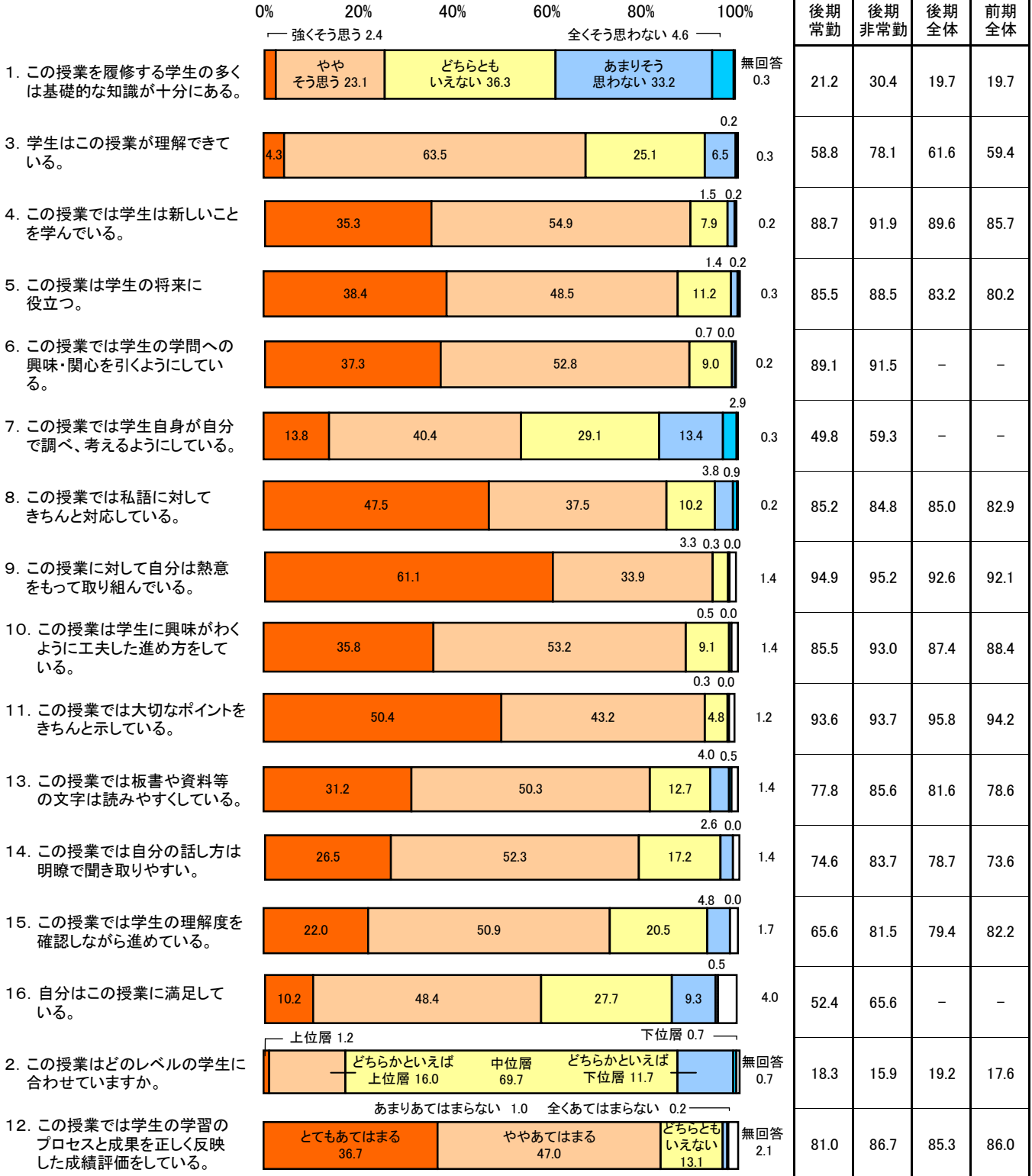
17 教員の自己評価の時系列比較

[教員]

9割以上の教員が、「発見学習」、「興味喚起」、「ポイント」の提示といった授業改善項目を意識し、「意欲熱意」を持って授業に取り組んでいる。

【全学部平均】

(N=581)



※数表は各設問上位2選択肢の合計(%)

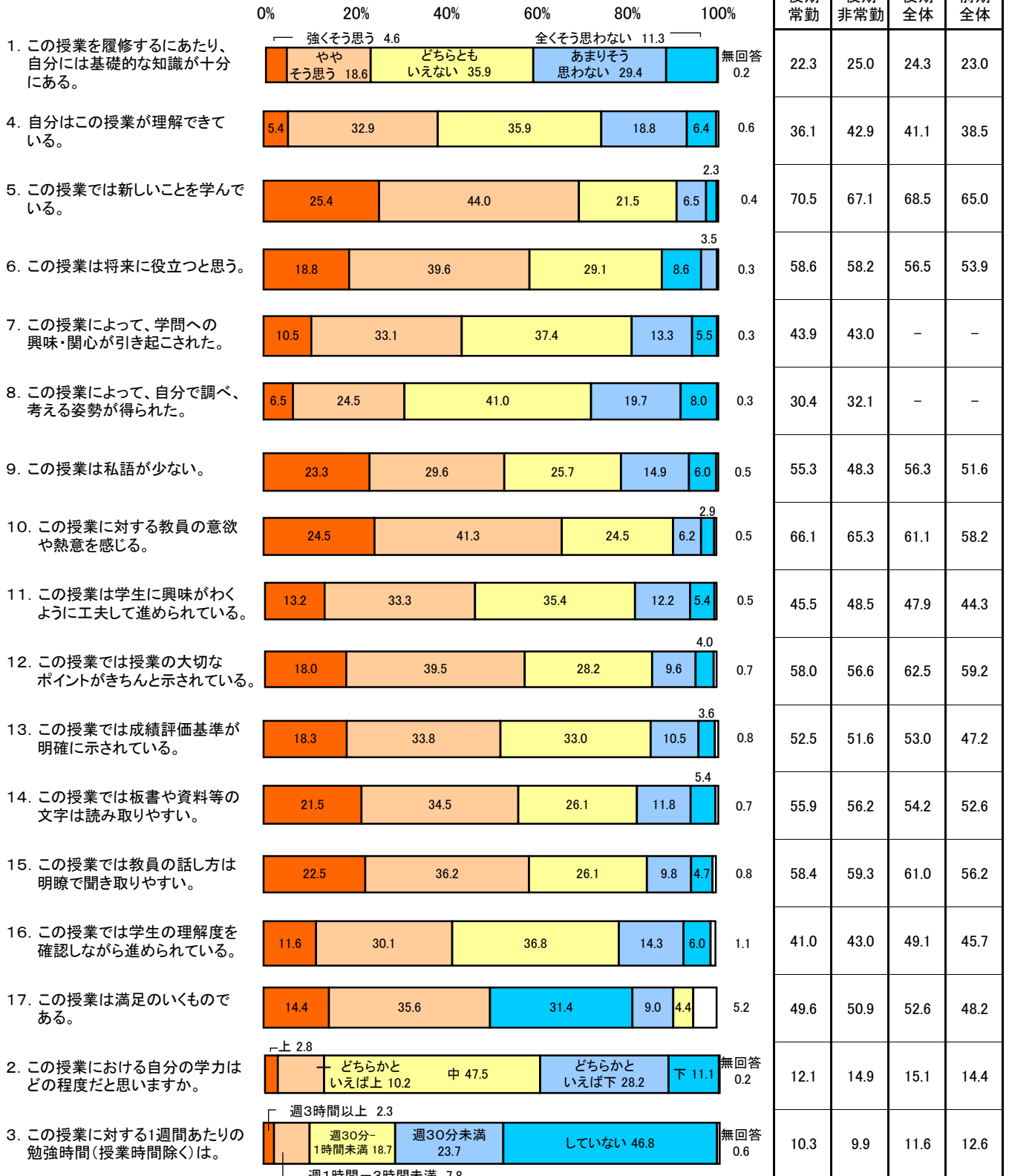
18 学生評価の時系列比較

[学生]

半数程度の学生は、教員が多くの項目において授業改善に努めていること、熱意を持って授業を進めていることを評価している。

【全学部平均】

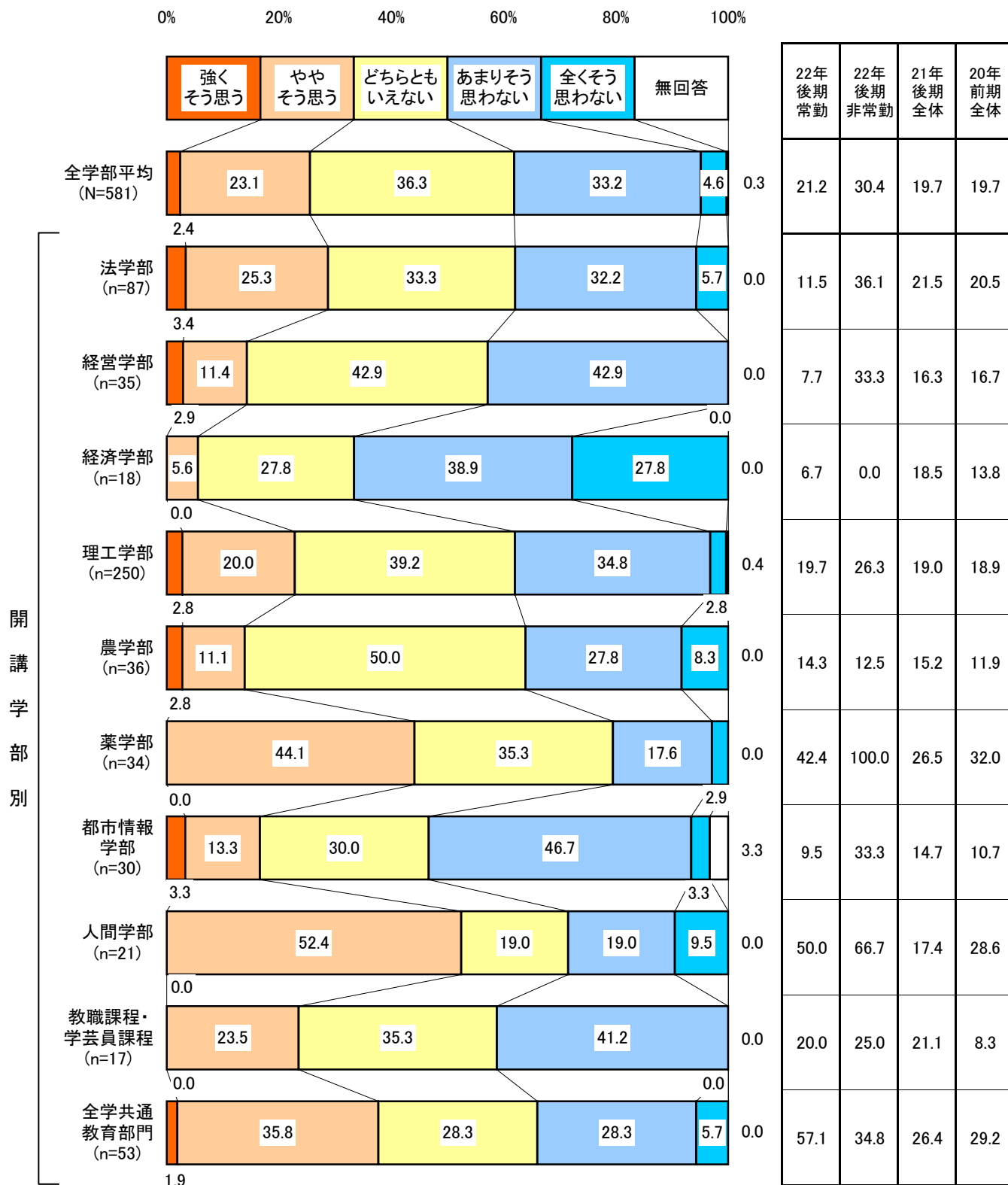
(N=36434)



※数表は各設問上位2選択肢の合計(%)

学生の基礎知識が不十分だと感じている教員は4割弱で、経済学部、都市情報学部ではその傾向が顕著に見られる。

Q1. この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にある。



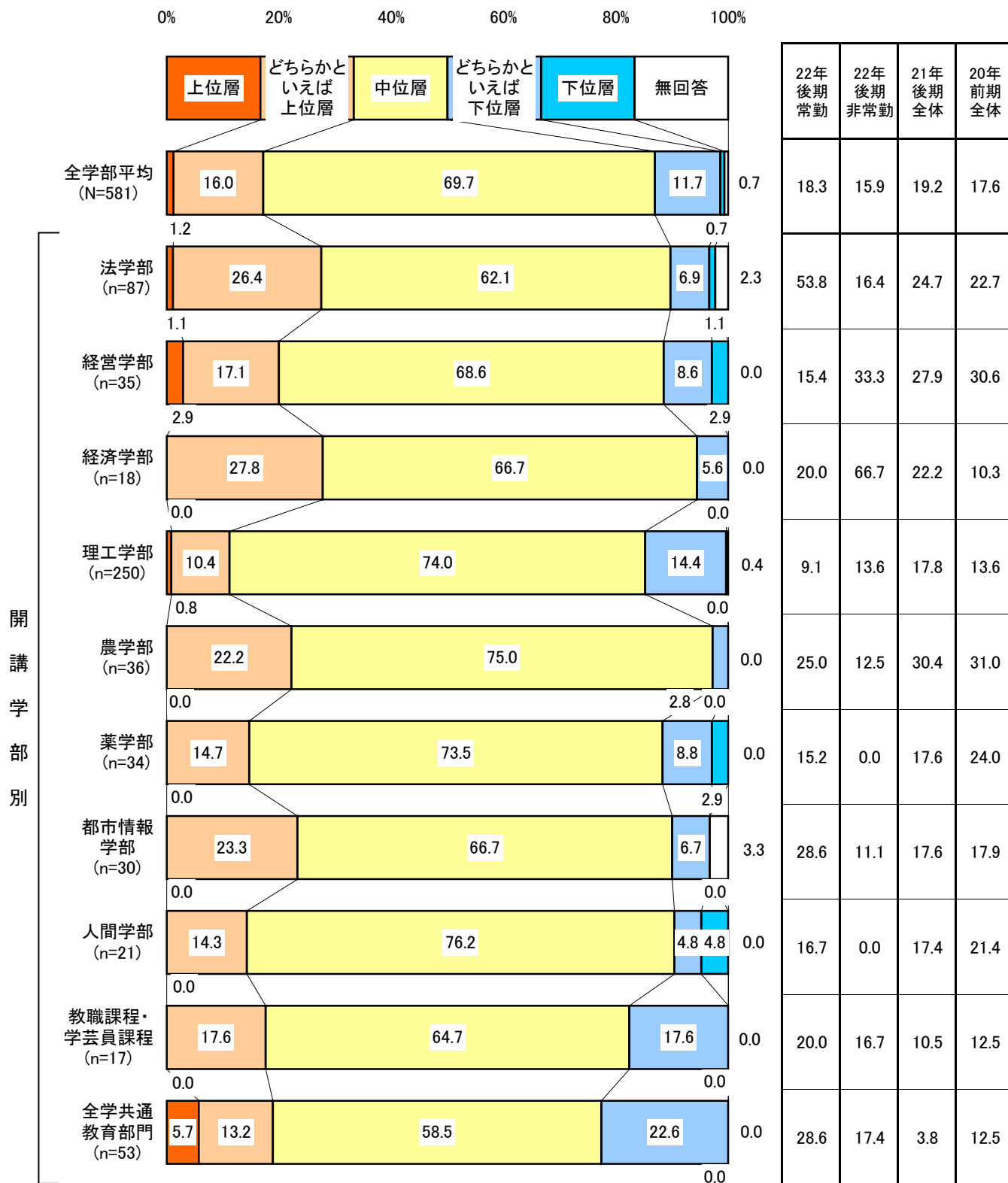
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 学力程度

[教員]

全学部等において過半数の教員が、学力レベルが中位の学生に合わせた授業を展開している。

Q2. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。



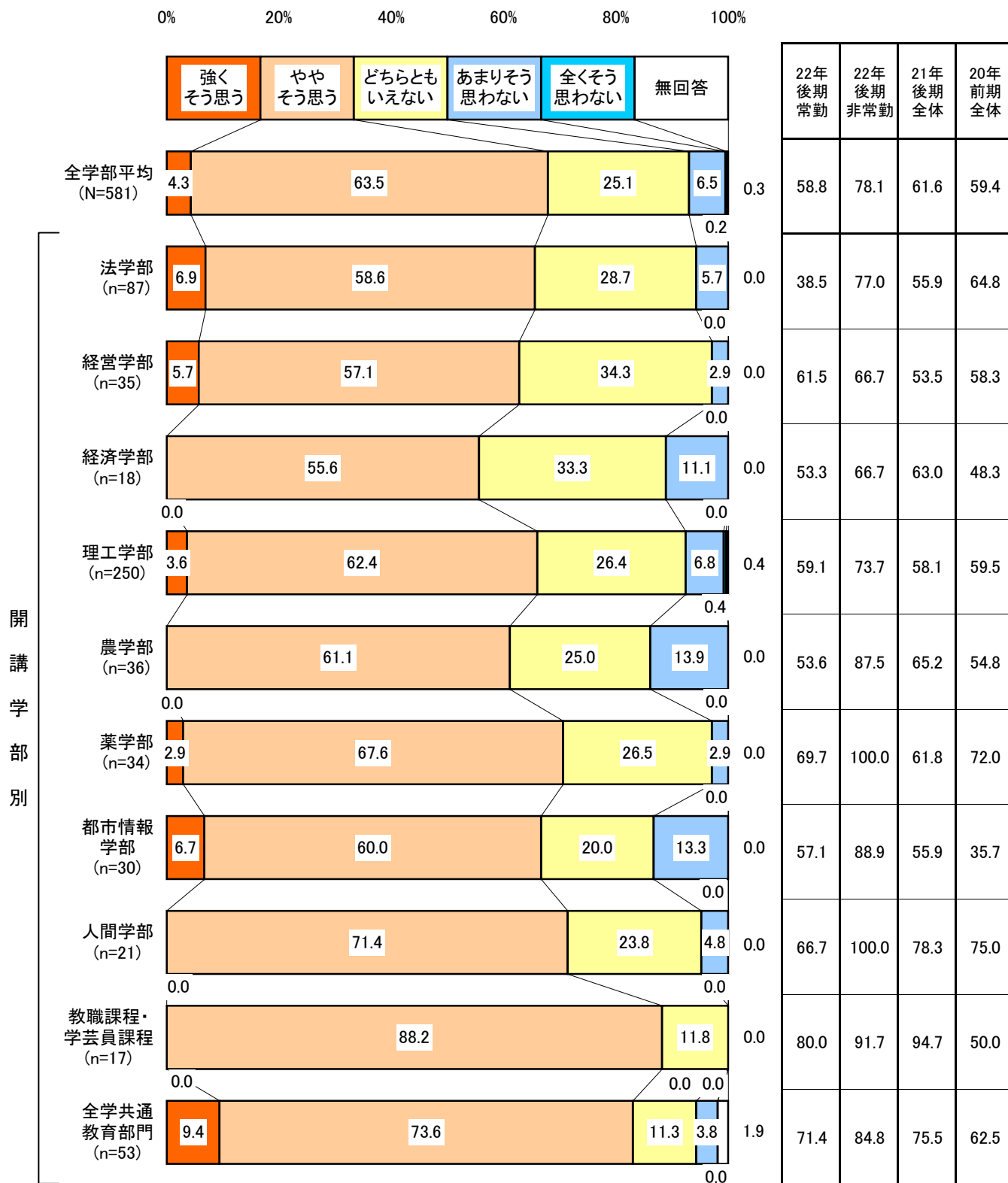
※数表は「上位層」+「どちらかといえば上位層」(%)

19 基礎データ教員用設問 理解度

[教員]

学生の理解度に十分満足している教員は少数で、「強くそう思う」割合が最も高い全学共通教育部門でも1割程度にとどまる。

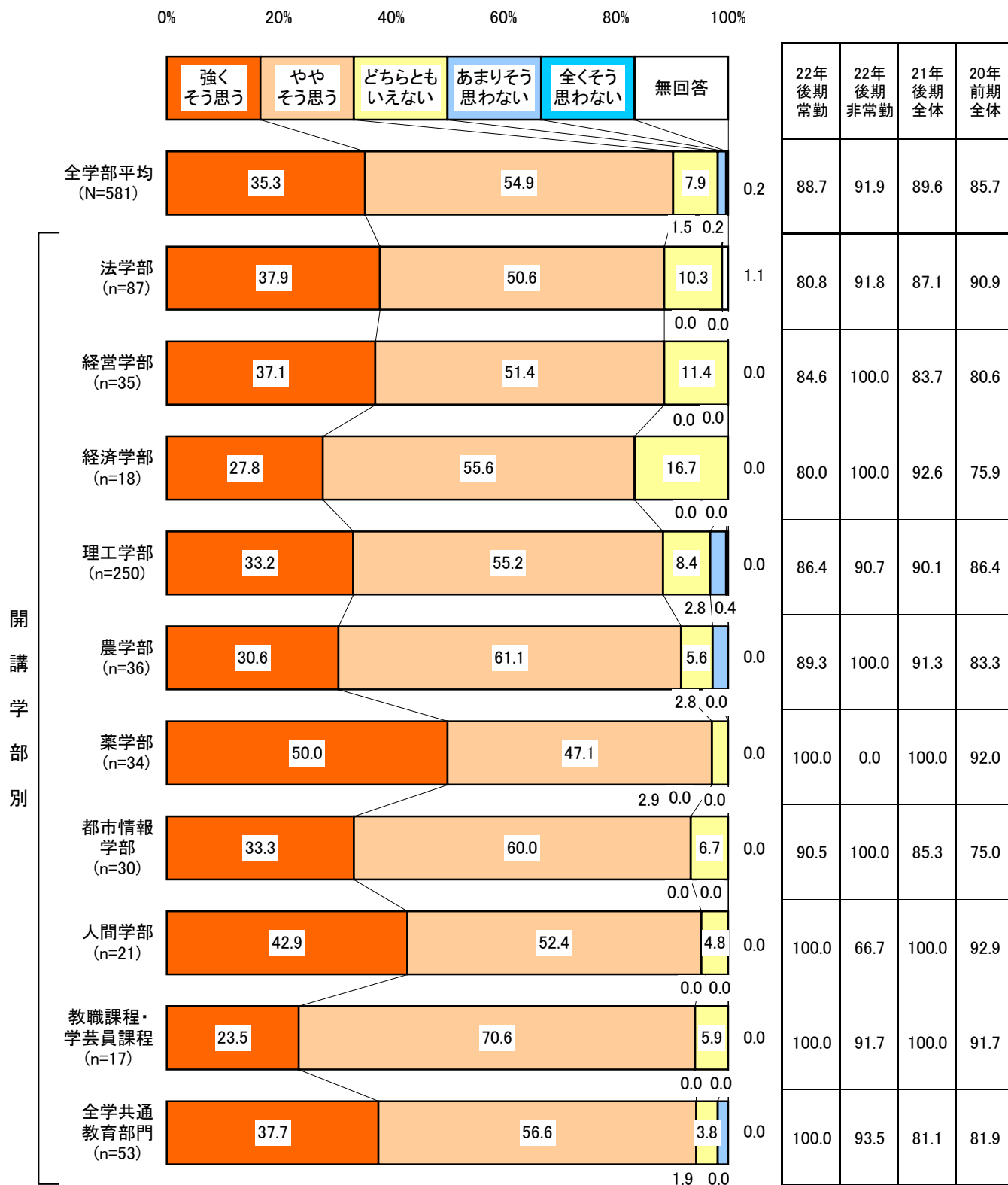
Q3. 学生はこの授業が理解できている。



※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

9割の教員が、学生にとって新しい内容を教えることができていると考えている。中でも薬学部では「強くそう思う」が半数を占め、人間学部でも4割を超える。

Q4. この授業では学生は新しいことを学んでいる。



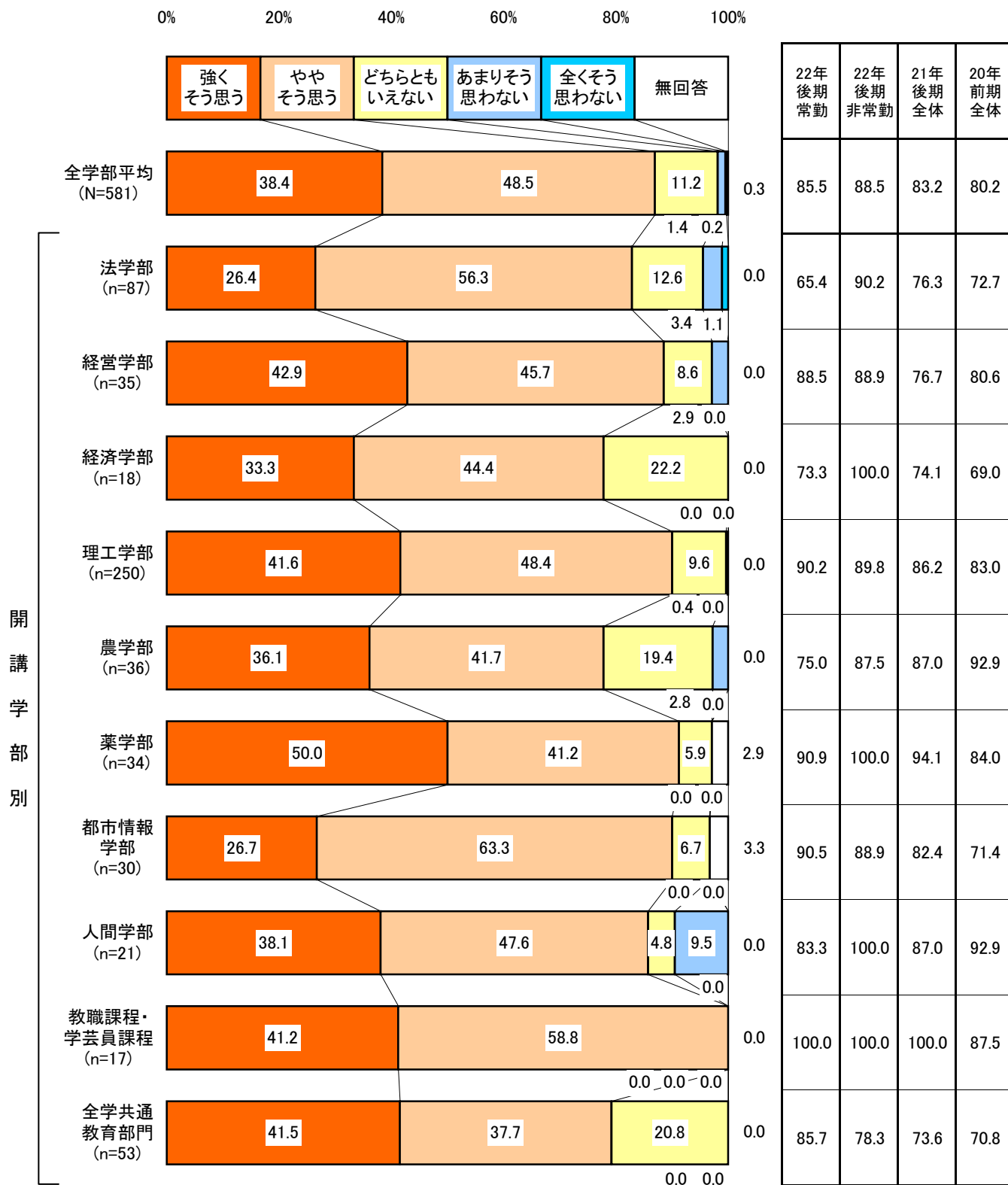
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 将来役立

[教員]

授業が学生の将来に役立つと考えている教員は9割弱であった。

Q5. この授業は学生の将来に役立つ。



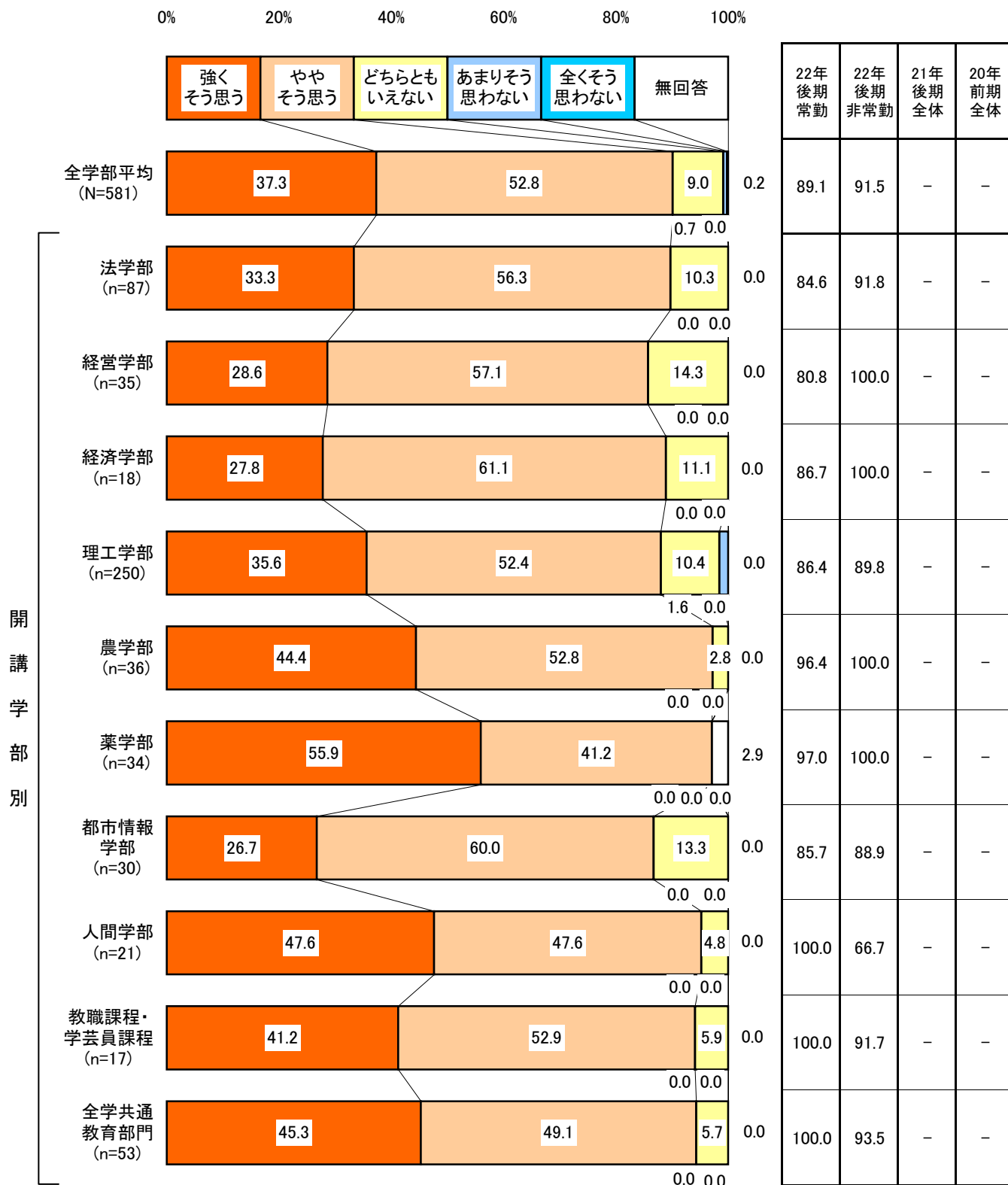
※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 興味喚起

[教員]

学生の学問への興味・関心を引くような授業をしていると考えている教員は9割にのぼる。特に薬学部では「強くそう思う」が半数以上を占める。

Q6. この授業では学生の学問への興味・関心を引くようにしている。



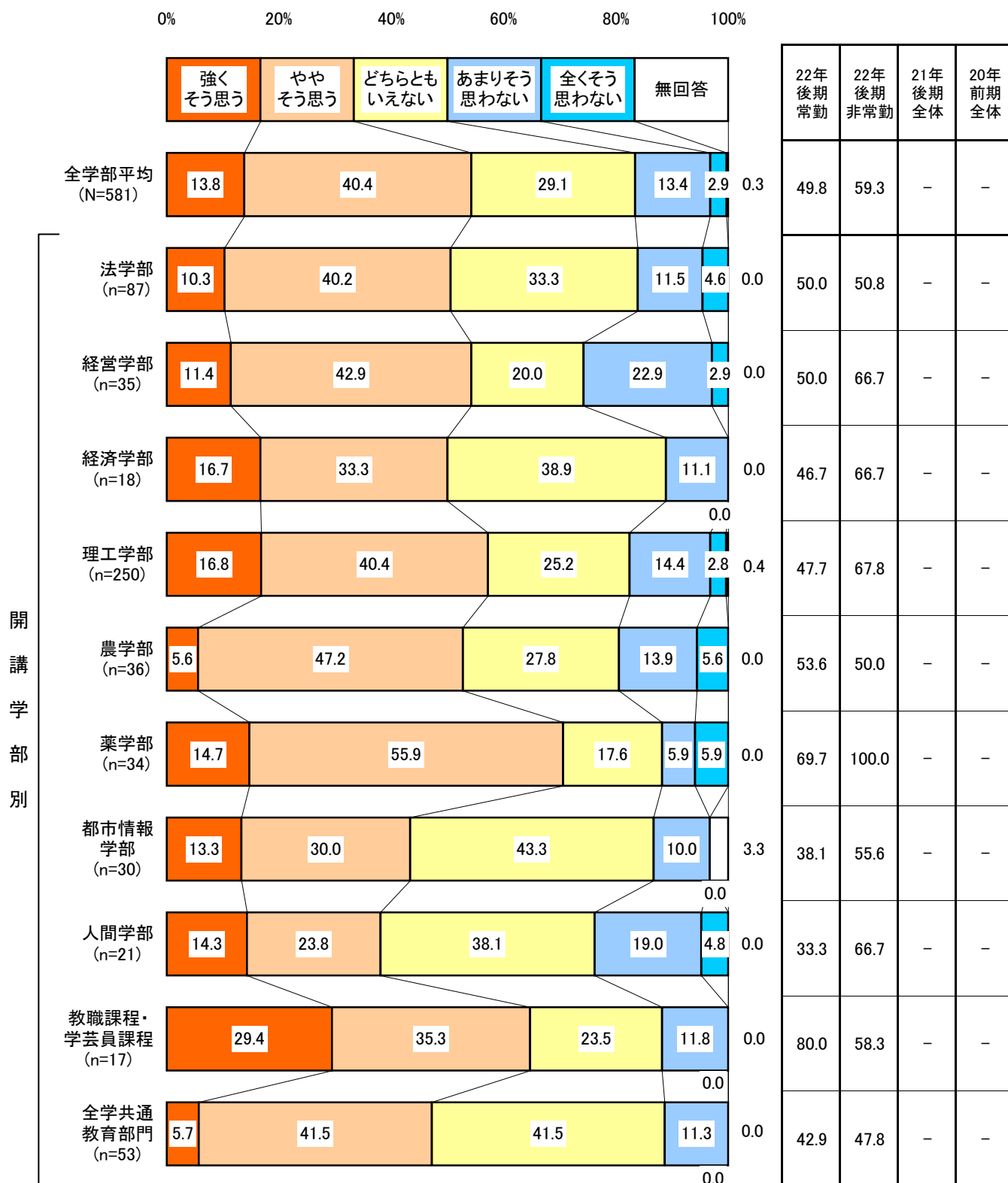
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 自学姿勢喚起

[教員]

授業では学生自身が自分で調べ、考えるようにしている教員は5割強。薬学部では7割を超えるが、人間学部では4割弱にとどまる。

Q7. この授業では学生自身が自分で調べ、考えるようにしている。



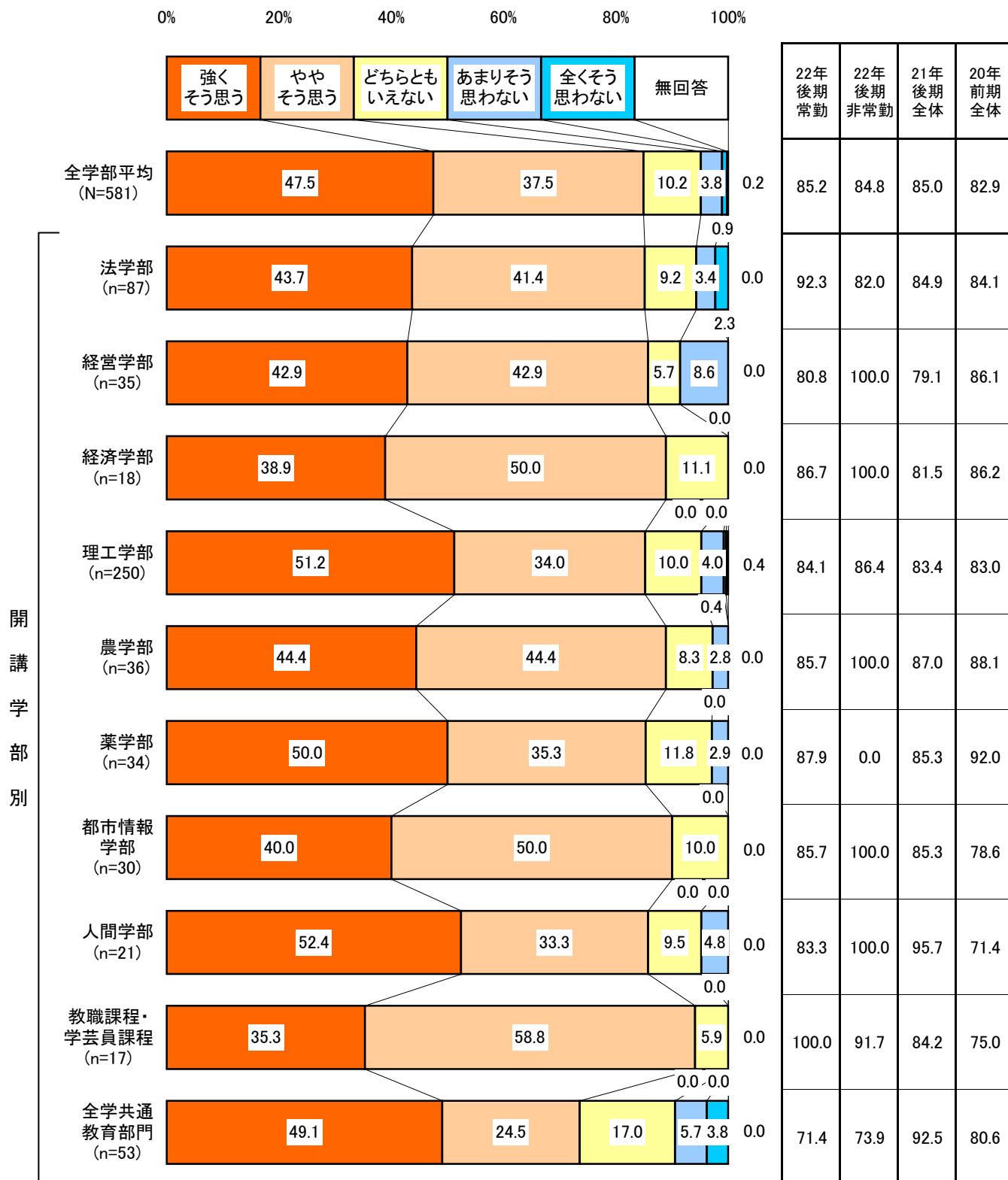
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 私語レベル

[教員]

8割を超える教員が私語への対応を心がけている。

Q8. この授業では私語に対してきちんと対応している。



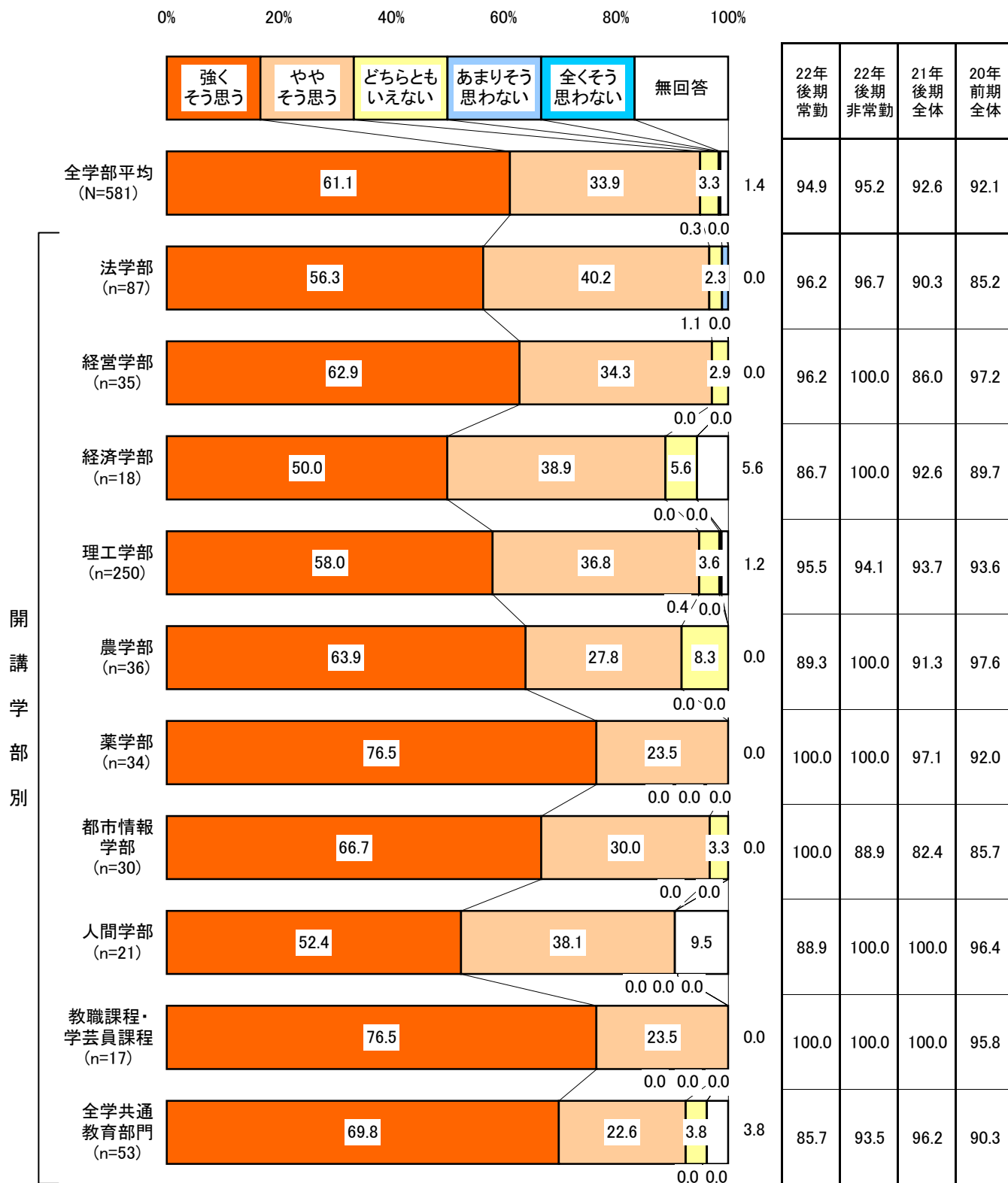
※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 意欲熱意

[教員]

ほとんどの教員が授業に対して熱意を持って取り組んでいる。

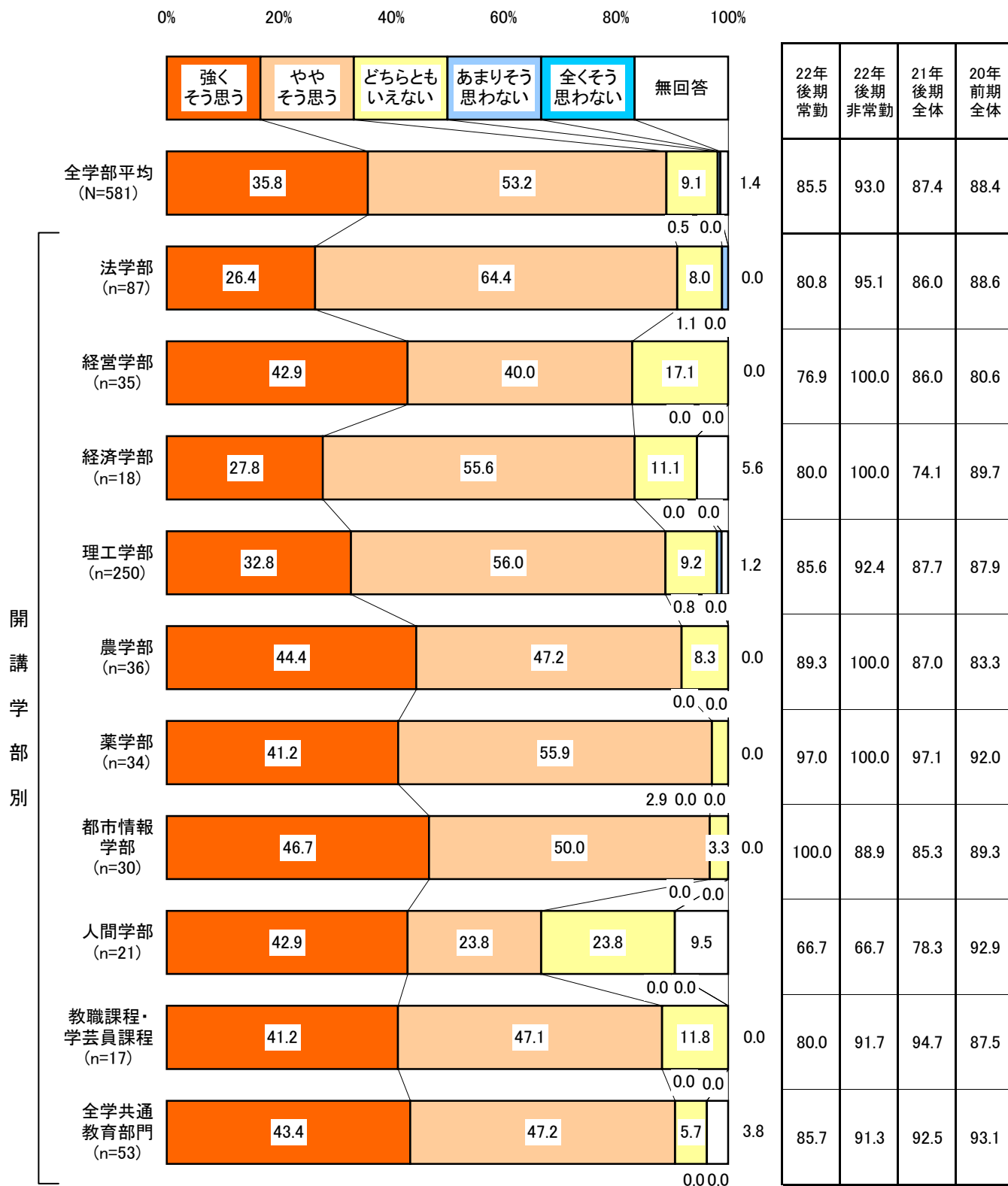
Q9. この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

約9割の教員が学生の興味を引くような工夫をしていると回答した。

Q10. この授業は学生に興味をわくように工夫した進め方をしている。



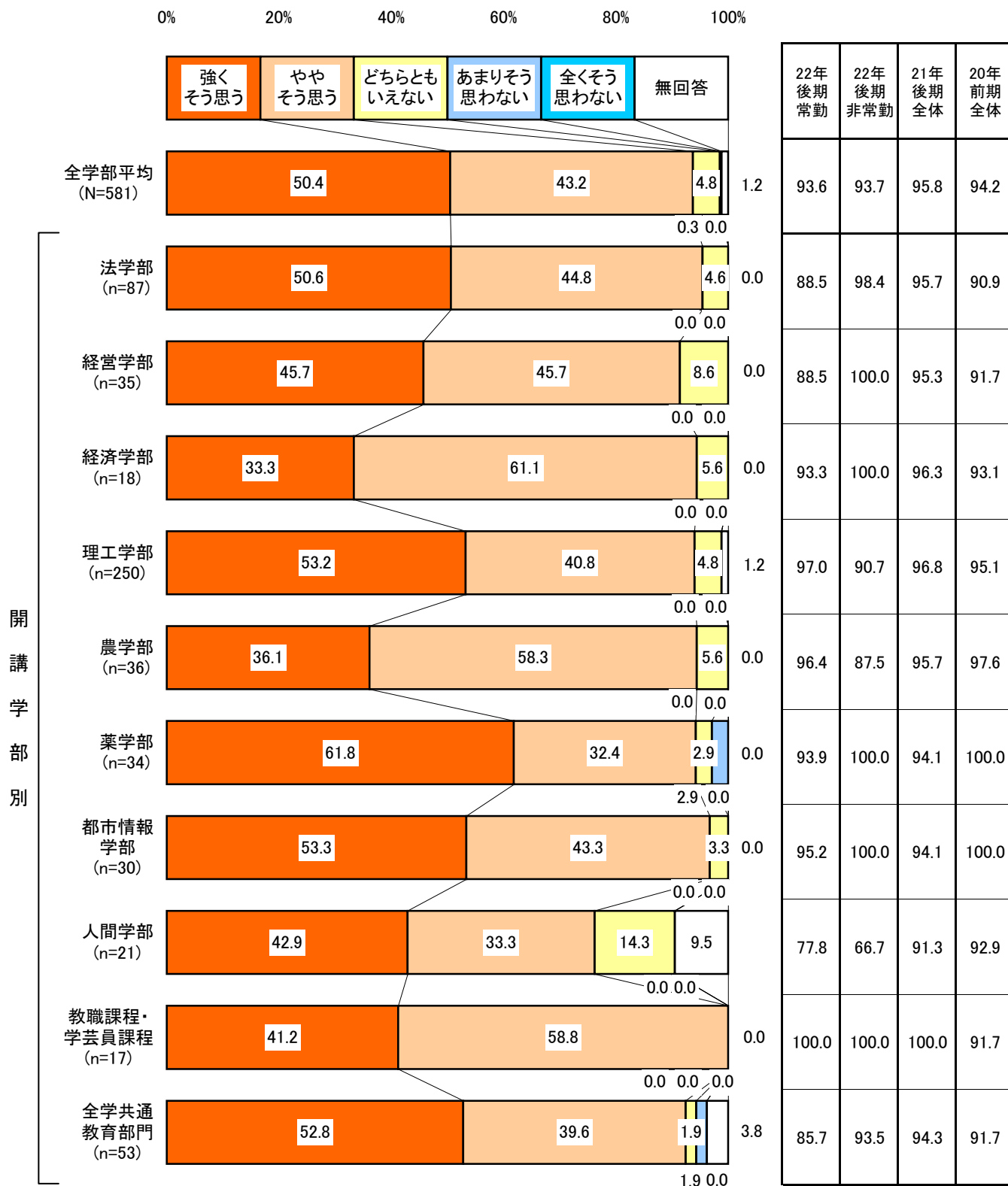
※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 ポイント

[教員]

9割以上の教員が授業のポイントを示すよう心がけている。

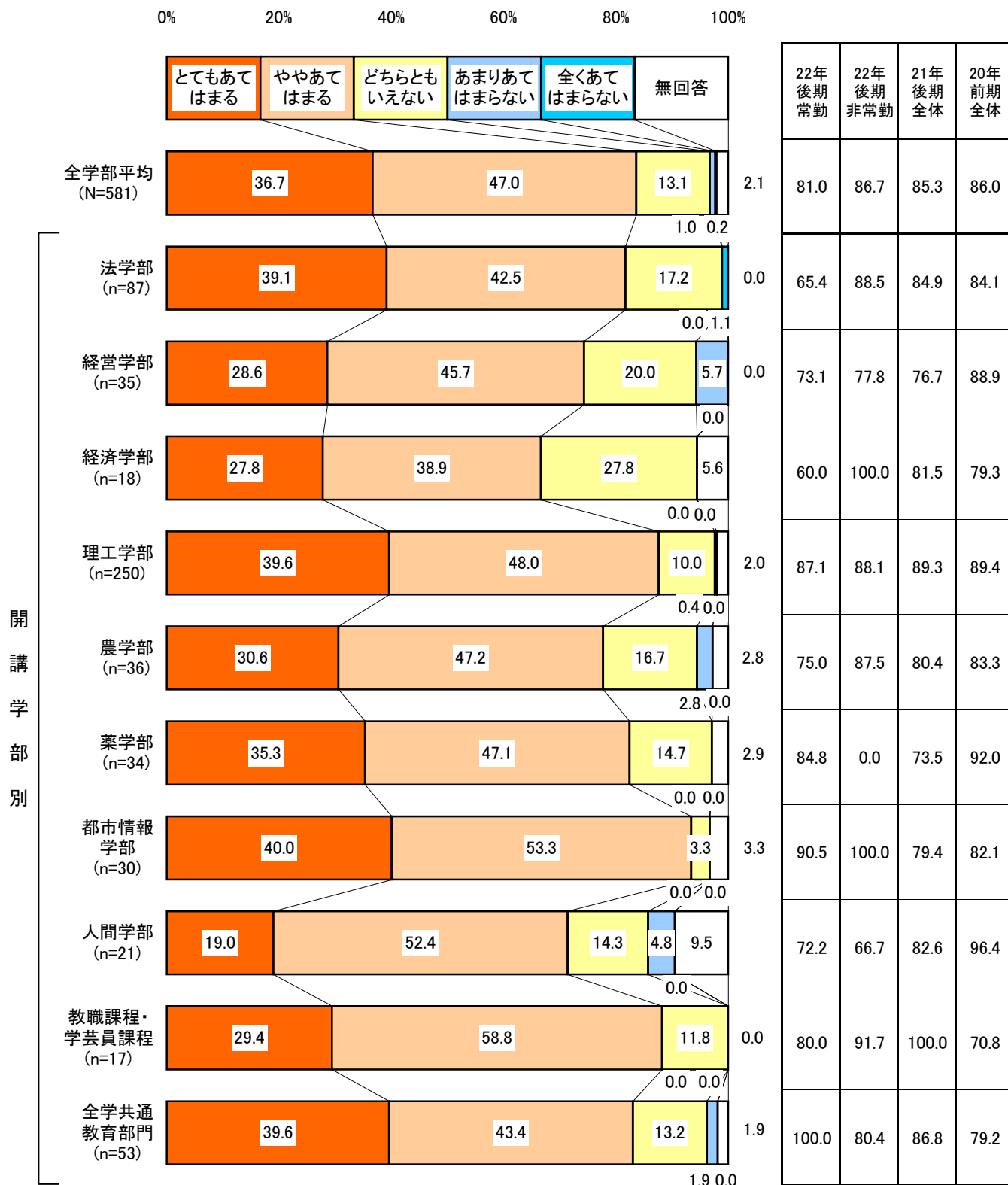
Q11. この授業では大切なポイントをきちんと示している。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

8割以上の教員は成績評価基準に対して高い意識を持ち、都市情報学部では9割を超えるが、経済学部では7割弱にとどまる。

Q12. この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価をしている。



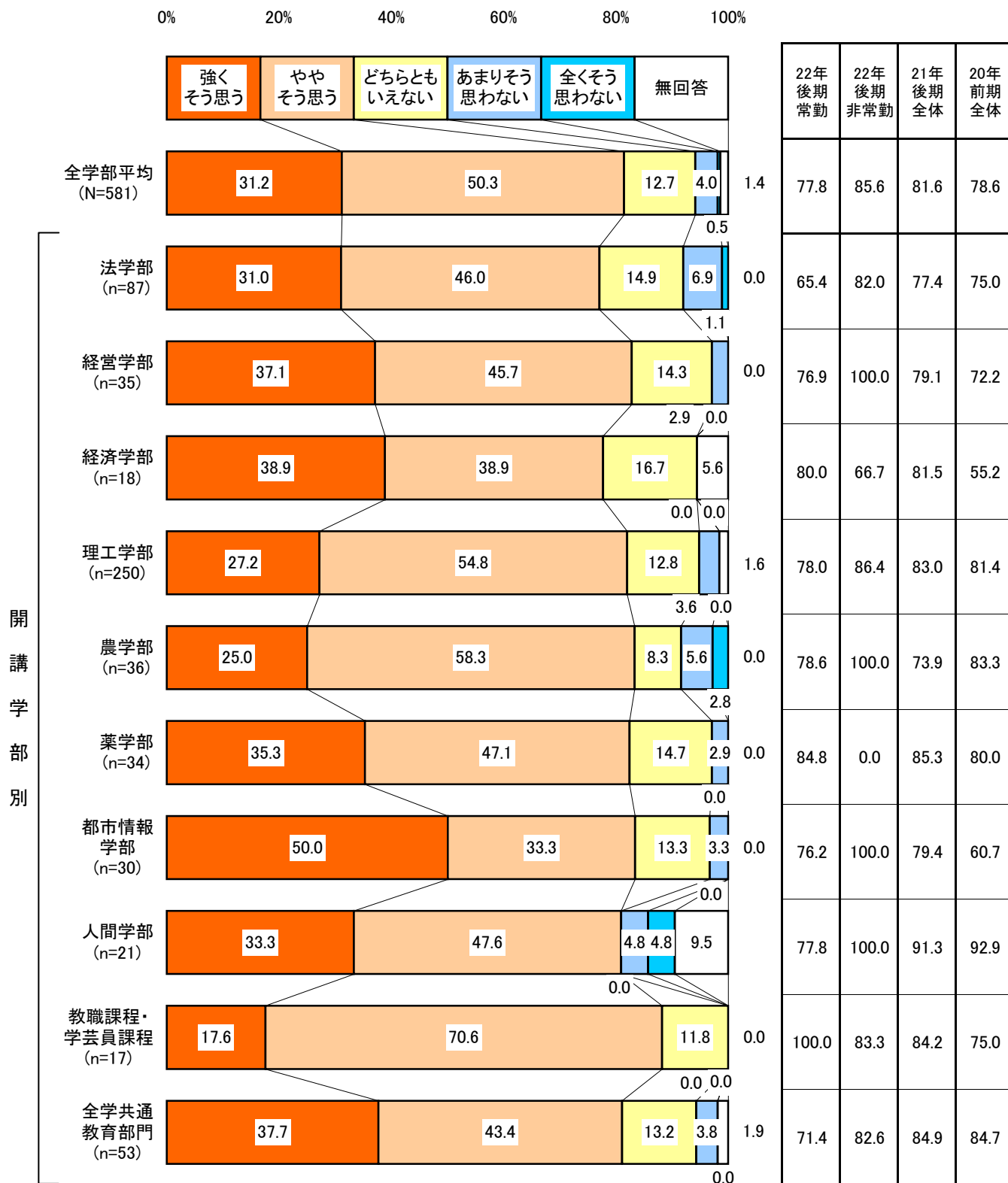
※数表は「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」(%)

19 基礎データ教員用設問 板書

[教員]

8割以上の教員は、板書や資料を読みやすくしていると回答した。

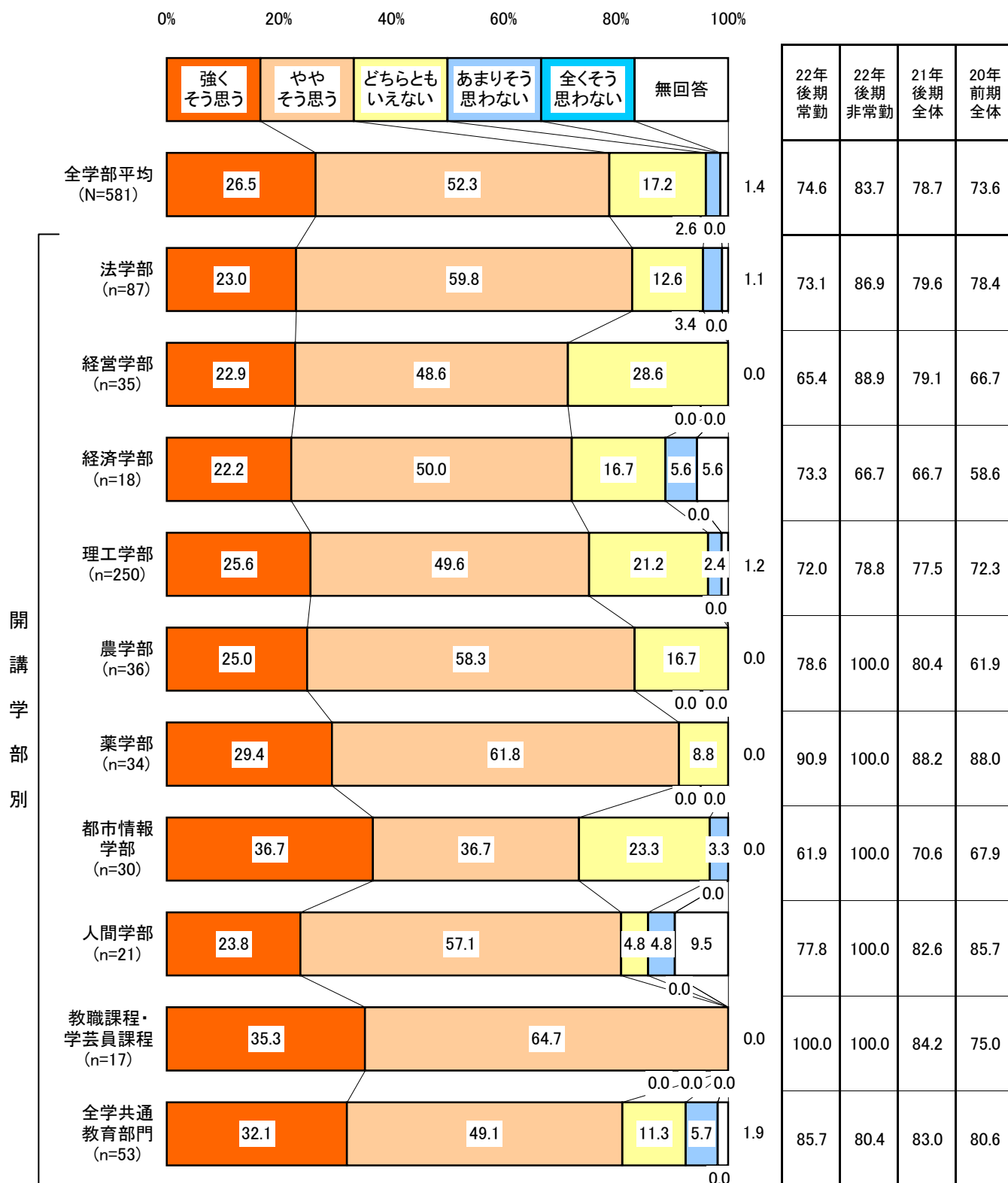
Q13. この授業では板書や資料等の文字は読みやすくしている。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

8割程度の教員は、明瞭で聞き取りやすい話し方を心がけている。

Q14. この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすい。



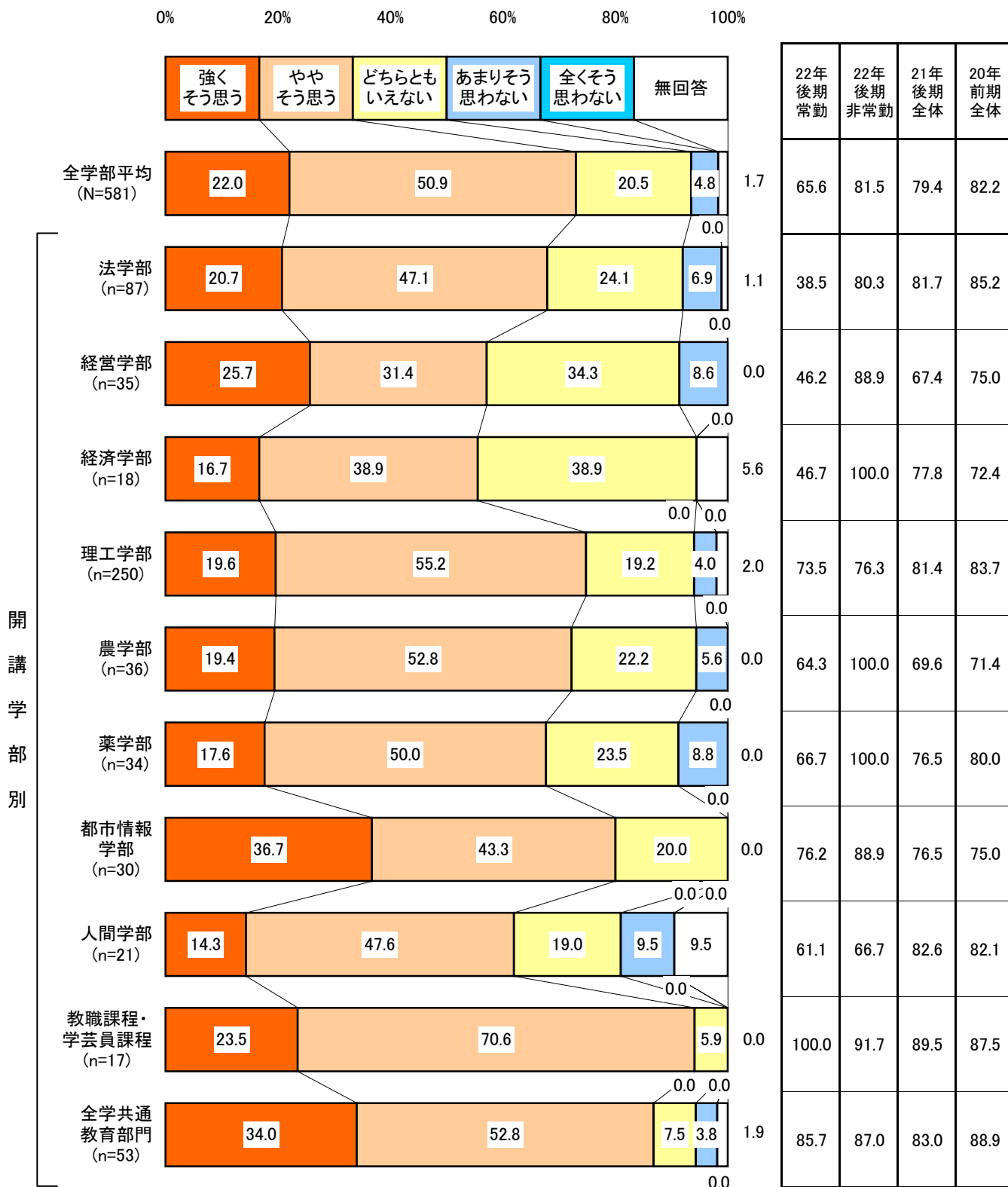
※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 理解配慮

[教員]

7割以上の教員が、学生の理解度に配慮した授業を心がけており、特に教職課程・学芸員課程では9割を超える。

Q15. この授業では学生の理解度を確認しながら進めている。



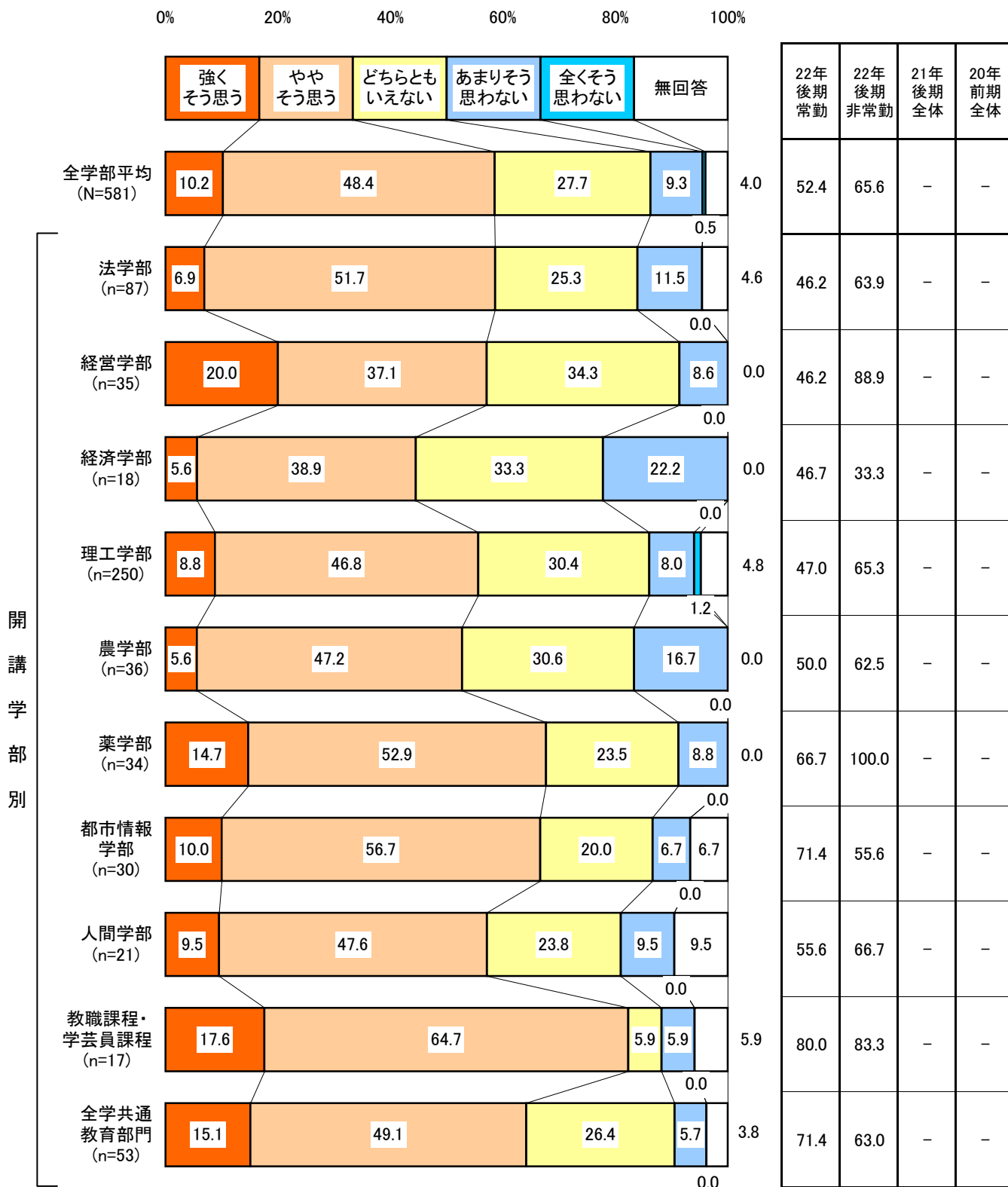
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 授業満足

[教員]

自分の授業に満足している教員は約6割で、教職課程・学芸員課程では8割強と満足度が高いが、経済学部では4割強にとどまる。

Q16. 自分はこの授業に満足している。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 基礎知識

[学生]

基礎知識に関する学生の自己評価は低く、十分な基礎知識があると回答した学生はいずれの学部も5%前後にとどまる。

Q1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある。



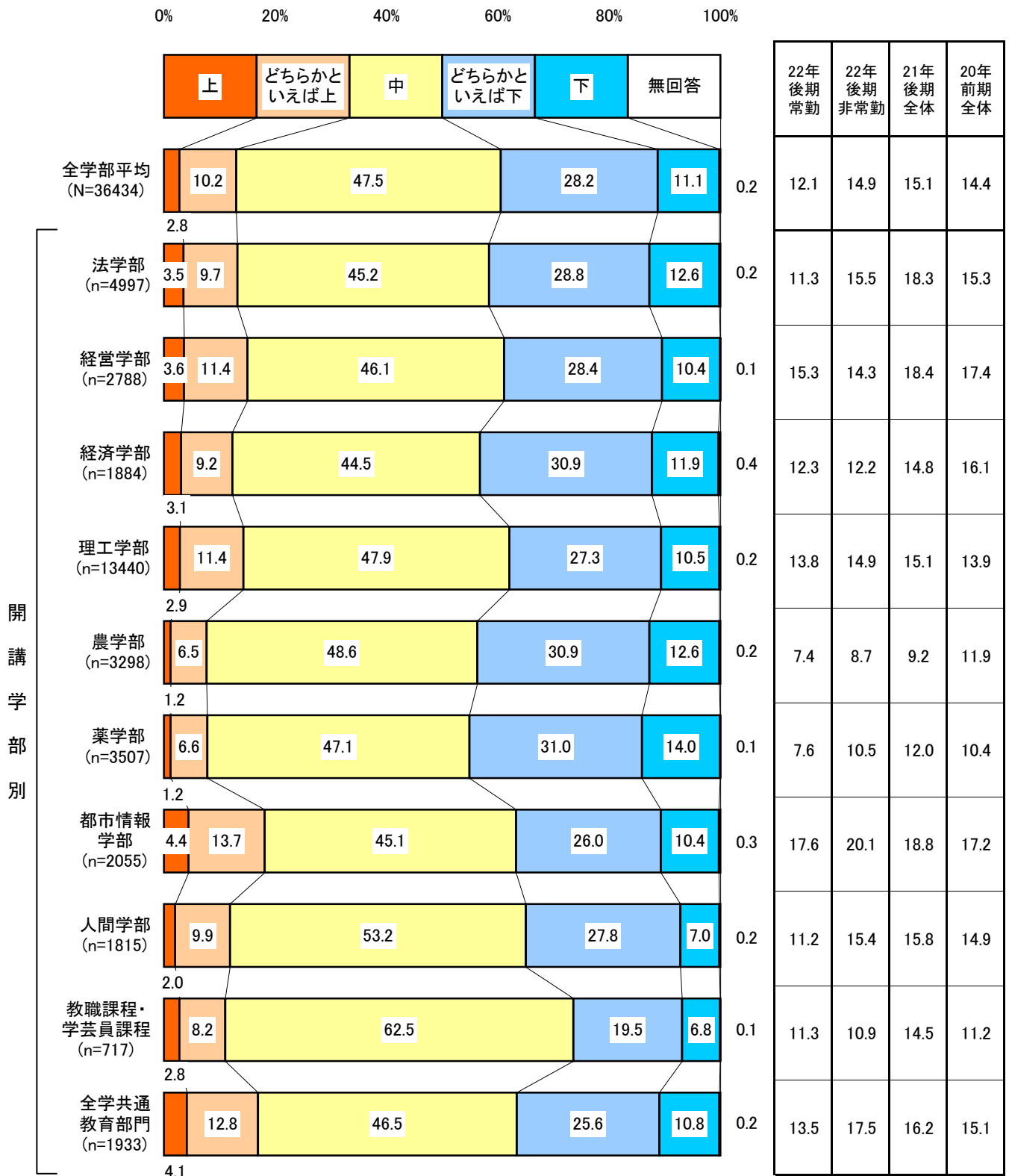
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 学力程度

[学生]

自分の学力が上位レベルに感じている学生は1割強で、約4割の学生は下位レベルと感じている。都市情報学部では上位レベルと感じている割合が約2割と高い。

Q2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。



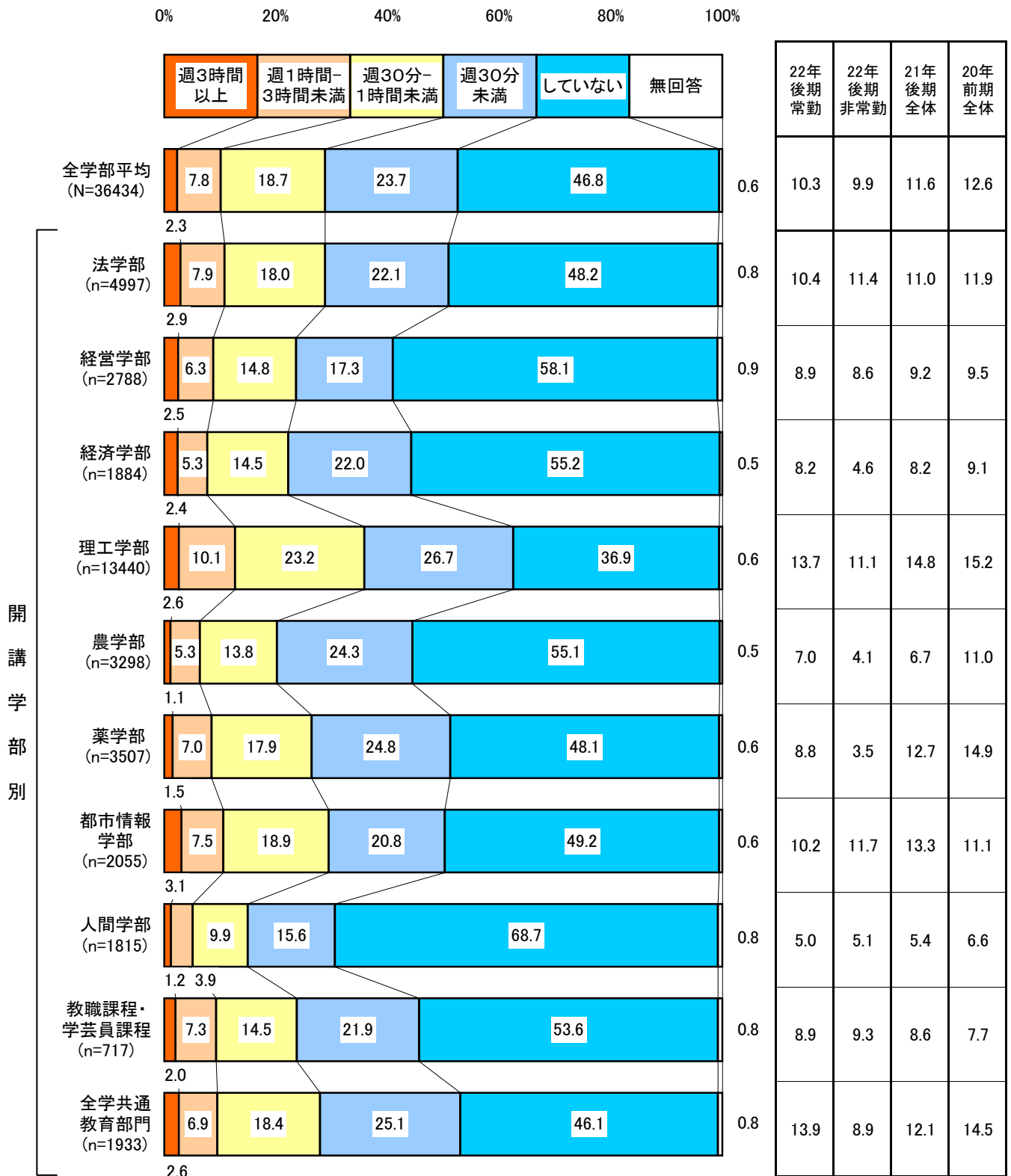
※数表は「上」+「どちらかといえば上」(%)

20 基礎データ学生用設問 自学自習時間

[学生]

約半数の学生が、自学自習を全くしていないと回答しており、人間学部では約7割にのぼる。理工学部は他学部等に比べ勉強時間が長い。

Q3. この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。



※数表は「週3時間以上」+「週1時間-3時間未満」(%)

20 基礎データ学生用設問 理解度

[学生]

授業が理解できていると考える学生は4割程度。教職課程・学芸員課程、人間学部では5割以上と理解度が高い。

Q4. 自分はこの授業が理解できている。



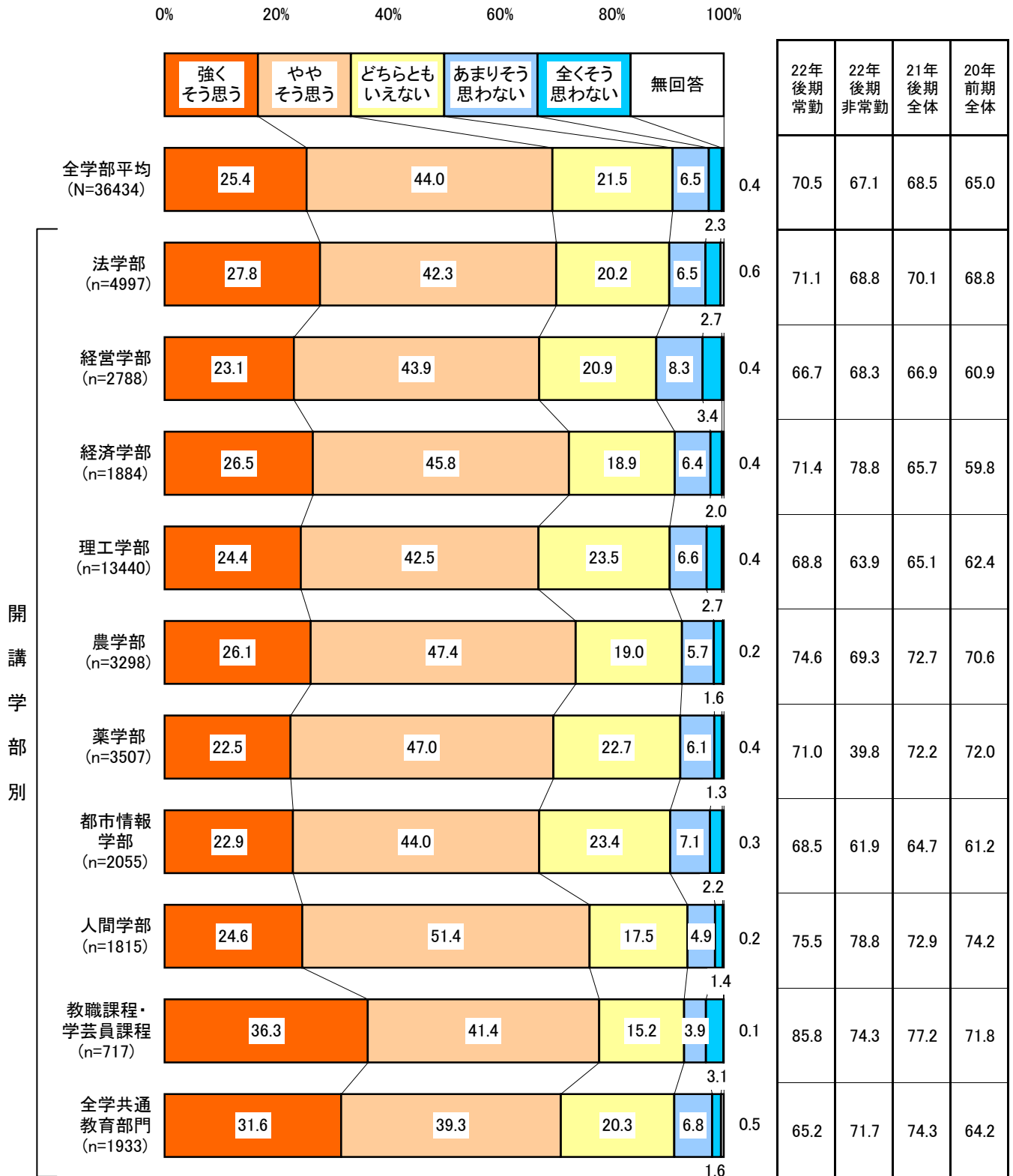
※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 発見学習

[学生]

約7割の学生が、授業で新しいことを学んでいると考えている。

Q5. この授業では新しいことを学んでいる。



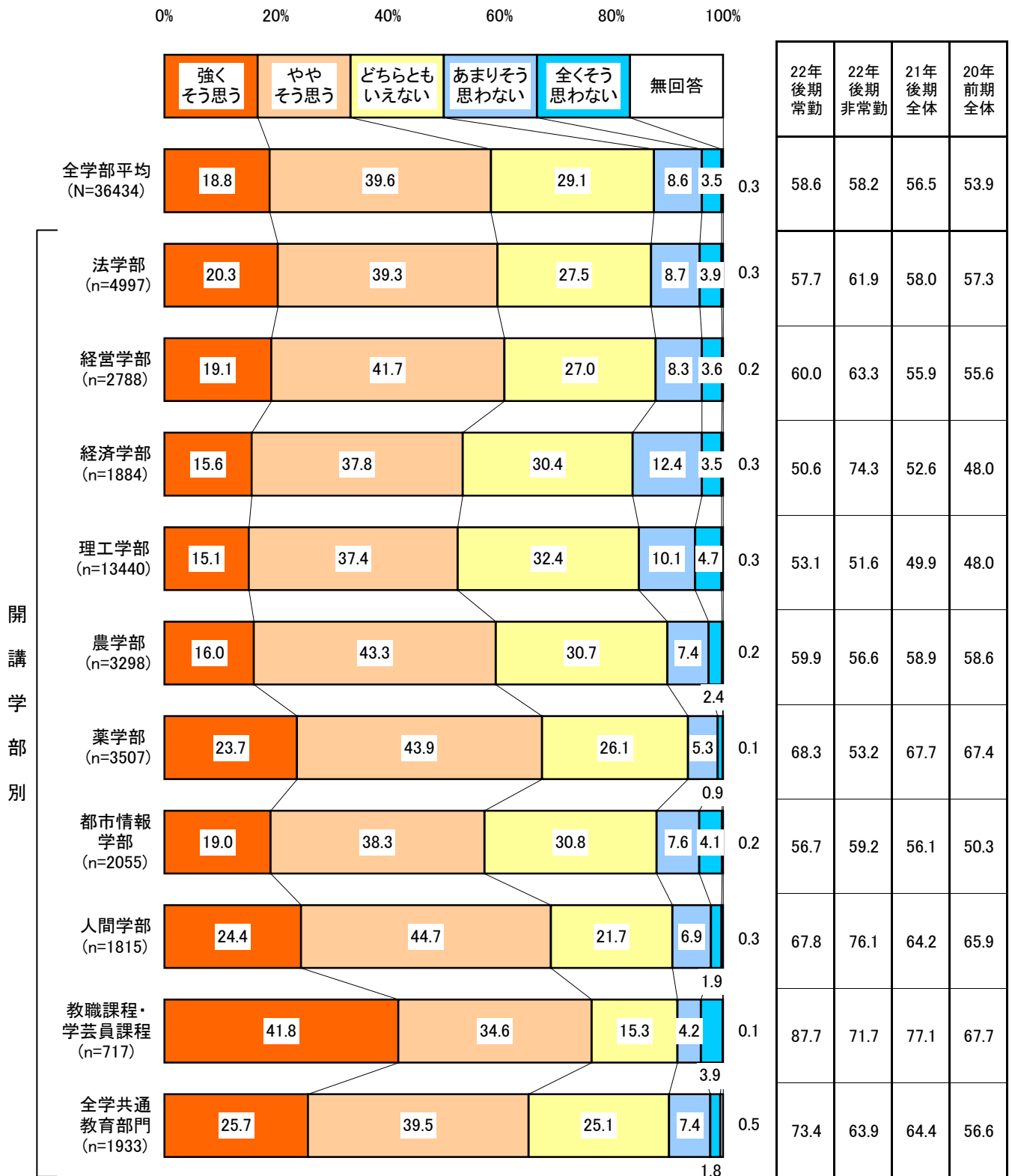
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 将来役立

[学生]

授業が将来に役立つと考えている学生は約6割で、特に教職課程・学芸員課程では8割弱である。

Q6. この授業は将来に役立つと思う。



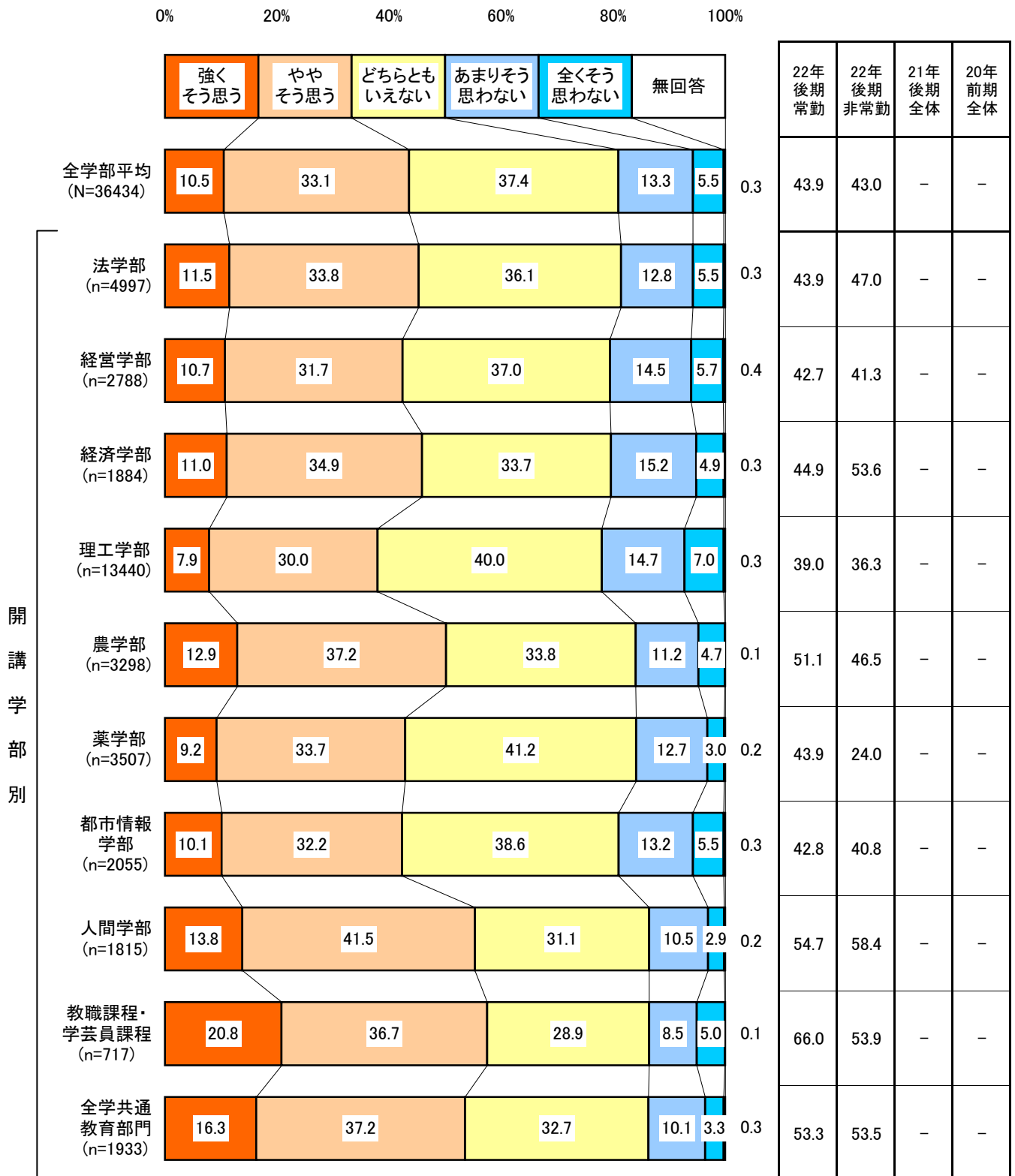
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 興味喚起

[学生]

授業によって、学問への興味・関心が引き起こされたとする学生は4割強。教職課程・学芸員課程、人間学部では6割弱と他学部を上回る。

Q7. この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた。



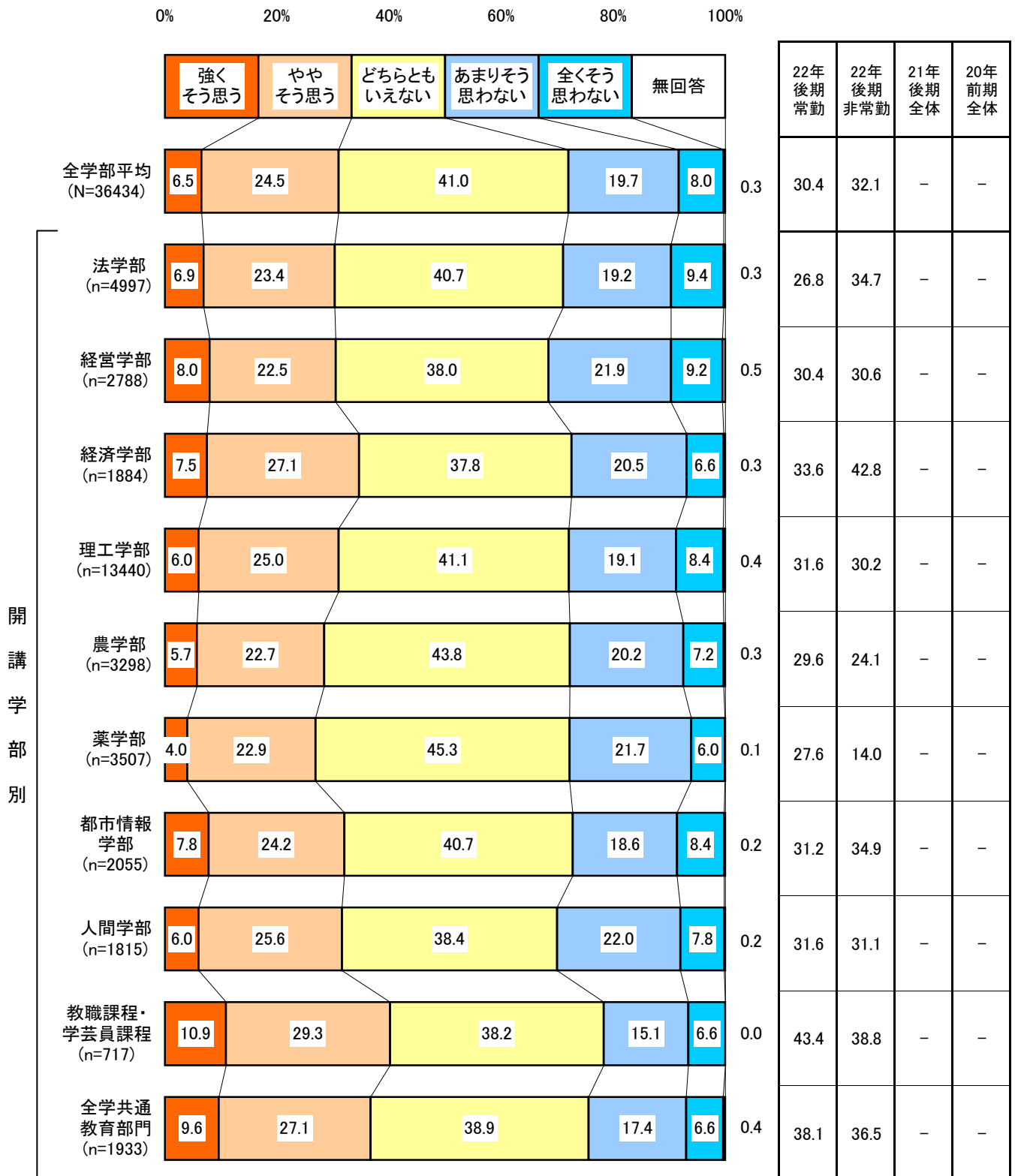
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 自学姿勢喚起

[学生]

授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られたとする学生は3割程度にとどまる。教職課程・学芸員課程では4割を超える。

Q8. この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 私語レベル

[学生]

5割以上の学生が私語が少ないと回答しており、経済学部、農学部では6割を超える。

Q9. この授業は私語が少ない。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

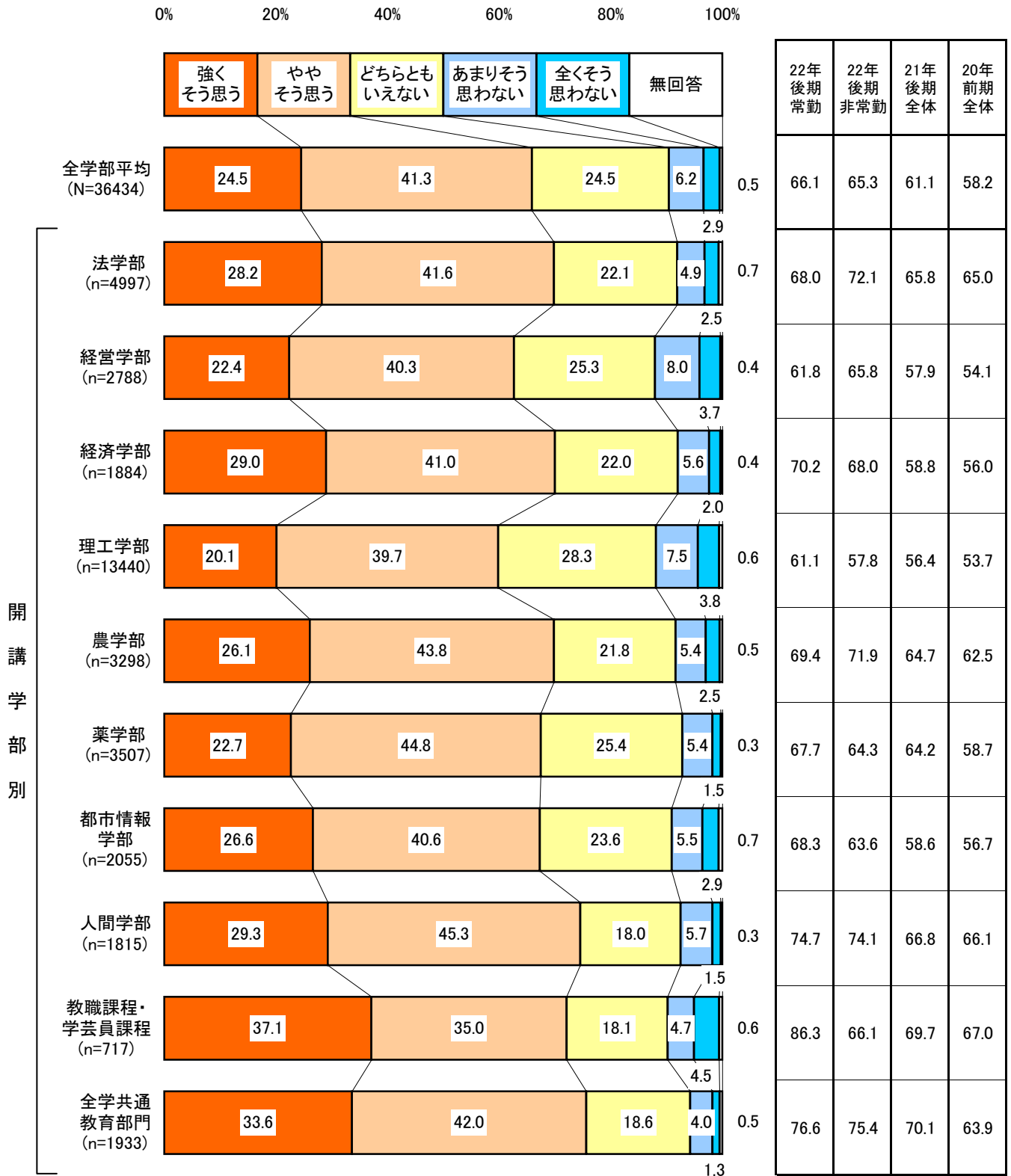
※1 20・21年の「私語レベル」の質問は、私語が多くて受けづらいとなっているので、「あまり」+「全くそう思わない」のスコア

20 基礎データ学生用設問 意欲熱意

[学生]

7割弱の学生は授業に対する教員の意欲や熱意を感じている。

Q10. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。



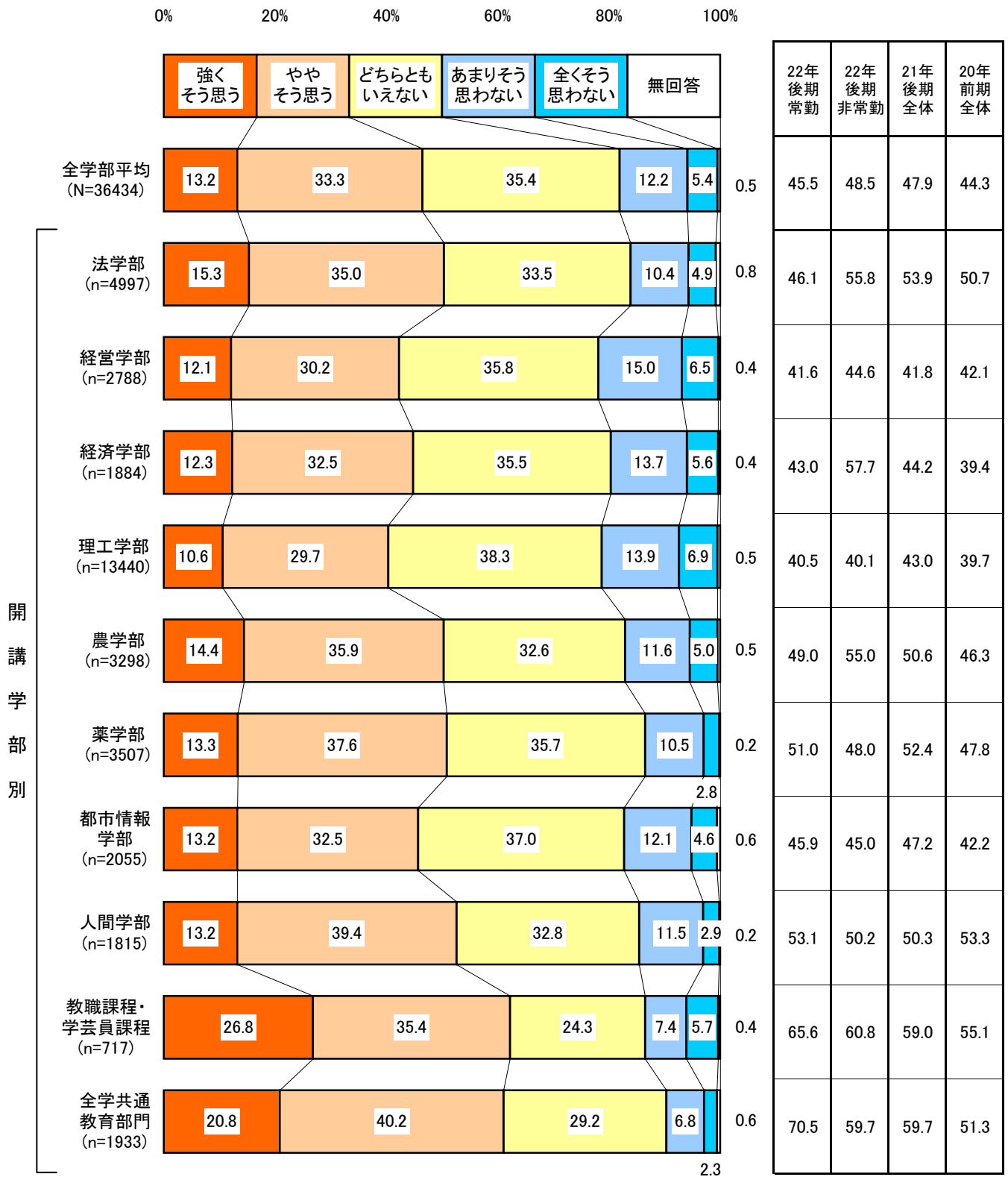
※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 興味工夫

[学生]

5割弱の学生は、教員が授業に興味を持たせる努力をしていると考えている。中でも教職課程・学芸員課程、全学共通教育部門では6割を超える。

Q11. この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている。



※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 ポイント

[学生]

約6割の学生は、授業の大切なポイントがきちんと提示されていると回答している。ポイントがよくわからないという学生も1割以上存在する。経営学部では約2割がポイントがよくわからないと回答している。

Q12. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 評価基準

[学生]

5割以上の学生は成績評価基準が明確であると考えている。全学共通教育部門、経済学部では6割を超える。

Q13. この授業では成績評価基準が明確に示されている。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 板書

[学生]

6割弱の学生が板書や資料等の文字は読み取りやすいと回答しているが、約2割の学生は読み取りにくいと回答している。人間学部、全学共通教育部門では肯定評価が7割弱と高い。

Q14. この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。



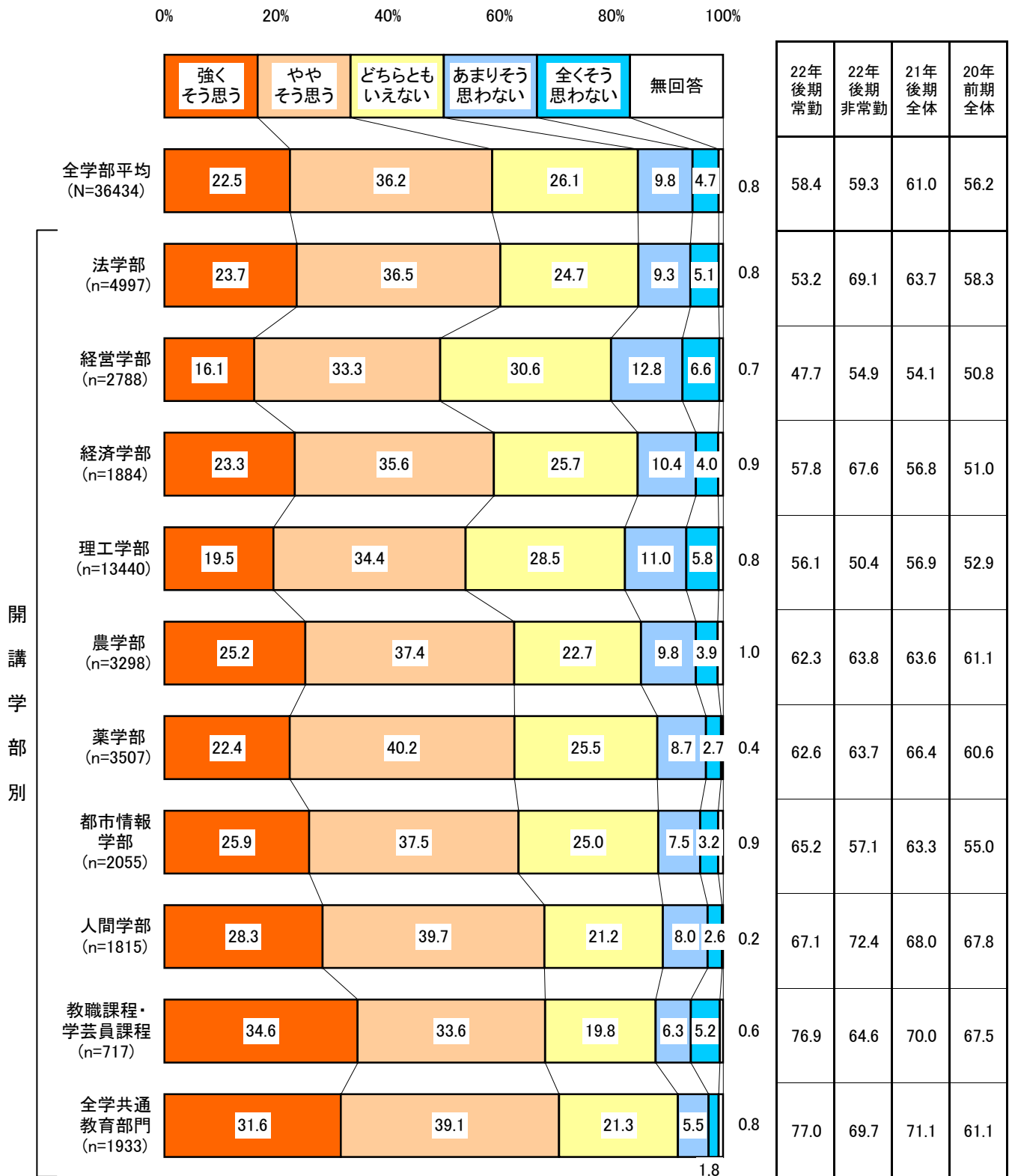
※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 話方明瞭

[学生]

約6割の学生は教員の話し方は明瞭で聞きやすいと回答している。全学共通教育部門では7割を超えるが、経営学部では5割にとどまる。

Q15. この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 理解配慮

[学生]

教員が理解度に配慮した授業を行っていると回答した学生は4割強。全学共通教育部門、教職課程・学芸員課程では5割を超える。

Q16. この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 授業満足

[学生]

半数の学生が授業に満足している。教職課程・学芸員課程、全学共通教育部門の満足度は6割を超える。

Q17. この授業は満足のいくものである。



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

平成22年度後期授業改善アンケート
調査結果報告書

発行日：平成23年3月

編集：名城大学FD委員会学生満足度チーム
名城大学大学教育開発センター

発行：名城大学FD委員会